

KORIYAMA CITY MUSEUM OF ART ANNUAL REPORT 2025

郡山市立美術館年報
令和 7 年度

目 次

郡山市立美術館年報 令和7年度

目次

I 沿革・郡山市立美術館の目的と性格	2
II 展覧会事業	3
1) 常設展	4
2) 企画展	20
III 教育普及事業	58
1) 講演会	58
2) 美術講座	58
3) ギャラリートーク	59
4) 文化講座	60
5) ミュージアム・シアター（映画会）	60
6) ミュージアム・コンサート	60
7) ワークショップ	61
8) 第23回 風土記の丘の美術展	63
9) 第17回 風土記の空	63
10) 美術館における鑑賞学習対応	63
11) 博物館実習	63
12) インターンシップ	63
13) ジュニア・インターンシップ	64
14) 学校連携・対外協力・部局間連携	64
15) 日本大学工学部との連携事業	64
16) 第59回「郡山市子ども美術展」	65
17) 刊行物	65
18) 館外での活動及び関連記事・報道	66
IV 作品収集・保存管理事業	67
1) 新収蔵作品・美術資料一覧	67
2) 収蔵作品貸出状況	69
3) 収蔵作品等の掲載	70
4) 収蔵作品修復状況	71
5) その他の保存管理事業	73
V 利用者数	74
1) 展覧会	74
2) 教育普及事業	75
3) 過去5年間の利用者数推移状況	75
4) 教育普及事業別参加者数の推移状況	76
VI 管理運営	77
1) 関係法規	77
2) 名簿・組織	81
3) 建築設備概要・平面図・面積表	82
4) 利用案内	86

I 沿革・郡山市立美術館の目的と性格

沿革

1981（昭和56）年 9 月	美術館建設懇談会設置
1982（昭和57）年 2 月	美術館基本構想懇話会設置
1983（昭和58）年 3 月	「郡山市美術館基本構想」答申
1985（昭和60）年12月	美術品取得基金条例公布・施行
1987（昭和62）年 4 月	美術館建設準備室設置
1987（昭和62）年 6 月	郡山市立美術館建設検討委員会設置
1988（昭和63）年 1 月	美術館建設場所決定
1989（平成 元）年11月	美術館建設設計競技審査会開催
1990（平成 2）年 1 月	収蔵美術品特別展示開催（於：郡山市民文化センター） （株）TAK建築・都市計画研究所の設計案当選（同社に設計を委託）
1990（平成 2）年 3 月	美術館建設基本設計完了
1990（平成 2）年10月	美術館建設実施設計完了
1990（平成 2）年12月	美術館建設工事着工
1992（平成 4）年 6 月	美術館建設本体工事完了
1992（平成 4）年 7 月	郡山市立美術館条例施行 美術館建設準備室を解散して美術館としてスタート
1992（平成 4）年11月	美術館建設外構工事完了 11月21日 美術館開館
2017（平成29）年10月 1 日	改修工事のため休館
2018（平成30）年 7 月 7 日	再オープン

郡山市立美術館の目的と性格

郡山市立美術館は、「市民がすぐれた美術作品に接することにより美術文化に対する深い理解と親しみをもち、より豊かな市民生活を享受できる場とするとともに、郷土ゆかりの美術作品、国際的視野と高い水準をもった美術作品及び美術資料を収集・保存・展示して市民文化の向上を図る」という構想のもとに建設が計画された。

作品の収集は、①イギリス近代美術、②日本近代美術、③郷土ゆかりの美術、④本(版)の美術という柱をもっておこなわれている。特にイギリス近代美術について、体系的に収集したコレクションはこれまでの国内の美術館においても例を見ないもので、内外の大きな評価を得ている。

今後についても、この特色あるコレクションの一層の充実を図りつつ、調査研究、展示、教育普及など多彩な活動をおこなっていく。

また、郡山市街から安達太良山までを一望できる緑豊かな丘陵地の自然を背景とした恵まれた立地条件を十分に生かし、多くの方々にやすらぎを与える場とするために、整備していく。

Ⅱ 展覧会事業

1) 常設展

第1期 令和7年4月23日～7月6日

展示室1：ターナー生誕250年

展示室3：明治石版画と町田信次郎

展示室2：エキゾチック・ヴィジョン—異国への憧憬

展示室4：①創作版画の時代

②金属器の表情

第2期 令和7年7月9日～9月28日

展示室1：語る風景

展示室3：昭和100年—揺らぐ社会と対峙する

展示室2：草土社とその周辺

展示室4：①線を刻む—エングレーヴィングの世界

②食卓を彩る美の世界

第3期 令和7年10月1日～令和8年1月18日

展示室1：草花を愛でるⅡ

展示室3：没後80年 木彫家・三木宗策

展示室2：山本二三が敬愛した画家—大下藤次郎と『みづゑ』

展示室4：①光と闇のあわい—日本の戦後版画

②工芸のモダニズム

第4期 令和8年1月31日～4月19日

展示室1：都市の遊歩者^{フラヌール}

展示室3：尖る美術 シッカートとその時代

展示室2：近現代の日本画

展示室4：①版画のなかの子どもたち

②ガラスの造形

2) 企画展

令和7年4月19日～6月22日

武井武雄展 幻想の世界へようこそ

令和7年7月5日～8月31日

皇室を彩る美の世界—福島ゆかりの品々—

令和7年9月13日～11月9日

アニメーション美術の創造者 新・山本二三展

令和7年11月22日～令和8年1月18日

巨匠ハインツ・ヴェルナーの描いた物語^{メルヘン} 現代マイセンの磁器芸術

令和8年1月31日～3月22日

戦後80年 戦争と子どもたち

令和7年9月6日～9月28日

特別展 郡山市名誉市民 西田敏行展「愛してるぞ～い！」

1) 常設展

令和7年度 第1期 令和7年4月23日～7月6日

展示室1 ターナー生誕250年

1775年4月23日に生まれたターナー(1775-1851)は、イギリス美術史上、もっとも偉大で影響力のある画家のひとりです。イギリスでは今日、20ポンド紙幣に描かれた国民的画家として親しまれています。

日本においても、明治時代からターナーの名前は知られていました。たとえば、夏目漱石『坊っちゃん』(1906年、明治39年)では「あの松を見たまえ、幹がまっすぐで、上

が傘のように開いてターナーの画にありそうだね」とあります。

油彩画・水彩画・版画をとおして世界を捉えた彼の作品は、自然美、そして画趣(ピクチャレスク)と崇高(サブライム)、生の儚さ(希望の虚偽)や倫理を描いた「描かれた詩」として、感銘を与え続けています。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ワイ川		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ノラム城		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ティンタージェール城、コーンウォール	1818	エッチング、ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ティーズ川の流れ、ヨークシャー		ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ランベリス湖、北ウェールズ	1834	エッチング、ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	タイン川沿いのニューカースル	1826	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ブルーアム城	1825	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	プリマス海峡の入口のミュー・ストーン、デヴォンシャー	1816	エッチング、ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ファルマス港、コーンウォール	1816	エッチング、ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	エディスタン灯台	1824	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ボスカースル、コーンウォール	1825	エッチング、ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	フォークストン、ケント	1826	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	スカーバラ	1826	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ウィットビー	1826	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カレー沖の釣船(ドーバー海峡)	1830	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ヘルゴラントの死の舟	1837	ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	バトル修道院	1816	エッチング、ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ノアの大洪水	1828	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ボッカチオの庭(鳥かご)	1830	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	夏の夕べー虹	1837	ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	兵士の夢	1837	ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ワイオミングのガートルードー谷	1837	ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ワイオミングのガートルードー滝	1837	ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	アーヴロン川の水源地		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	グラン・シャトルーズ近くの水車小屋	1816	エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ネッカー川対岸から見たハイデルベルク	1846	エッチング、ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	サン・ゴタル峠の下り道	1848	水彩・紙
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス

展示室2 エキゾチック・ヴィジョンー異国への憧憬

幕末の日本の開国を機に、日欧間での人や文化の交流は急速に進みました。ペリー艦隊随行者画家ハイネや、その後来日した画家ワグマンらは、ものめずらしい日本の風物を記録し、西洋に伝えました。一方、高橋由一など日本の画家たちは、彼らから西洋画法を直接学ぶ機会を得ます。

明治期に入ると、岩倉使節団の欧米訪問やフランスのギメ使節団の東洋訪問が実現し、百武兼行やフェリック

ス・レガメといった画家も同行しました。帰仏後、ギメやレガメはジャポニズムの醸成に大きく寄与し、19世紀後半の西洋ではジャポニズムが広く流行します。ちょうどこの頃、日本人画家たちも西洋の絵画技法を学びに次々と渡欧しました。ここでは、幕末から明治に生まれた画家たちが、異国との出会いを受けて生み出した作品をご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
ウィルヘルム・ハイネ	『ペリ日本遠征記』挿絵 下田浴場図	1856(安政3)	石版・紙	明治版画コレクション
チャールズ・ワグマン	物売り		水彩・紙	
チャールズ・ワグマン	座る日本女性		水彩・紙	
サー・アルフレッド・イースト	村の茶店、箱根	1889頃	水彩・紙	
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	東京、麻布	1891	油彩・板	

作者名	作品名	制作年	技法・材質
アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	鎌倉の茶店		グワッシュ・紙
モーティマー・メンベス	新作芝居	1887頃	エッチング、ドライポイント・紙
五姓田 義松	婦人像	1871(明治4)頃	ローダーコレクション
五姓田 義松	園田御令嬢肖像	1902(明治35)	油彩・キャンバス
高橋 由一	風景(鳥海山)	1880年代	コンテ・紙
エドアルド・キヨソネ	岩倉具視公肖像	1889(明治22)	油彩・キャンバス
中川 耕山	『米欧回覧実記』挿絵 [第3巻]「巴黎 「チュロリー」宮ノ樓門／阿宮苑ヨリ凱旋門ヲ望ム景」	1878(明治11)	銅版・紙
百武 兼行	風車のある風景	1877(明治10)	明治版画コレクション
フェリックス・レガメ	京都での当社の画家「ハーバース・ウイークリー」 1877年5月5日付挿絵)	1877	銅版(エッチング、一部アクアチント併用)・紙/本
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイットラー	ビリングズゲイト	1859	油彩・キャンバス
山本 芳翠	『蜻蛉集』(ユディット・ゴーティエ著)	1884(明治17)	木口木版・紙
山本 芳翠	園田銚像	1885(明治18)	エッチング、ドライポイント・紙
黒田 清輝	東久世伯爵肖像エスキース	1894(明治27)	ローダーコレクション
三宅 克己	ブルージュ	1910(明治43)	石版・紙／本
三宅 克己	セース河畔サンジェルマンを望む		油彩・キャンバス
石井 柏亭	ピサ	1911(明治44)	水彩・キャンバス
小川 千麿	サン・ドニ風景	1913(大正2)	水彩・紙
南 薫造	日没		水彩・紙
太田 喜二郎	サン・ビエール寺院	1910-11(明治43-44)	水彩・紙
栗原 忠二	ヴァンス風景		油彩・キャンバス
栗原 忠二	遠くに橋の見える風景、 ストランド＝オン＝グリーン		油彩・キャンバス
吉田 ふじを	レニヤ山		油彩・ボード
小寺 健吉	セース河畔	1922(大正11)	水彩・紙
小寺 健吉	アンシイ湖畔	1922(大正11)	水彩・紙
川島 理一郎	コルシカ島サゴーン風景	1921(大正10)	水彩・紙
間部 時雄	カーニュにて	1923(大正12)	油彩・キャンバス
長谷川 潔	シャトー・アルヌーの寺院	1932(昭和7)	油彩・スケッチボード
			メゾチント・紙

展示室3 明治石版画と町田信次郎

日本で本格的な石版画制作が始まったのは明治初期のことです。明治10年代になると、石版画は徐々に普及し、明治20年代前半には伝統的な浮世絵版画にも劣らぬ絶大な人気を誇りました。

明治時代に隆盛を極めた石版画の世界で、石に描画する石版画工として活躍した人物が町田信次郎(1871-1955)です。黎明期の日本洋画を代表する本多錦吉郎の彰技堂

に入門して洋画や石版の技術を学び、その後は石版印刷の道へと進みます。1914(大正3)年には、信次郎から「隆要」と名を改め、東京銀座の三間印刷所で画工として多くの石版ポスターを手がけ、時代を彩りました。

ここでは、近年ご寄贈いただいた明治期の石版画と町田信次郎作品をご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
亀井 至一	(名古屋城に戻された金の鯱)	1879(明治12)頃	石版、手彩色・紙
亀井 至一	東京下谷芸妓小幾	1883(明治16)	丹尾安典コレクション寄贈
村井 熊之助	婦人像	1874(明治7)	石版、手彩色・紙
村井 熊之助	少女	1874(明治7)	長谷川宏コレクション寄贈
亀井 至一	亀井家伝来資料 スケッチブックより村井熊之助肖像		水彩、鉛筆・紙
村井 熊之助	汐干狩	1892(明治25)	加藤静子氏寄贈
村井 熊之助	(自由新聞附録)	1891(明治24)	水彩、鉛筆・紙
浅井 忠	静御前鶴ヶ岡祠前二演舞ノ図	1890(明治23)	加藤静子氏寄贈
岡村 政子	牛若丸	1889(明治22)	佐藤忠雄、美雄、文雄、信雄氏寄贈
亀井 竹二郎	石版『懐古東海道五十三驛真景』油彩原画より		長谷川宏コレクション寄贈
	興津驛 清見寺三保松原遠望	1877-78(明治10-11)	石版・紙
亀井 竹二郎	『懐古東海道五十三驛真景』より興津驛 清見寺三保松原遠望	1892(明治25)	石版・紙
亀井 竹二郎	『懐古東海道五十三驛真景』より興津驛 清見寺三保松原遠望	1892(明治25)頃	石版・紙
亀井 竹二郎	『懐古東海道五十三驛真景』 (徳永柳舟・町田信次郎画作、大山印刷所発行)より		石版・紙
	「『懐古東海道五十三驛真景』広告」	1891-92(明治24-25)	石版・紙／ポートフォリオ
亀井 竹二郎	大和国龍田川景	1876-78(明治9-11)	明治版画コレクション
亀井 竹二郎	大和国春日ノ神社ノ夜宮ノ夜景	1875(明治8)	油彩・ボード
町田 信次郎	日本風景 耶馬溪青洞門之真景	1906(明治39)	油彩・キャンバス
町田 信次郎	大元帥陛下御尊影	1908(明治41)	多色石版・紙
町田 信次郎	両陛下両殿下御尊影	1900(明治33)	長谷川宏コレクション寄贈
町田 信次郎	当世風俗花と美人 情緒纏綿	1909(明治42)	石版・紙
			丹尾安典コレクション寄贈

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
町田 信次郎	当世風俗花と美人 薔薇の花	1908(明治41)	二色石版・紙	丹尾安典コレクション寄贈
町田 信次郎	今様風俗 其一(歌留多遊び)	1900(明治33)	石版・紙	加藤静子氏寄贈
町田 信次郎	美人園 其一 雛妓の歌舞	1896(明治29)	石版・紙	明治版画コレクション
波々伯部 繁	芸妓競	1893(明治26)	石版・紙	明治版画コレクション
町田 信次郎	裸婦	1889(明治22)頃	鉛筆・紙	加藤静子氏寄贈
町田 隆要(信次郎)	「松坂屋という呉服店ポスター」下図	1922(大正11)頃	水彩、鉛筆・紙	加藤静子氏寄贈
町田 隆要(信次郎)	「ユニオンビール ポスター」下絵	1921(大正10)頃	水彩、鉛筆・紙	加藤静子氏寄贈
町田 隆要(信次郎)	「東亜煙会社ポスター」下絵	1920(大正9)頃	水彩、鉛筆・紙	加藤静子氏寄贈
町田 隆要(信次郎)	「東亜煙会社ポスター」下絵	1920(大正9)頃	水彩、鉛筆・紙	加藤静子氏寄贈
町田 隆要(信次郎)	「台湾製糖株式会社ポスター」下図	1921(大正10)頃	水彩、鉛筆・紙	加藤静子氏寄贈
町田 信次郎	「ダイヤモンド印サイダー オレンジ ポスター」下絵	1903-11(明治36-44)頃	水彩、鉛筆・紙	加藤静子氏寄贈

展示室 4-① 創作版画の時代

江戸時代に隆盛をきわめ、錦絵とも呼ばれる浮世絵版画は、絵師・彫師・摺師といった職人による分業で制作されました。明治以降、銅版や石版など多様な版種の普及により、印刷技術として発展した版画は、明治末から大正期にかけて創作性や芸術性が重視され、作家の自画・自刻・自摺をうたった創作版画運動へと繋がりました。一方で、錦絵の隆盛によって熟達した木版の技法

や職人を生かしながら画家の独創性や芸術性を表現した版画制作も続き、それらを新版画と呼ぶようになりました。

今回は、大正期から昭和戦前期にかけて、自画・自刻・自摺による創作版画と、職人との協働による新版画が共存しながら生み出された豊かな版画表現をご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
田中 恭吉	『月に吠える』(萩原朔太郎著、感情詩社、白日出版部)	1917(大正6)	木版他・紙／本
恩地 孝四郎	『一木会豆版画帖 博物譜』(恩地孝四郎編、青園荘)	1950(昭和25)	木版・紙／本
加藤 太郎	『JEU D'OBJET 1』	1945(昭和20)	木版・紙／本
加藤 太郎	『JEU D'OBJET 2』	1945(昭和20)	木版・紙／本
	『H A N G A 第壹輯』(版画の家)より 表紙	1924(大正13)	木版、エッチング・紙／ポートフォリオ
	『H A N G A 第二輯』(版画の家)より 3点	1924(大正13)	木版・紙／ポートフォリオ
	『H A N G A 第三輯』(版画の家)より 6点	1924(大正13)	木版・紙／ポートフォリオ
	『H A N G A 第四輯』(版画の家)より 2点	1924(大正13)	木版・紙／ポートフォリオ
大内 青圃	『版芸術 創刊号』表紙(白と黒社)	1932(昭和7)	木版・紙／本
棟方 志功	『版芸術 第十二号 棟方志功版画集』(白と黒社)	1933(昭和8)	木版・紙／本
	『版芸術 第十九号 続全国郷土玩具版画集』(白と黒社)	1933(昭和8)	木版・紙／本
棟方 志功	『白と黒 創刊号』表紙(白と黒社)	1937(昭和12)	木版・紙／本
棟方 志功	『白と黒 第四号』表紙(白と黒社)	1937(昭和12)	木版・紙／本
織田 一磨	『書窓版画帖十連聚其一 都会生活』(アオイ書房)	1941(昭和16)	石版・紙／本
川西 英	『書窓版画帖十連聚其二 港都情景』(アオイ書房)	1941(昭和16)	木版・紙／本
川上 澄生	『書窓版画帖十連聚其三 文明開化往来』(アオイ書房)	1941(昭和16)	木版・紙／本
前川 千帆	『書窓版画帖十連聚其四 新野外小品』(アオイ書房)	1942(昭和17)	木版・紙／本
関野 準一郎	『書窓版画帖十連聚其五 東京の窓』(アオイ書房)	1942(昭和17)	エッチング・紙／本
武井 武雄	『書窓版画帖十連聚其六 宇宙説』(アオイ書房)	1942(昭和17)	エッチング、ドライポイント・紙／本
逸見 享	『書窓版画帖十連聚其七 水韻譜』(アオイ書房)	1942(昭和17)	木版・紙／本
恩地 孝四郎	『書窓版画帖十連聚其八 蟲・魚・介』(アオイ書房)	1943(昭和18)	木版・紙／本
平塚 運一	『書窓版画帖十連聚其九 伊豆一周画』(アオイ書房)	1943(昭和18)	木版・紙／本
森田 恒友	『日本風景版画 第二集 会津之部』(日本風景版画会)より3点	1917(大正6)	木版・紙／ポートフォリオ
平福 百穂	『日本風景版画 第三集 東北之部』(日本風景版画会)より3点	1917(大正6)	木版・紙／ポートフォリオ
坂本 繁二郎	『日本風景版画 第六集 筑紫之部』(日本風景版画会)より4点	1918(大正7)	木版・紙／ポートフォリオ
岸田 劉生	築地風景	1912(大正元)	木版・紙
南 薫造	浦の漁灯	1913(大正2)	木版・紙
谷中 安規	鍵(詩画集の8)	1933(昭和8)	木版・紙
恩地 孝四郎	Lyrique No.2 楽曲によせる抒情 ラヴェル“道化師の朝歌”	1933(昭和8)	木版・紙
水船 六洲	裸婦		木版・紙
有島 生馬	ハノヴィン祭(ハロウィン)	1936(昭和11)	エッチング・紙
安井 曾太郎	鏡	1938(昭和13)	エッチング・紙
安井 曾太郎	少女と大このはづく	1939(昭和14)	リトグラフ・紙
安井 曾太郎	『安井曾太郎版画集』(石原求龍堂)より 魚とさざえ	1933(昭和8)	木版・紙
安井 曾太郎	『安井曾太郎版画集』(石原求龍堂)より 果物	1932(昭和7)	木版・紙
安井 曾太郎	『安井曾太郎版画集』(石原求龍堂)より 椅子に凭れる女	1932(昭和7)	木版・紙
安井 曾太郎	『安井曾太郎版画集』(石原求龍堂)より 薔薇	1932(昭和7)	木版・紙
吉田 博	せと奈いかい高浜港	1928(昭和3)	木版・紙
吉田 博	神の島	1930(昭和5)	木版・紙

展示室4-② 金属器の表情

この展示では、銀、鉄、銅、真鍮といった多様な種類の金属器を紹介します。金属は種類毎に外見や性質に違いがあるのはもちろんですが、同じ金属であってもデザインや加工技術、組み合わせる材質によって全く異なる姿を見せます。

イギリス人デザイナー、クリストファー・ドレッサーは陶磁器やガラスの製品も手がけましたが、金属器にお

いては産業革命による大幅な技術革新を取り入れ、洗練された造形を数多く生み出しました。郡山ゆかりの作家からは、熱で柔らかくなるガラスの性質と鍛鉄を組み合わせた佐藤潤四郎、銀の展延性を生かした遠藤兆映の作品を展示します。作家によって引き出された多彩な表情をお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
クリストファー・ドレッサー	『装飾デザインの原理』 『ストゥーディオ』 第15巻	1874 1898	本 本
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(青海波)	1879-1882頃	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(ポイントアーチ型)	1879	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	レター・ラック&ブックエンド	1885	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	レター・ラック(円形、可動式)	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	日本風把手付き薬味入れ		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	六角型薬味入れセット		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ、黒檀把手(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	ミルク入れ	1880	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	銀製ティー・セット	1885	銀、象牙、金メッキ
クリストファー・ドレッサー	シュガー・バスケット(穴あきふり付き)	1884	金属、銀メッキ
クリストファー・ドレッサー	柳編み把手付きダブル・バスケット	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	ダブル・バスケット(楕円形)	1880	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	蓋付きバスケット、黒檀把手		金属、銀メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	緑釉サラダボウル(サーバー付き)	1879-82頃	陶器、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	ナイフとフォークのセット		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	草花象嵌模様足付皿		銀、銅、真鍮
クリストファー・ドレッサー	孔雀象嵌模様円形皿		銀、銅、真鍮
クリストファー・ドレッサー	真鍮把手付きケトル	1885	銅、真鍮
クリストファー・ドレッサー	足つきケトル		銅、木製把手
クリストファー・ドレッサー	真鍮製燭台(一対)		真鍮
クリストファー・ドレッサー	ファイヤー・ドッグ(暖炉の薪台)		真鍮
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器(グリーン)	1986(昭和61)	ガラス、鉄／鍛鉄吹込
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器		ガラス、鉄／鍛鉄吹込・雲母封入
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器・灯もつけて	1986(昭和61)	ガラス、鉄／鍛鉄吹込
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器(顔)	1986(昭和61)	ガラス、鉄／鍛鉄吹込
遠藤 兆映	風かおる	1996(平成8)	銀
遠藤 兆映	花王清風	1993(平成5)	銀
遠藤 兆映	香器・樹海	1988(昭和63)	銀

遠藤兆映氏寄贈
遠藤兆映氏寄贈
遠藤兆映氏寄贈

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
笠置 季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
●2階展示ロビー			
北村 四海	井冰鹿の娘	1917(大正6)	大理石
細川 宗英	道元	1988(昭和63)	ブロンズ
柳原 義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ
堀内 正和	顔	1955(昭和30)	鉄、セメント
佐藤 静司	遙か	1989(平成元)	ブロンズ
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ

宇野洋子氏寄贈

展示室1 語る風景

イギリス美術を代表するジャンルである風景画は、時代ごとにその表現や役割を変えながら発展してきました。それは、単に自然を写すものではなく、語りたい物語を紡ぐ手段でもあったのです。近代では、ターナーが自然の猛威や象徴性を強調するために、風景を再構成しています。また、身近な自然をありのままに描いたように見えるコンスタブルの作品でも、実は絵画としての演

出が施されました。やがて時代が進むと、技術革新や戦争の影響で、航空機から俯瞰する新たな視点が生れます。さらに近年は、人間による自然の支配が行き詰まりを見せるなか、ランド・アートなどによって自然と人間の関係が改めて問い直されています。18世紀から現代までのイギリス美術における風景の豊かな語りをお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー原画、トマス・ラプトン版刻	ディール	1826	メゾチント・紙 ローダーコレクション
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー原画、エドワード・フィンデン版刻	『パイロンの生涯とその作品』より ジブラルタル ウーグモンから見たワートルローの戦場	1832-34	エングレーヴィング・紙/ポートフォリオ ローダーコレクション
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
トマス・マイルズ・リチャードソン・ジュニア	コンウェイ城の日没	1855	水彩・紙
トマス・ゲインズボロ	荷馬車のいる丘陵地帯の森の風景	1745-46頃	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	牧夫と牛のいる森の風景	1758頃	鉛筆・紙
ジョン・コンスタブル原画、デイヴィッド・ルーカス版刻	『イングランドの風景』より ストーク・バイ・ネイランド ノーフォーク、ヤーマス	1830-32	メゾチント/ポートフォリオ ローダーコレクション
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
トマス・ガーティン	エクセター大聖堂	1798頃	水彩・紙
クリストファー・リチャード・ウィン・ネヴィンソン	『航空機製作の六場面』より 空中で 4000フィートでの旋回飛行 ドイツ戦闘機—タウプへの急襲	1917	リトグラフ・紙 ローダーコレクション
クリストファー・リチャード・ウィン・ネヴィンソン	大攻撃の後	1918	リトグラフ・紙 ローダーコレクション
ハミッシュ・フルトン	過去 現在 未来	1974	写真、テキスト・紙
ハミッシュ・フルトン	雨／壁	1983	写真、テキスト・紙
ハミッシュ・フルトン	鳥／石	1986	写真、テキスト・紙
ハミッシュ・フルトン	稜線	1990	鉛筆・紙
エドワード・カルヴァート	小川	1829	木口木版・紙 ローダーコレクション
エドワード・カルヴァート	貴夫人とミヤマガラス	1829	木口木版・紙 ローダーコレクション
エドワード・カルヴァート	林檎酒の宴	1828	木口木版・紙 ローダーコレクション
エドワード・カルヴァート	家路	1830	木口木版・紙 ローダーコレクション
ウィリアム・ブレイク	『ウェルギリウスの田園詩』(R.J.ソートン編)より コリネットの旅：ロンドンへ62マイルの標石		木口木版・紙 ローダーコレクション
ジョン・マーティン	ノアの大洪水	1828	メゾチント・紙 ローダーコレクション
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コッリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス

展示室2 草土社とその周辺

草土社は日本の洋画団体。大正4(1915)年の現代美術社主催の展覧会を契機に、岸田劉生を中心に中川一政、清宮彬、木村莊八らによって創立されました。名は劉生の《道路と土手と堀(切通之写生)》(東京国立近代美術館所蔵)に見られるような草と褐色の土に由来し、同11(1922)年までに計9回開催されます。当時の劉生は、デューラーなど北方ルネサンスに傾倒し、自ら「写實的

神秘派」と称して写実を極め、同人もこれに追随しました。時代に逆行するとの批判を浴びながらも草土社風とよばれる特徴を生み出し、同時代の作家に大きな影響を与えます。ここでは、当館が収蔵する草土社の作家の作品とともに関連作家の作品を通じて、草土社の表現の一端を浮かび上がらせま

作者名	作品名	制作年	技法・材質
	第2回草土社美術展覧会ポスター	1916(大正5)	木版・紙
岸田 劉生	男之像	1919(大正8)	水彩・紙
岸田 劉生	照子像	1920(大正9)	水彩・紙
岸田 劉生	葵の像	1915(大正4)	インク・紙
岸田 劉生	The Earth(大地)	1915(大正4)	木版・紙

作者名	作品名	制作年	技法・材質
岸田 劉生	『天地創造』より 怒れるアダム 欲望	1914(大正3)	エッチング・紙
木村 莊八	祖母の顔	1916(大正5)	油彩・板
木村 莊八	暮るゝ堀	1926(大正15)	油彩・板
木村 莊八	人物のいる風景		インク・紙
木村 莊八	空き地		インク・紙
木村 莊八	道のある風景	1914(大正3)	油彩・キャンバス
河野 通勢	ホレブの岩		油彩・板
河野 通勢	聖書	1920(大正9)	インク・紙
河野 通勢	ソロモンの裁判	1919(大正8)	インク・紙
河野 通勢	裾花川風景	1914(大正3)	インク・紙
河野 通勢	樹木スケッチ	1915(大正4)	インク・紙
中川 一政	冬の郊外(葱畑)	1918(大正7)頃	油彩・キャンバス
横堀 角次郎	秋景	1927(昭和2)頃	油彩・板
梅原 龍三郎	静物		油彩・キャンバス
バーナード・リーチ	山水	1968	墨・紙
バーナード・リーチ	白磁魚絵皿	1961	磁器
藤島 武二	「耕到天」習作	1936(昭和11)	油彩・キャンバス
岸田 劉生	銀座と数寄屋橋畔	1911(明治44)頃	油彩・板
岸田 劉生	銀座数寄屋橋	1909(明治42)頃	油彩・板
岸田 劉生	『劉生図案画集』	1921(大正10)	木版・紙／ポートフォリオ

展示室3 昭和100年―揺らぐ社会と対峙する

2025年は昭和元年から数えてちょうど100年目にあたります。また、第二次世界大戦の終戦から80年の年でもあります。

近代化が進み、大衆文化が開いた大正期のモダンで自由な空気を纏いながら幕を開けた昭和ですが、世界恐慌の影響や軍部の台頭もあり、日本は徐々に国際的な孤立を深め、戦争へと向かっていきます。

1945(昭和20)年8月15日、戦争は終結し、1952(昭和27)年に日本は主権を回復します。その後は高度経済成長の時代を迎え、戦災からの復興を遂げる一方、社会に暗い影を落とす事件や環境問題も起こりました。このような社会の変化に画家たちは真摯に向き合い、創作の原動力としました。ここでは、激動の時代「昭和」の作品を特集します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
町田 隆要(信次郎)	「三越呉服店 大阪支店ポスター」下絵	1928(昭和3)頃	水彩、鉛筆・紙	加藤静子氏寄贈
浦野 銀次郎	東京名所 帝都日本橋ヨリ三越呉服店ヲ望ム	1931(昭和6)	多色石版・紙	長谷川宏コレクション寄贈
川上 澄生	夜の銀座	1929(昭和4)	木版・紙	
川上 澄生	新装の九段坂	1929(昭和4)	木版・紙	
小野 忠重	銀座裏	1934(昭和9)	木版・紙	
南 薫造	雪の日の東京	1933(昭和8)	油彩・スケッチボード	
今西 中通	子供を抱く女	1943(昭和18)頃	油彩・キャンバス	
牧野 義雄	日本大使館から見たロンドン爆撃	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	
佐藤 静司	小沼機長	1944-45(昭和19-20)頃	水彩、鉛筆・紙	佐藤静司氏寄贈
佐藤 静司	初年兵	1944-45(昭和19-20)頃	水彩、鉛筆・紙	佐藤静司氏寄贈
丸樹 長三郎	おろかなりし歴史	1945(昭和20)	油彩・キャンバス	丸樹敏男氏寄贈
吉井 忠	敗れたる風景	1946(昭和21)	油彩・キャンバス	吉井忠氏寄贈
浜田 知明	初年兵哀歌(山を行く砲兵隊)	1953(昭和28)	エッチング、アクアチント・紙	
鎌田 正蔵	飢える人	1952(昭和27)	油彩・キャンバス	鎌田正蔵氏寄贈
中村 宏	射殺 Aching	1957(昭和32)	油彩・キャンバス	
高山 良策	漁夫	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	
鎌田 正蔵	鳥が落ちる(’86.4.26の記録)	1986(昭和61)	アクリル・キャンバス	
鎌田 正蔵	アリス・ハーズ夫人に捧ぐ	1969(昭和44)	フェルトペン、アクリル、インスタントレタリング・紙	鎌田正蔵氏寄贈
佐藤 潤四郎	手吹きウイスキーボトル(スーパーニッカ)東京五輪1964モデル	1964(昭和39)頃	ガラス／宙吹	ニッカウキスキー株式会社寄贈
亀倉 雄策	東京オリンピック(第1～3号ポスター)	1961-63(昭和36-38)	ポスター	復刻版(1990年凸版印刷)
五十嵐 威暢	科学万博つくば’85	1982(昭和57)	ポスター	復刻版(1990年凸版印刷)

展示室 4－① 線を刻む—エングレーヴィングの世界

銅版画技法「エングレーヴィング」は、15世紀のヨーロッパを起源に隆盛しました。ビュランとよばれる鋭利な刃物を用いて金属板に直接線を刻み、繊細な陰影を表現します。明治時代には、エドアルド・キヨソネが紙幣製造や技術者育成のために招聘され、日本にもこの技法が伝えられました。以来、独自の発展を遂げながら、現在も紙幣などの原版作製にはエングレーヴィング技法が

受け継がれています。

同じくビュランを用いる技法、「木口木版(wood engraving)」は、密度の高い木の幹を輪切りにした木口面を版とします。18世紀末のイギリスで発展し、緻密な描写による挿絵が本や新聞を飾りました。線の集積が生み出す二つのエングレーヴィング技法の世界をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
トマス・ビューイック	『四足獣概説』	1790	木口木版・紙／本
トマス・ビューイック	『英国鳥類誌 第一巻 陸鳥編』	1797	木口木版・紙／本
ディエル兄弟	『イギリス風景画集』	1863	木口木版・紙／本
リュシアン・ピサロ	C.ペロー『眠れる美女と赤ずきん』	1899	木口木版・紙／本
ウィリアム・ブラウン・マクドゥーガル	J.キーツ『イザベラ(バジルの壺)』	1898	木口木版・紙／本
合田 清	独逸皇帝フレデリック三世之肖像	1888(明治21)	木口木版・紙
合田 清	貴顕之肖像	1888(明治21)	木口木版・紙
青木 繁	『春鳥集』(蒲原有明著、本郷書院)	1905(明治38)	木口木版・紙／本
北川 民次	メキシコの浴み	c.1941(昭和16頃)	木口木版・紙
日和崎 尊夫	『FURESIMA』(坂本直昭著、創流舎)より	1980(昭和55)	木口木版・紙／ポートフォリオ
ジョゼフ・マロド・ウィリアム・ターナー	クローヴェリー湾、デヴォンシャー	1824	エッチング、ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロド・ウィリアム・ターナー	ボースウィック城		エッチング、ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロド・ウィリアム・ターナー	カリュウ城、バムブローク		ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロド・ウィリアム・ターナー	『キャンベルの詩集』より アンデス、海岸	1837	ライン・エングレーヴィング・紙／ポートフォリオ
ジョゼフ・マロド・ウィリアム・ターナー	『キャンベルの詩集』より スイスの谷	1837	ライン・エングレーヴィング・紙／ポートフォリオ
ウィリアム・ホガース	ビール街とジン小路 ビール街	1750-51	エッチング、エングレーヴィング・紙
ウィリアム・ホガース	ビール街とジン小路 ジン小路	1750-51	エッチング、エングレーヴィング・紙
ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』より 神の玉座の前のサタン 天地創造 キリストの幻 繁栄を回復したヨブとその妻	1825	ライン・エングレーヴィング・紙／ポートフォリオ
エドアルド・キヨソネ	岩倉具視公肖像	1889(明治22)	エングレーヴィング・紙
エドアルド・キヨソネ	日本銀行兌換銀券 壹圓	1888(明治21)	エングレーヴィング・紙
エドアルド・キヨソネ	大日本帝國政府 地券	1875(明治8)	エングレーヴィング・紙

展示室 4－② 食卓を彩る美の世界

おなじ料理でも、すてきな食器でいただくと、なぜか普段より美味しく感じられた経験はありませんか。それは、テーブルウェアの見た目の美しさや、手に取ったときの心地よさが、食事の雰囲気そのものを豊かにしてくれるからです。

このように、食卓を彩る美しい食器やカトラリーは、

眺めて楽しむだけでなく、実際に使うことによって私たちの暮らしを豊かにし、人と人とのつながりや歴史・文化の広がりをも生みだしてくれます。

美術館でテーブルウェアを鑑賞するさいも、その美しさをじっくり味わい、日々の生活のなかで、小さな幸せを楽しんでみてください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	刻文舟形容器	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	染付鳥波濤文把手付鉢		磁器
クリストファー・ドレッサー	黄緑釉アールヌーヴォー風装飾文皿	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	彩色金彩ロータス文大皿		陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵花模様皿とボウルのセット	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵金彩竹梅文水差		磁器
クリストファー・ドレッサー	黄緑釉水差(一対)	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	橋型二重注口人面壺	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	三角型葉味入れセット		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	蓋つきスープ入れ		金属、電気メッキ、黒檀把手
佐藤 潤四郎	ルーマー杯(グリーン)		ガラス/笛吹・プランツ、雲母掛入
佐藤 潤四郎	竹に雀文ワイングラス		ガラス/笛吹・クラゲール、プランツ
佐藤 潤四郎	葡萄文ワイングラス		ガラス/笛吹・クラゲール
佐藤 潤四郎	オリンピックブルー硝子皿	1941(昭和16)頃	ガラス/宙吹

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
吉田 丈夫	クリスタル瓶《瓢》		ガラス／宙吹	田淵十一氏寄贈
浜田 庄司	白釉鉄絵茶碗		ストーンウェア	
浜田 庄司	鉛釉花打茶碗		陶器	
仁阿弥 道八	刷毛目鉢	19世紀(江戸時代)	陶器	渡辺宗侑氏寄贈
田村 耕一	野草図楕円鉢	1963(昭和38)頃	陶器	麻山富義氏寄贈
浜田 庄司	黒釉錆流描角皿		陶器	麻山富義氏寄贈
佐藤 潤四郎	鳥文大皿		陶器	田淵十一氏寄贈

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●1階				
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒	
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒	
笠置 季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
●2階展示ロビー				
アリストテード・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ	大高善二郎氏寄贈
植木 茂	体		木彫	
木内 克	露柱	1976(昭和51)	テラコッタ	
柳原 義達	黒人の女	1956(昭和31)	ブロンズ	
佐藤 静司	遙か	1989(平成元)	ブロンズ	宇野洋子氏寄贈
●前庭				
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	



第1期 常設展示室1



第1期 常設展示室2



第2期 常設展示室3



第2期 常設展示室4

展示室1 草花を愛でるⅡ

この部屋では、19世紀イギリスにおいて描かれた草花に焦点を当てます。都市化の進展や消費社会の到来は人と自然との関わりを大きく変容させました。家庭ではガーデニングや小規模な庭園づくりが流行したほか、世界各地から多様な植物が商品としてもたらされ、日常生活は華やかに彩られました。

1837年から1901年までのヴィクトリア朝時代は「小説

の時代」とも呼ばれ、文学の隆盛とともに草花は物語や詩に豊かな象徴性をもって描かれます。イギリス国内で花言葉が大流行したのもこの時代で、花それぞれに意味が託され、恋心や苦悩、悲しみなど人々の感情を表す手段となりました。こうした草花を取り巻く文化的表象は、同時代の美術にどのような影響を与えたのでしょうか。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
サミュエル・パーマー	生命の朝	1860-1着手	エッチング・紙	ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	昇る月(イングランドの田園詩)	1857	エッチング・紙	ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	ひばり	1850	エッチング・紙	ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	牧夫の小屋(日没)	1850	エッチング・紙	ローダーコレクション
ディエル兄弟(刻)	J.モンゴメリ『詩集』挿絵		木口木版・紙	ローダーコレクション
ディエル兄弟(刻)	岩の多い海岸と荒海に浮かぶ船		木口木版・紙	ローダーコレクション
ディエル兄弟(刻)	頭文字を木に刻む羊飼いのいる風景		木口木版・紙	ローダーコレクション
ディエル兄弟(刻)	釣りをする子供のいる風景		木口木版・紙	ローダーコレクション
ディエル兄弟(刻)	W.ワーズワース『詩集』	1859	木口木版・紙／本	ローダーコレクション
ディエル兄弟(刻)	『イギリス風景画集』	1863	木口木版・紙／本	ローダーコレクション
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	『フラワー・ブック』より全38点	1905	リトグラフ・紙／ポートフォリオ(38点組)	
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス	
サー・フランク・ブランギン	花園	1899頃	油彩・板	
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス	
ウォルター・クレイン	『夏の女王 あるいは百合と薔薇の騎馬試合』	1891	リトグラフ・紙	個人蔵(特別出品)
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス	
サー・ジョシユア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のクールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス	

展示室2 山本二三が敬愛した画家 一大下藤次郎と『みづゑ』

明治時代の水彩画家大下藤次郎は、水彩画の普及にも努め、1901年に技法書『水彩画の栞』、1904年に『水彩画階梯』を刊行しました。『水彩画の栞』がベストセラーになり水彩画ブームが沸き起こりましたが、より詳しい指南書の必要性を感じ、1905年に月刊誌『みづゑ』を創刊します。『みづゑ』には、水彩画の本場である英国の画家の紹介、道具や技法の手引き、展覧会評などが掲載され、のちに

水彩画の枠を超えて広く美術を扱う雑誌に成長していきます。『みづゑ』が伝えた技術と精神は広く日本に根付き、世界に誇るアニメーション美術が生まれる土壌をも築きました。

この展示では、大下藤次郎とともに『みづゑ』を盛り立てた仲間たちの作品、彼らが憧れた英国の水彩画をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
ポール・サンドビー	ウォーリック城シーザー塔	1778-82	水彩、インク・紙	
トマス・ガーティン	エクセター大聖堂	1798頃	水彩・紙	
ジョン・ヴァーレー	ポントシスリット・アクアダクト	1826	水彩・紙	
ピーター・デ・ウィント	ウィットビー		水彩・紙	
デイヴィッド・コックス	川辺の騎手と人物	1850	水彩、鉛筆、チョーク・紙	
ジョン・セル・コットマン	ルーアン、ラ・ピュセル広場のブルトルド館	1823	水彩・紙	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	海と空の習作	1825頃	メゾチント・紙	ローダーコレクション
ジョン・コンスタブル	ヤーマス、ノーフォーク	1832	メゾチント、手彩色・紙	ローダーコレクション
ジョン・コンスタブル	ノーフォーク、ヤーマス(『イングランドの風景』より)	1830-32	メゾチント、手彩色・紙	ローダーコレクション
サー・アルフレッド・イースト	雨の湯本	1889	水彩・紙	
サー・アルフレッド・イースト	クールマイヨール風景	1885-1905頃	水彩・紙	
アルフレッド・ウィリアム・バーソズ	鎌倉の茶店		グワッシュ・紙	
大下 藤次郎	赤城駒ヶ岳の紅葉	1907(明治40)	水彩・紙	
大下 藤次郎	晩秋	1908(明治41)	水彩・紙	
大下 藤次郎	舟のある風景	1906(明治39)	水彩・紙	
真野 紀太郎	ウェリントン植物園	1924(大正13)	水彩・紙	
三宅 克己	渋谷村天現寺附近の茶店	1893(明治26)	水彩・紙	
三宅 克己	箱根		水彩・紙	
石川 欽一郎	牛荘(ニューチョワン)		水彩・紙	

作者名	作品名	制作年	技法・材質
丸山 晚霞	霜晴れの高原		水彩・紙
丸山 晚霞	少女のいる風景、春		水彩・紙
吉田 博	山村風景	1896(明治29)	水彩・紙
吉田 博	檜原下川のつなさんの馬	1908(明治41)	水彩・紙
中川 八郎	薄暮の街		水彩、コンテ・紙
南 薫造	橋のある河		水彩・紙
河合 新蔵	武州五日市の雪景		水彩・紙
森田 恒友	田園風景	1906(明治39)頃	水彩・紙
水野 以文	水辺の風景		水彩・紙
石井 柏亭	江村(中川奥戸)	1936(昭和11)	水彩・紙
石井 柏亭	洋画実技講座	1937(昭和12)	本
大下 藤次郎	『瀬戸内写生旅行』より松のある海辺	1911(明治44)頃	鉛筆、水彩・紙／画帖
	『みづゑ』第1、第4、第5、第76、第81、第87、第900		

展示室3 没後80年 木彫家・三木宗策

三木宗策は郡山市本町で表具師を営んでいた父・宗次郎のもとに生まれ、1906(明治39)年上京して、高村光雲の高弟だった山本瑞雲に入門しました。1916(大正5)年第10回文展に初入選、以降官展に出品を続け、のち審査員もつとめるなど活躍、日本木彫会や正統木彫家協会結成に参加するなど、近代の木彫界を担うひとりとして期待されました。

1945(昭和20)年11月28日疎開中に郷里・郡山で歿したとき、54歳という早過ぎる悲報に大きな落胆と喪失感が広がったと伝わります。11月30日善導寺での告別式のあと、12月には都内の自宅でも葬儀がおこなわれました。没後80年を迎え、近年寄贈いただいた作品などを中心にご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
三木 宗策	丹花綻ぶ	1936(昭和11)	木彫
三木 宗策	丹花綻ぶ(石膏原型)	1936(昭和11)	石膏
三木 宗策	大葉子	1942(昭和17)	木彫
三木 宗策	威容抱慈(坂上田村麻呂像)	1924(大正13)	木彫
三木 宗策	傷つきたる鳥人	1941(昭和16)	木彫
三木 宗策	萬葉相華(習作)	1940(昭和15)頃	木彫、彩色
三木 宗策	裸婦像		木彫
三木 宗策	聖観音木像	1912(明治45)	木彫
三木 宗策	浅香山の采女		木彫、彩色
三木 宗策	閑日	1916(大正5)頃	木彫、彩色
三木 宗策	春	1929(昭和4)頃	木彫、彩色
三木 宗策	萬歳楽	1943(昭和18)	木彫、彩色
三木 宗策	兎	1937(昭和12)	木彫
三木 宗策	羊	1931(昭和6)	ブロンズ

高橋周子氏寄贈
三木康生氏寄贈
萩原巖氏寄贈
管理換え
三木康生氏寄贈
國分昭代氏寄贈
國分昭代氏寄贈
寄託作品
寄託作品
特別出品(伊藤和氏所蔵)
山口紀夫氏寄贈
渡辺真氏寄贈
渡辺真氏寄贈
渡辺真氏寄贈

展示室4-① 光と闇のあわい ―日本の戦後版画

第二次世界大戦が終結すると、美術家たちは活動を再開し、国内美術界は活気づきます。版画は飛躍的な展開を遂げ、海外で受賞を重ねる作家が現れるなど、高く評価されました。この一室では、光と闇の表現が探求された戦後の版画作品を取り上げます。

浜田知明は社会や人間を鋭くユーモラスに表し、駒井哲郎は詩情あふれる幻想的世界を刻みます。二人の版画

家を中心に、モノクロームを基調として深淵と向き合う秀島由己男、カラー・メゾチントを切り拓いた浜口陽三を交えて展示いたします。

彼らの作品には、あたかも当時の社会を映し出す鏡のように、光から闇へ、闇から光へと交錯する多様なイメージが認められます。光と闇のあわいに現れる版画の世界をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
浜田 知明	首	1951(昭和26)	エッチング、アクアチント・紙
浜田 知明	初年兵哀歌(山を行く砲兵隊)	1953(昭和28)	エッチング、アクアチント・紙
浜田 知明	一隅	1956(昭和31)	エッチング、アクアチント・紙
浜田 知明	女	1960(昭和35)	エッチング、アクアチント・紙
浜田 知明	『見える人・浜田知明版画集』 (大阪フォルム画廊)	1975(昭和50)	エッチング・紙／ポートフォリオ
	1 孤独なやつ		
	2 顔		

作者名	作品名	制作年	技法・材質
秀島 由己男	3 情報過多の人間	1985(昭和60)	メゾチント・紙／ポートフォリオ
	4 男		
	5 顔		
	7 顔		
	『静物考』(南天子画廊) (6枚組)		
	Paper Balloon		
	Cabbage		
駒井 哲郎	Winter Cherry	1950(昭和25)	アクアチント・紙
	Shell		
	悪僧		
	果実の受胎		
	審判		
	詩画集『人それと呼んで反歌という』		
	PL6「年齢について」の別刷		
駒井 哲郎	白い黒ン坊	1950(昭和25)	アクアチント、ドライポイント・紙
	調理場 (La Cuisine)		
	13		
	鳥と果実(小)		
	飛んでいる鳥と木の葉		
	鏡		
	ぶどうとナイフ		
浜口 陽三	西瓜	1981(昭和56)	メゾチント・紙

展示室 4-② 工芸のモダニズム

イギリス人のクリストファー・ドレッサー(1834-1904)は、植物を中心とした有機的なイメージを大胆に抽象化し、20世紀デザインに先駆けるような単純で幾何学的な形態の金属器やガラス器などを数多く生み出しています。ドレッサーは日本の工芸品などに影響をうけつつ、工業製品のための斬新なデザインを次々と手がけ、イギリスのデザイン界を牽引しました。日本の工芸界では、

昭和初期頃に浜田庄司らを中心に、工人を称揚し「用の美」をうたった民芸運動が起きました。郡山市出身の佐藤潤四郎は、民芸の思想に共鳴しながら、ガラス工芸の新分野の開拓を意欲的に行っています。佐藤は素材の特性や用途としての機能性に重きをおきつつ、独自のデザインを生み出しています。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ、黒檀把手(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	蓋つきスープ入れ		金属、電気メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(ポイントアーチ型)	1879	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(青海波)	1879-1882頃	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	三角型薬味入れセット		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	デカンター・セット(栓付き細首ぶどう酒瓶)		ガラス、金属金具、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	花瓶(緑色クルーサ・ガラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	プロペラ瓶(緑色クルーサ・ガラス)		ガラス
佐藤 潤四郎	花器(カットグラス)	1986(昭和61)	ガラス／型吹・エッチング、カット
佐藤 潤四郎	灰皿		ガラス／型押し
佐藤 潤四郎	水指(カットグラス)	1986(昭和61)	ガラス／型吹・カット
佐藤 潤四郎	ウィスキーボトル「インベリアル」		ガラス／機械吹き・カット サントリー(株)寄贈
佐藤 潤四郎	花器・穴があいてちょっと考えた	1980-82(昭和55-57)頃	ガラス／宙吹・カット
佐藤 潤四郎	花器(カレット入り)		ガラス／宙吹・カレット封入
佐藤 潤四郎	皿(グリーン)		ガラス／宙吹
佐藤 潤四郎	玻璃花器	1980年代	ガラス／宙吹 佐藤昌保氏寄贈
浜田 庄司	黒釉錆流描角皿		陶器 麻山富義氏寄贈
浜田 庄司	白釉鉄絵茶碗		ストーンウェア
バーナード・リーチ	白磁魚絵皿	1961	磁器
バーナード・リーチ	鉄絵碗		陶器

作者名	作品名	制作年	技法・材質
クリストファー・ドレッサー	把手付き燭台		真鍮、木製把手
クリストファー・ドレッサー	青緑釉水差	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	緑釉球形花生	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	金銀彩植物模様タイル		磁器

●追悼展示

作者名	作品名	制作年	技法・材質
岩谷 徹	夏の思い出	1976(昭和51)	メゾチント・紙
岩谷 徹	赤い魚(大)	1976(昭和51)	メゾチント・紙
岩谷 徹	五月の緑	1984(昭和59)	メゾチント・紙
岩谷 徹	落日—森	1985(昭和60)	メゾチント・紙

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
笠置 季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
●2階展示ロビー			
アリストテード・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ 大高善二郎氏寄贈
植木 茂	体		木彫
木内 克	露柱	1976(昭和51)	テラコッタ
柳原 義達	黒人の女	1956(昭和31)	ブロンズ
佐藤 静司	遙か	1989(平成元)	ブロンズ 宇野洋子氏寄贈
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ



第3期 常設展示室1



第3期 常設展示室2



第3期 常設展示室3



第3期 常設展示室4

展示室1 フラヌール 都市の遊歩者

産業革命によって近代化が進むと、市民社会は成熟し、華やかな時代を迎えます。画家たちは都市の街路をそぞろ歩き、群衆のなかに埋もれつつ、その情景を巧みに表しました。彼らは近代的な生活に身を置くことで、自ら体感した街の雰囲気、とるに足りない些細な出来事を、クローズアップして取り上げます。様々な人が集う通りや市場といった街の雑踏は、「都市の生活者」である画家

にとって格好の題材となりました。また、華やかなファッションに身を包んだ女性もしばしば描かれ、当時のモードの着こなしを見ることもできます。この一室では、ピアズリー、シッカート、ホイッスラーをはじめとした画家たちによって捉えられた近代の都市風俗をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
オーブリー・ピアズリー	自画像		ラインブロック・紙
オーブリー・ピアズリー	『イエロー・ブック』第2巻表紙デザイン	1894	ラインブロック・紙
オーブリー・ピアズリー	『イエロー・ブック』第2巻タイトルページデザイン	1894	ラインブロック・紙
オーブリー・ピアズリー	『ピエロ・ライブラリー』表紙デザイン	1896	ラインブロック・紙
オーブリー・ピアズリー	『ピエロ・ライブラリー』裏表紙見返しデザイン	1896	ラインブロック・紙
オーブリー・ピアズリー	「セット・オヴ・オッド・ヴェリユームズ」喫煙招待状デザイン	1895	ラインブロック・紙
オーブリー・ピアズリー	J.ラムズデン・プロバートの蔵書票(『イエロー・ブック』第1巻挿絵)	1893	ラインブロック・紙
オーブリー・ピアズリー	夜景(『イエロー・ブック』第1巻挿絵)	1894	ラインブロック・紙
オーブリー・ピアズリー	ドストエフスキー著『貧しき人々』タイトル・ページデザイン	1894	ラインブロック・紙
オーブリー・ピアズリー	メッサリーナ(ユヴェナリス著『6番目の風刺』挿絵)	1895	ラインブロック・紙
オーブリー・ピアズリー	ジュゼッペ・ヴェルディ		写真製版・紙
オーブリー・ピアズリー	レジャース		写真製版・紙
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス
ウォルター・シッカート	ムガール・タヴァーン、ドルーリー・レーン	1908	エッチング、アクアチント・紙 ローダーコレクション
ウォルター・シッカート	空中庭園	1926-9	エッチング・紙 ローダーコレクション
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	寝床での読書	1858	エッチング・紙 ローダーコレクション
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ランプの明かりでの読書	1858-9	エッチング、ドライポイント・紙 ローダーコレクション
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ピエロ	1889	エッチング・紙 ローダーコレクション
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	渡し場 No.2	1880	エッチング、ドライポイント・紙 ローダーコレクション
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
サー・フランク・ブランギン	市場		エッチング・紙
テオドル・ルーセル	小さな魚屋、チェルシー		エッチング・紙 ローダーコレクション
テオドル・ルーセル	門、チェルシー		エッチング、ドライポイント・紙 ローダーコレクション
ウォルター・グリーヴズ	デューク通り、チェルシー	1860	エッチング・紙 ローダーコレクション
ジョセフ・ベネル	聖バーソロミュー・ゲイト	1907	エッチング・紙 ローダーコレクション
ジョセフ・ベネル	ベッセマーへ向かって	1908	エッチング・紙 ローダーコレクション
ジョセフ・ベネル	弾丸製造塔	1906	エッチング・紙 ローダーコレクション
シリル・エドワード・パワー	地下鉄の階段	1929	リノカット・紙
サー・フランク・ブランギン	花園	1899頃	油彩・板

展示室2 近現代の日本画

この部屋では、新収蔵品を中心に当館の日本画コレクションをご紹介します。

当館は、郡山市出身の安藤重春や黒沢吉蔵をはじめ、二本松市出身の荻生天泉、三島町出身の酒井三良など、郷土ゆかりの作家を中心に日本画作品の収集を進めてきました。なかでも、昨年度新たに購入した荻生天泉《汝月明也》と酒井三良《会津の樵人》の2作品には、天泉が

得意とした優美な人物表現や、三良が生涯を通して描き続けた郷土・会津の静穏な自然と人々の暮らしなど、それぞれ作家の個性がよく表れています。さらに昨年は、京都画壇で独自の展開を見せた玉村方久斗と小野竹喬の屏風作品を郡山市内のご所蔵家からご寄贈いただき、コレクションは一層多彩な広がりをみせています。近現代日本画の魅力に親しむ機会となれば幸いです。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
荻生 天泉	行成卿	1932(昭和7)	岩絵具・紙／二曲一双屏風

作者名	作品名	制作年	技法・材質
荻生 天泉	汝月明也	1932(昭和7)	絹本着色／軸
玉村 方久斗	柘榴	1924(大正13)頃	墨、岩絵具・絹／二曲一雙屏風 西山昭二郎氏寄贈
小野 竹喬	風景	1922-23(大正11-12)	岩絵具・絹／二曲一雙屏風 西山昭二郎氏寄贈
酒井 三良	会津の樵人	1917(大正6)	紙本着色／二曲一隻
菊地 養之助	雪野	1976(昭和51)	岩絵具・紙 菊地一郎氏寄贈
黒沢 吉蔵	冬	1964(昭和39)	岩絵具・紙 黒沢吉蔵氏寄贈
安藤 重春	あんず	1932-37(昭和7-12)頃	岩絵具・絹 安藤重春氏寄贈
安藤 重春	水道	1977(昭和52)	岩絵具・紙 安藤ヒサヨ氏寄贈
安藤 重春	レッスン	1977(昭和52)	岩絵具・紙 安藤重春氏寄贈
安藤 重春	雨の華	1979(昭和54)	岩絵具・紙

展示室3 尖る美術 シッカートとその時代

19世紀末のイギリス美術界は、ロイヤル・アカデミーを中心とする保守的な制度が依然として影響力をもっていました。フランスの印象派やポスト印象派の受容を背景に、新たな表現を模索する画家たちが独自の団体を形成していきました。その動きを牽引したひとりが、ウォルター・シッカートです。彼は都市ロンドンの現実に鋭く向き合い、都市の光景や劇場、時に不穏さを帯びた親

密な室内空間を描き出すとともに、カムデン・タウン・グループなど複数の美術団体を通じて若手を導きました。本章では、シッカートを起点に、都市と生活、世界大戦、急速に変化する近代社会といった主題に、鋭い時代感覚と独自の表現で応答した画家たちによる、イギリスにおけるモダニズムの展開を紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ウォルター・シッカート	カフェの中	1914頃	油彩・キャンバス
ウォルター・シッカート	麦わら帽子	1907頃	リトグラフ・紙 ローダーコレクション
ウォルター・シッカート	古風な考えの私の母	1928頃	エッチング・紙 ローダーコレクション
ウォルター・シッカート	カムデン・タウンの殺人	1908	エッチング、アクアチント・紙 ローダーコレクション
ウォルター・シッカート	サセックス広場、リージェンツ・パーク	1920	エッチング・紙 ローダーコレクション
シルヴィア・ゴス	化粧台に立つ裸婦		リトグラフ・紙 ローダーコレクション
チャールズ・ジナー	コーンウォールのコテージ		木版・紙 ローダーコレクション
チャールズ・ジナー	ウェスト・ヒースにて		木口木版・紙 ローダーコレクション
チャールズ・ジナー	ピット・ハウス	1931	木口木版・紙 ローダーコレクション
ロバート・ベヴァン	馬商人(ウォードの倉庫 No.1)	1919	リトグラフ・紙 ローダーコレクション
ロバート・ベヴァン	ウォードの倉庫での競売(ウォード No.2)	1921	リトグラフ・紙 ローダーコレクション
ロバート・ベヴァン	馬市(バービカン No.1)	1920	リトグラフ・紙 ローダーコレクション
ロバート・ベヴァン	バービカンの馬商人(バービカンNo.2)	1921	リトグラフ・紙 ローダーコレクション
ミューアヘッド・ボーン	キオッジャのアーチ道		エッチング・紙 ローダーコレクション
ミューアヘッド・ボーン	サンティ・アポストリ運河と橋、ヴェニス	1916-24	エッチング・紙 ローダーコレクション
ジョン・ナッシュ	荷車に積まれた干草	1920	木口木版・紙 ローダーコレクション
ジョン・ナッシュ	森への小道	1927	木口木版・紙 ローダーコレクション
ジョン・ナッシュ	雌牛	1929	木口木版・紙 ローダーコレクション
ポール・ナッシュ	ドイツ製二重トーチカ、ゲルフェルト	1918	リトグラフ・紙 ローダーコレクション
ポール・ナッシュ	夜間行軍	1918	リトグラフ・紙 ローダーコレクション
クリストファー・リチャード・ウイン・ネヴィンソン	『航空機製作の六場面』より		
	アセチレン溶接工	1917	リトグラフ・紙 ローダーコレクション
	部品組立	1917	リトグラフ・紙 ローダーコレクション
	エンジン製作	1917	リトグラフ・紙 ローダーコレクション
クリストファー・リチャード・ウイン・ネヴィンソン	アラスからパポームへの道	1918	リトグラフ・紙 ローダーコレクション
リュシアン・ピサロ	C.ペロー『眠れる美女と赤ずきん』	1899	木口木版・紙／本 ローダーコレクション
ディヴィッド・ボンバーグ	『ロシア・バレエ』4	1914-19	カラーリトグラフ・紙／本 ローダーコレクション
クリストファー・リチャード・ウイン・ネヴィンソン	休憩するフランス軍	1916	ドライポイント・紙 ローダーコレクション
エドワード・ウォズワース	ストリート・シンガー	1914	木版・紙 ローダーコレクション
エドワード・ウォズワース	内部		木版・紙 ローダーコレクション
エドワード・ウォズワース	創造	1917	木版・紙 ローダーコレクション

展示室 4－① 版画のなかの子どもたち

版画は、当時の社会や日常を身近に映し出しています。なかでも「子ども」は、その時代の価値観や、社会が抱える不安や希望を象徴する存在として、繰り返し描かれてきました。子どもは、弱く守られるべき存在であると同時に、その時代が抱いた理想や葛藤を反映するイメージとして、版画のなかに描かれてきたのです。

明治から昭和にかけて、版画のなかの子どもをめぐるイメージの変遷を追うことで、美術と社会の関係、そして未来へ向けられたまなざしのあり方を問い直し、近代社会における子ども観の形成過程を浮かび上がらせま

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
岡村 政子	忠臣義士	1891(明治24)	石版・紙	
亀井 至一	常盤雪中抱孤出図	1882(明治15)	石版、手彩色・紙	
岡村 政子(推定)	愛犬と少女	1898(明治31)	石版・紙	明治版画コレクション
太田 節次	角力遊	1892(明治25)	石版、手彩色・紙	丹尾安典コレクション寄贈
黒木 半之助	ハイカラ ノ ボーヤ	1909(明治42)	石版、手彩色・紙	丹尾安典コレクション寄贈
太田 節次	可愛三人子	1891(明治24)	石版、手彩色・紙	長谷川宏コレクション寄贈
加藤 進太郎	童児狐拳之図	1889(明治22)	石版、手彩色・紙	明治版画コレクション
熊澤 喜太郎	今金時	1891(明治24)	石版、手彩色・紙	明治版画コレクション
恩地 孝四郎	『HANGA 第壹輯』(版画の家)より 母と子	1924(大正13)	木版、エッチング／ポートフォリオ	
北川 民次	母子像	1973(昭和48)	エッチング・紙	
福田 利秋	福寿草	1967(昭和42)	木版・紙	福田利秋氏寄贈
福田 利秋	花	1933(昭和8)	木版・紙	福田利秋氏寄贈
岩谷 徹	若き道化	1981(昭和56)	メゾチント・紙	
岡村 政子	親愛ノ姉稚児喜ビノ図	1888(明治21)	石版、手彩色・紙	明治版画コレクション
藪崎 芳次郎	小児犬戯図	1886(明治19)	石版、手彩色・紙	明治版画コレクション
安井 曾太郎	少女と大このはづく	1939(昭和14)	リトグラフ・紙	
秋山 泰計	母子像	1973(昭和48)	木版・紙	
秋山 泰計	鳥をねらう猫を抱く少女	1976(昭和51)	木版・紙	秋山照子氏寄贈
菅野 陽	生	1962(昭和37)	リフトグラウンド・エッチング、アクアチント・紙	
横井 弘三	子供		油彩・キャンバス	

展示室 4－② ガラスの造形

デザイナーの豊かな感性、それを形にする職人たちの高い技術力による「ガラスの造形」をご覧ください。
スコットランド出身のクリストファー・ドレッサーは、グラスゴーのジェームズ・クーパー＆サンズ社のために「クルーサ・ガラス」をデザインしました。近くを流れるクライド川の古名に由来して名付けられ、のびやかなフォルム、美しいマーブル模様、そして細かな気泡や

金属箔が、想像力をかき立てます。
佐藤潤四郎は、郡山市出身のガラス工芸家・デザイナーです。制作を担う職人に深い敬意を払い、協働のなかから生まれた作品には、手になじむぬくもりが宿っています。硬質でありながらしなやかに形を変える、ガラスという素材の可能性を感じながらご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
クリストファー・ドレッサー	花瓶(緑色クルーサ・ガラス)		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	瓶(茶色クルーサ・ガラス)		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	プロペラ瓶(緑色クルーサ・ガラス)		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	瓶(緑色クルーサ・ガラス)		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	ローマン瓶(緑色クルーサ・ガラス)		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	花瓶(赤色クルーサ・ガラス)		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	瓶(淡緑色クルーサ・ガラス)		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	花瓶(緑色クルーサ・ガラス)		ガラス	
各務 鑛三	クリスタル花瓶《鱗影》	1970(昭和45)頃	ガラス／宙吹・気泡封入、グラヴェール	田淵十一氏寄贈
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器(顔)	1986(昭和61)	ガラス、鉄／鍛鉄吹込	
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器・灯もつけて	1986(昭和61)	ガラス、鉄／鍛鉄吹込	
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器(グリーン)	1986(昭和61)	ガラス、鉄／鍛鉄吹込	

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器		ガラス、鉄／鍛鉄吹込・雲母封入
佐藤 潤四郎	花器・一寸考えて		ガラス／宙吹
佐藤 潤四郎	花器・ちょっと考えて(樹)		ガラス／宙吹・グラヴェール
佐藤 潤四郎	花器・何をしようか	1986(昭和61)	ガラス／宙吹
佐藤 潤四郎	ボウル(グリーン)		ガラス／宙吹
佐藤 潤四郎	花器(グリーン)		ガラス／宙吹
佐藤 潤四郎	花器・仏足跡ロータス		ガラス／宙吹、サンドブラスト 佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	舍利器(カレット入り)		ガラス／宙吹・カレット融着
佐藤 潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器(控)No.1	1980(昭和55)	ガラス／宙吹・カット
佐藤 潤四郎	舍利器		ガラス／宙吹・気泡封入、プランツ
佐藤 潤四郎	花器・穴があいてちょっと考えた	1980-82(昭和55-57)頃	ガラス／宙吹・カット
佐藤 潤四郎	ブルー花器		ガラス／宙吹
佐藤 潤四郎	ルーマー杯・大好きな形		ガラス／宙吹・プランツ
佐藤 潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		ガラス／宙吹・グラヴェール、プランツ
佐藤 潤四郎	大杯・ガラスを吹く人	1986(昭和61)	ガラス／宙吹・グラヴェール、プランツ 佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	大杯・ワインを造る		ガラス／宙吹・グラヴェール、プランツ 佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	手吹きウイスキーボトル(スーパーニッカ)初号モデル	1962(昭和37)頃	ガラス／宙吹 川崎清氏寄贈
佐藤 潤四郎	ウイスキーボトル「インペリアル」		ガラス／機械吹き・カット サントリー㈱寄贈
佐藤 潤四郎	瓶・ガラスの神様		ガラス／宙吹・グラヴェール、プランツ
佐藤 潤四郎	オブジェ・ガラスを吹く人(2点組)		金工(鍛鉄) 大方竜子氏寄贈

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
笠置 季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
●2階展示ロビー			
舟越 保武	少女	1956(昭和31)	砂岩
佐藤 静司	子供頭部	1955(昭和30)	木彫 佐藤静司氏寄贈
木内 克	女の顔	1965(昭和40)	石膏、顔料 和田敏文氏寄贈
山本 正道	帽子を被る男の肖像	1970-4(昭和45-9)	ブロンズ
佐藤 静司	遙か	1989(平成元)	ブロンズ 宇野洋子氏寄贈
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ



第4期 常設展示室2



第4期 常設展示室4

2) 企画展

武井武雄展 幻想の世界へようこそ

会 期：令和7年4月19日(土)～6月22日(日)
主 催：郡山市立美術館 中日新聞社 岡谷市
企画協力：イルフ童画館
観 覧 料：一般800(640)円
高校・大学生・65歳以上500(400)円
※()内は20名以上の団体料金
※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料

趣 旨

大正から昭和期にかけて活躍した、マルチ・アーティスト武井武雄。武井は「子どものための芸術こそ、本物の芸術でなければならない」という熱い想いから「童画」というジャンルを発案した。子ども向け雑誌などで「童画家」として活躍する一方、版画家やデザイナー、玩具作家、教育者など、類まれな才能を次々に発揮し、多彩な活動を繰り広げた。本展では、武井武雄の故郷・長野県岡谷市のイルフ童画館にご協力いただき、童画や版画、本、玩具など貴重な作品約300点を展観した。

関連行事

○講演会

「武井武雄の生涯と作品」

講師：山岸吉郎氏(イルフ童画館館長)

日時：令和7年4月27日(日)午後2時から

場所：多目的スタジオ

○美術講座

「武井武雄とモダン・キッズの世界」

講師：永山多貴子(当館館長)

日時：令和7年6月1日(日)午後2時から

場所：多目的スタジオ

○美術講座

「武井武雄と版画」

講師：中山恵理(当館学芸員)

日時：令和7年6月15日(日)午後2時から

場所：多目的スタジオ

○ギャラリートーク

講師：永山多貴子(当館館長)

日時：令和7年5月10日(土)午後2時から

場所：企画展示室

○ギャラリートーク

講師：中山恵理(当館学芸員)

日時：令和7年5月31日(土)午後2時から

場所：企画展示室

○キッズ・ワークショップ(1)

「光と色であそぼう！」

講師：こどもバウハウス 小池晶子氏(造形プランナー)

日時：令和7年4月29日(火・祝)

午前10時30分から／午後1時30分から

場所：中央階段ホール、ロビー



ポスター



図録

- キッズ・ワークショップ(2)
「武井武雄デザインのギフトBOXをつくろう」
講師：犬塚奈々子氏(イルフ童画館)
日時：令和7年5月5日(月・祝)午前10時30分から／午後1時30分から
場所：多目的スタジオ
- ワークショップ
「本をつくる」
講師：植村愛音氏(古本と手製本ヨンネ)、河西見佳氏(イルフ童画館)
日時：令和7年6月7日(土)午前10時から
場所：創作スタジオ
- 朗読音楽会
「朗読とチェロが紡ぐものがたり」
出演：渡邊奈美氏(朗読)、懸田貴嗣氏(バロックチェロ)
日時：令和7年6月14日(土)午後6時30分から
場所：中央階段ホール

発行物

『武井武雄 幻想の世界へようこそ』
19.5×19.5cm 240ページ 発行日：令和6年8月14日
編集：中日新聞社、イルフ童画館
執筆：黒柳徹子(俳優・エッセイスト)／遠藤知恵子(白百合女子大学児童文化研究センター助手)／山岸吉郎(イルフ童画館館長)／河西見佳(イルフ童画館学芸員)／犬塚奈々子(イルフ童画館学芸員)
デザイン：常松靖史(TUNE)
発行：株式会社求龍堂
内容：はじめに／岡谷市長 早出一真「展覧会によせて」／山岸吉郎「童画家の矜持」／プロローグ 武井武雄とは／第1章 童画／第2章 版画／武井三春「私の版画随想」／河西見佳「童画家・武井武雄は進化する」／第3章 刊本作品／第4章 デザイン／第5章 木にとまりたかった木のはなし／黒柳徹子「色んな奇蹟が重なってできあがった本」／エピローグ 武井武雄が思う平和とは／遠藤知恵子「もう1人の主人公」／犬塚奈々子「『日本童画家協会展』のタブロー画に見る武井の童画への思い」／武井武雄年譜／掲載作品目録／主要参考文献

関連記事

- 「武井武雄の世界広がる」『福島民報』令和7年4月24日付
「郡山市立美術館で武井武雄展」『福島民友』令和7年5月3日付
「市立美術館の窓 彩る GWでワークショップ」『福島民報』令和7年5月5日付
「作品への理解深める 郡山市立美術館 武井武雄展でトーク」『福島民報』令和7年5月13日付
「懐かしいパンピ、美術館で再会」『福島民報』投稿欄、令和7年5月28日付
「幻想の童画 武井武雄の世界」『福島民友』令和7年6月3日付
「本作り楽しさ体感 郡山市立美術館 武井武雄展で教室」『福島民報』令和7年6月13日付
「『武井武雄』を学ぶ 郡山市立美術館で講座」『福島民報』令和7年6月20日付

出品リスト

プロローグ		P-7	(不詳) 1955 水彩、クレヨン・紙 309 × 383	P-13	刊本作品と刊本作品専用箱
P-1	自画像 1910 水彩・紙 250 × 175			P-14	刊本作品 No.59 人魚と嫦娥 1965-1966 螺鈿細工・紙、樹脂、漆、螺鈿 146 × 138
P-2	女 1910 水彩・紙 257 × 172	P-8	地球の庭 1965 水彩、クレヨン・紙 335 × 455		
P-3	水蜜桃 1910 水彩・紙 179 × 255	P-9	世界の童話第3巻表紙 1969 水彩、クレヨン・紙 333 × 227	P-15	人魚と嫦娥 試作 1965-1966 螺鈿細工・紙、螺鈿
P-4	風景画 1913 水彩・紙 173 × 322	P-10	イルカ 1935 銅版・紙 160 × 130	P-16	蛍の塔 写真
P-5	AUTO PORTRAIT DE AVRIL 1913 水彩・紙 345 × 257	P-11	愛蔵こけし図譜 熱塩 佐藤春二 不詳 伝承木版・紙 266 × 182	P-17	「日本童画家協会展」招待状 印刷
P-6	無題 1914 油絵・キャンパス 455 × 607	P-12	鳥の連作 No.7 早起鳥 1969 木版・紙 334 × 494	第1章	
				1-1	はねや 1921 水彩・紙 220 × 302 婦人之友社

- | | | |
|---|--|---|
| 1-2 評判
1924 水彩・紙 257 × 368
婦人之友社 | 1-23 『ベスト博士の夢』
印刷 198 × 137 | 1-45 くつのおうち
1950 水彩、クレヨン・紙
350 × 472 |
| 1-3 帰る雀
1926 水彩・紙 260 × 370
婦人之友社 | 1-24 『ラムラム王』
印刷 202 × 140 | 1-46 みつばちのくに
1952 水彩・紙 350 × 472 |
| 1-4 イソップモノガタリ 表紙
不詳 水彩・紙 275 × 371 | 1-25 赤ノッポ 青ノッポ 表紙
1948 水彩・紙 270 × 383 | 1-47 どんどやき
1953 水彩、クレヨン・紙
351 × 472 |
| 1-5 イソップモノガタリ アリトキリギリス
不詳 水彩・紙 259 × 370 | 1-26 赤ノッポ 青ノッポ 扉
1948 水彩・紙 258 × 178 | 1-48 ソフトクリーム
1956 水彩・紙 321 × 455 |
| 1-6 イソップモノガタリ クジャクトカラス
不詳 水彩・紙 258 × 370 | 1-27 赤ノッポ 青ノッポ 3,4
1948 水彩・紙 254 × 177 | 1-49 おすもうさん
1956 水彩、クレヨン・紙
310 × 434 |
| 1-7 イソップモノガタリ ロバトチン
不詳 水彩・紙 258 × 370 | 1-28 赤ノッポ 青ノッポ 7,8
1948 水彩・紙 254 × 177 | 1-50 あしたはなにをもっていこう
1957 水彩、クレヨン・紙
334 × 448 |
| 1-8 兎
1927 インク・紙 221 × 157 | 1-29 赤ノッポ 青ノッポ 口絵
1954 水彩・紙 322 × 195 | 1-51 もーたーぼーととゆうらんせん
1958 水彩、クレヨン・紙
317 × 428 |
| 1-9 車屋さん、車屋さん
1929 インク・紙 222 × 160 | 1-30 赤ノッポ 青ノッポ 表紙
1982 水彩、クレヨン・紙
332 × 484 | 1-52 ひかりをあびて
1958 水彩、クレヨン・紙
320 × 433 |
| 1-10 頌勇章
1930 インク・紙 221 × 152 | 1-31 おやゆびひめ（キンダーブック）
1965 水彩、クレヨン・紙
332 × 241 | 1-53 くさもきも
1959 水彩、クレヨン・紙
332 × 443 |
| 1-11 レンズ
不詳 水彩・紙 259 × 367 | 1-32 おやゆびひめ（キンダーブック）
1965 水彩、クレヨン・紙
333 × 437 | 1-54 むしさんはどんなおしごとを
しているのでしょうか
1960 水彩・紙 332 × 442 |
| 1-12 (どうぶつえん)
1929 水彩・紙 369 × 257 | 1-33 おやゆびひめ（キンダーブック）
1965 水彩、クレヨン・紙
331 × 454 | 1-55 だいだいむらさきみどり
1961 水彩、クレヨン・紙
334 × 453 |
| 1-13 (ねずみのもちつき)
不詳 水彩・紙 227 × 313 | 1-34 おやゆびひめ（よいこのくに）
1953 コラージュ・布、糸、ボタン
320 × 435 | 1-56 いろいろなほこびかた
1963 水彩・紙 311 × 428 |
| 1-14 カジャノコトフロヤノコ
不詳 水彩・紙 293 × 388 | 1-35 おやゆびひめ（よいこのくに）
1953 水彩・紙 264 × 370 | 1-57 さかなのうんどうかい
1964 水彩・紙 332 × 454 |
| 1-15 『コドモノクニ』
第1巻 第1号（創刊号）
1922 印刷 260 × 180 | 1-36 おやゆびひめ（幼稚園）
1955 水彩・紙 272 × 191 | 1-58 にげだしたこどもぐつ1
1965 水彩・紙 332 × 453 |
| 1-16 『コドモノクニ』
第3巻 第6号
印刷 260 × 180 | 1-37 おやゆびひめ（幼稚園）
1955 水彩・紙 274 × 192 | 1-59 おしくらまんじゅう
1968 水彩、クレヨン・紙
333 × 453 |
| 1-17 『コドモノクニ』
第3巻 第12号
印刷 260 × 180 | 1-38 おやゆびひめ（幼稚園）
1955 水彩・紙 273 × 192 | 1-60 いいものできる
1954 水彩、クレヨン・紙
302 × 423 |
| 1-18 『コドモノクニ』
第6巻 第3号
印刷 260 × 180 | 1-39 ハメルンのふえふき
1966 水彩・紙 332 × 454 | 1-61 たけのこぼうず
1954 紙 332 × 453 |
| 1-19 『コドモノクニ』
第6巻 第12号
1927 印刷 260 × 180 | 1-40 ハメルンのふえふき
1966 水彩・紙 335 × 455 | 1-62 せつぶん
1954 紙 335 × 459 |
| 1-20 『コドモノクニ』
第7巻 第2号
印刷 260 × 360 | 1-41 ハメルンのふえふき
1966 水彩・紙 336 × 453 | 1-63 それひけがんばれ
1955 紙 274 × 374 |
| 1-21 現代連続漫画全集第五巻
ハツメイハッチャン ガンガラガン太
印刷 187 × 204 | 1-42 ジャックとまめのき
1967 水彩、クレヨン・紙
314 × 453 | 1-64 かたちのうた1
1955 紙 272 × 385 |
| 1-22 小学生全集 第5巻
アンデルセン童話集
1928 印刷 220 × 145 | 1-43 ジャックとまめのき
1967 水彩、クレヨン・紙
314 × 454 | 1-65 はねさんのへりこぶたー
1956 水彩・紙 332 × 447 |
| | 1-44 ジャックとまめのき
1967 水彩・紙 303 × 453 | |

1-66	みなさんおめでとう 1957 水彩・紙 333 × 447	第2章	2-19	愛蔵こけし図譜 青根 菊地孝太郎・佐藤菊治 不詳 伝承木版・和紙 264 × 180
1-67	ほしのくにへいったら 1961 水彩・紙 333 × 455		2-20	愛蔵こけし図譜 弥治郎 佐藤伝喜・佐藤伝伍 不詳 伝承木版・和紙 263 × 180
1-68	アイスクリーム 1963 水彩・紙 333 × 362	2-2	2-21	愛蔵こけし図譜 蔵王高湯 岡崎長次郎 不詳 伝承木版・和紙 265 × 181
1-69	おじいさんのひ 1966 水彩、クレヨン・紙 333 × 455	2-3	2-22	愛蔵こけし図譜 及位 佐藤文六 不詳 伝承木版・和紙 266 × 183
1-70	パンビ 1969 水彩・紙 332 × 227	2-4	2-23	愛蔵こけし図譜 鯖湖 渡辺角次・渡辺きん 不詳 伝承木版・和紙 268 × 183
1-71	とけいのうた 1974 水彩、クレヨン・紙 333 × 452	2-5	2-24	愛蔵こけし図譜 遠刈田新地 佐藤直助 不詳 伝承木版・和紙 265 × 180
1-72	妖精伝記 1972 水彩・紙 334 × 302	2-6	2-25	こけし通信 不詳 インク・紙 344 × 254
1-73	妖精伝記 1972 水彩・紙 333 × 303	2-7	2-26	こけし通信 不詳 インク・紙 344 × 254
1-74	妖精伝記 1972 水彩・紙 330 × 303	2-8	2-27	地上の祭 1938 銅版 360 × 305 × 21
1-75	妖精伝記 1972 水彩・紙 331 × 303	2-9	2-28	西洋人形 1935 銅版・紙 119 × 81
1-76	ふしぎな村 1967 水彩、クレヨン・紙 453 × 635	2-10	2-29	裸婦 1935 銅版・紙 145 × 116
1-77	がんがらがん 1968 水彩、クレヨン・紙 454 × 634	2-11	2-30	少女の顔 1935 銅版・紙 160 × 125
1-78	ワシリイグラジニイ 1968 水彩、クレヨン・紙 323 × 414 諏訪信用金庫蔵	2-12	2-31	野外パーティ 1935 銅版・紙 145 × 200
1-79	乳の家 1969 水彩、クレヨン・紙 455 × 535	2-13	2-32	クリスマス イヴ 1967 木版・紙 177 × 112
1-80	遊ぶ妖精たち 1972 水彩、クレヨン・紙 380 × 457	2-14	2-33	秋 1971 木版・紙 134 × 130
1-81	神様とお化け 1973 水彩、クレヨン・紙 460 × 534	2-15	2-34	不死鳥 1970 木版・紙 140 × 169
1-82	森で見た馬車（森の小怪） 1974 水彩、クレヨン・紙 455 × 530	2-16	2-35	胡蝶 1975 木版・紙 123 × 184
1-83	Le coq N.1 号 1978 水彩、クレヨン・紙 322 × 411	2-17	2-36	静物 ステンシル 1948 木版・紙 367 × 310
1-84	天竺聖母子図 1979 水彩、クレヨン・紙 337 × 244	2-18	2-37	じゃんけん 1952 木版・紙 278 × 269
			2-38	鬼 1952 木版・紙 351 × 528
			2-39	池 1953 木版・紙 383 × 522

2-40	作品 A 1954 木版・紙 291 × 391	3-3	刊本作品 No.41 ストロ王 1959-1960 スローモザイク 145 × 110	3-25	近くの世界 扉（悪魔） 1954 水彩・紙 332 × 226
2-41	白と黒 1956 木版・紙 385 × 531	3-4	刊本作品 No.49 harem 1961 アップリケ 145 × 136	3-26	近くの世界 水 1950 水彩・紙 242 × 335
2-42	誕生 1962 木版・紙 455 × 632	3-5	刊本作品 No.71 湖のひと 1967 ミラクルタワー 88 × 120	3-27	近くの世界 空 1950 水彩・紙 242 × 335
2-43	鳥の構図 1963 木版・紙 456 × 637	3-6	刊本作品 No.79 几子の船出 1969 トランスアート 146 × 111	3-28	近くの世界 朝 1951 水彩・紙 242 × 335
2-44	饗宴 1964 木版・紙 453 × 636	3-7	刊本作品 No.80 迅四郎の窓 1969 APR ステングラス 172 × 145	3-29	近くの世界 昼 1951 水彩・紙 243 × 335
2-45	鳥の連作 No.5 金曜日の鳥 1968 木版・紙 330 × 550	3-8	刊本作品 No.100 雄鶏ルコック 1974 エンボス 155 × 130	3-30	近くの世界 夜 1953 水彩・紙 242 × 332
2-46	鳥の連作 No.6 玉乗 1969 木版・紙 492 × 333	3-9	刊本作品 No.111 提灯の詩 1977 ヴィペール造本 146 × 130	3-31	近くの世界 道 1958 水彩・紙 242 × 333
2-47	鳥の連作 No.9 1970 木版・紙 516 × 362	3-10	刊本作品 No.138 鳥遣いの乙女 1982-1984 レーザー光線カット 165 × 138	3-32	近くの世界 道（未掲載） 1958 水彩・紙 242 × 333
2-48	鳥の連作 No.10 1971 木版・紙 336 × 491	3-11	刊本作品 No.15 牡丹妖記 1948 拓摺 165 × 115	3-33	刊本作品 No.55 ラムラム王 1964-1965 印刷 119 × 87
2-49	鳥の連作 No.11 1973 木版・紙 485 × 322	3-12	牡丹妖記 版木 木 186 × 249 × 23	3-34	ラムラム王 中扉 1 1964-1965 インク・紙 226 × 168
2-50	鳥の連作 No.12 1974 木版・紙 498 × 333	3-13	牡丹妖記 版木 木 166 × 308 × 17	3-35	ラムラム王 中扉 2 1964-1965 インク・紙 228 × 167
2-51	鳥の連作 No.22 紅頭 1982 木版・紙 184 × 133	3-14	牡丹妖記 版木 木 171 × 229 × 24	3-36	ラムラム王 中扉 3 1964-1965 インク・紙 228 × 166
2-52	第 2 回樺の会 年賀状 1936 銅版、手彩色・紙 142 × 90	3-15	牡丹妖記 版木 木 186 × 244 × 25	3-37	ラムラム王 中扉 4 1964-1965 インク・紙 227 × 166
2-53	第 3 回樺の会 年賀状 1937 銅版、木版・紙 141 × 95	3-16	牡丹妖記 版木 木 186 × 249 × 23	3-38	ラムラム王 中扉 5 1964-1965 インク・紙 226 × 166
2-54	第 9 回樺の会 年賀状 1943 孔版・紙 138 × 91	3-17	牡丹妖記 版木 木 180 × 292 × 15	3-39	ラムラム王 中扉 6 1964-1965 インク・紙 227 × 167
2-55	第 10 回樺の会 年賀状 1944 孔版・紙 141 × 94	3-18	刊本作品 No.27 姫の尺牘 不詳 友禅染 146 × 113	3-40	ラムラム王 中扉 7 1964-1965 インク・紙 227 × 166
2-56	第 12 回樺の会 年賀状 1946 孔版、木版・紙 137 × 91	3-19	姫の尺牘 友禅染型 不詳 313 × 452 × 1	3-41	ラムラム王 中扉 8 1964-1965 インク・紙 226 × 166
2-57	第 17 回樺の会 年賀状 1951 木版・紙 93 × 141	3-20	刊本作品 No.31 木魂の伝記 1957-1958 寄せ木細工 147 × 106	3-42	刊本作品 No.63 祈祷の書 1966 S ベランの本 170 × 130
2-58	第 19 回樺の会 年賀状 1953 木版・紙 140 × 90	3-21	木魂の伝記 制作ノート 195 × 273 × 17	3-43	祈祷の書 函 1966 水彩・紙 314 × 435
2-59	樺の会 20 周年記念自画像 1954 木版・紙 142 × 91	3-22	刊本作品 No.35 近くの世界 1950-1959 原色版 145 × 109	3-44	祈祷の書 表紙・裏表紙 1966 水彩・紙 263 × 364
第 3 章		3-23	近くの世界 表紙 1958-1959 水彩・紙 211 × 184	3-45	祈祷の書 見返し 原画 1966 水彩・紙 244 × 363
3-1	刊本作品 No.1 十二支絵本 1935 一色凸版 140 × 120	3-24	近くの世界 カット 1958-1959 インク・紙 197 × 137	3-46	祈祷の書 見返し 原画 1966 水彩・紙 243 × 364
3-2	刊本作品 No.32 極秘亭探訪 1958 セロスライド 149 × 120				

3-47 祈祷の書 署名頁 原画
1966 水彩・紙 242 × 364

3-48 祈祷の書 限定 No. 原画
1966 水彩・紙 242 × 363

3-49 祈祷の書 扉 原画
1966 水彩・紙 243 × 364

3-50 祈祷の書
1966 水彩・紙 240 × 364

3-51 祈祷の書
1966 水彩・紙 244 × 365

3-52 祈祷の書
1966 水彩・紙 244 × 363

3-53 祈祷の書
1966 水彩・紙 243 × 363

3-54 祈祷の書
1966 水彩・紙 243 × 363

3-55 祈祷の書
1966 水彩・紙 243 × 364

3-56 祈祷の書 奥付 原画
1966 水彩・紙 242 × 363

3-57 刊本作品 No.65 人生切手
1966 彫刻凹版 155 × 123

3-58 人生切手 函 1
1966 インク・紙 119 × 180

3-59 人生切手 1 頁左
1966 水彩・紙 226 × 164

3-60 人生切手 1 頁右
1966 水彩・紙 226 × 166

3-61 人生切手 2 頁左
1966 水彩・紙 226 × 167

3-62 人生切手 2 頁右
1966 水彩・紙 226 × 167

3-63 人生切手 3 頁左
1966 水彩・紙 226 × 166

3-64 人生切手 3 頁右
1966 水彩・紙 227 × 166

3-65 人生切手 4 頁左
1966 水彩・紙 226 × 166

3-66 人生切手 4 頁右
1966 水彩・紙 226 × 167

3-67 人生切手 5 頁左
1966 水彩・紙 226 × 167

3-68 人生切手 5 頁右
1966 水彩・紙 228 × 167

3-69 人生切手 6 頁左
1966 水彩・紙 228 × 168

3-70 人生切手 6 頁右
1966 水彩・紙 228 × 167

3-71 人生切手 7 頁左
1966 水彩・紙 226 × 166

3-72 人生切手 7 頁右
1966 水彩・紙 227 × 166

3-73 人生切手 8 頁左
1966 水彩・紙 227 × 167

3-74 人生切手 8 頁右
1966 水彩・紙 228 × 166

3-75 刊本作品 No.74 笛を吹く城
1967 ゴブラン織り S ペラン
167 × 139

3-76 笛を吹く城 函
1967 インク・紙 209 × 181

3-77 笛を吹く城 表紙 1
1967 インク・紙 210 × 302

3-78 笛を吹く城 絵 1
1967 水彩・紙 302 × 228

3-79 笛を吹く城 絵 2
1967 水彩・紙 302 × 226

3-80 笛を吹く城 絵 3
1967 水彩・紙 302 × 394

3-81 笛を吹く城 絵 4
1967 水彩・紙 302 × 393

3-82 笛を吹く城 絵 5
1967 水彩・紙 302 × 393

3-83 刊本作品 No.108 ナイルの葦
1980 パピルス紙 145 × 113

3-84 ナイルの葦 本紙
152 × 235

3-85 刊本作品 No.119 エリアナ姫と蝶
アルミナ磁器 磁器、紙
145 × 142

3-86 エリアナ姫と蝶 表紙 1
1978 インク・紙
197 × 135 φ 73

3-87 エリアナ姫と蝶 絵 1
1978 インク・紙
199 × 138 φ 73

3-88 エリアナ姫と蝶 絵 2
1978 インク・紙
198 × 136 φ 73

3-89 エリアナ姫と蝶 絵 3
1978 インク・紙
198 × 136 φ 73

3-90 エリアナ姫と蝶 絵 4
1978 インク・紙
198 × 137 φ 73

3-91 エリアナ姫と蝶 絵 5
1978 インク・紙
197 × 138 φ 73

第4章

4-1 上方いろはかるた
1974 水彩・紙 227 × 335

4-2 上方いろはかるた
1974 水彩・紙 232 × 352

4-3 上方いろはかるた
1974 水彩・紙 232 × 355

4-4 上方いろはかるた
1974 水彩・紙 226 × 334

4-5 上方いろはかるた
1974 水彩・紙 227 × 335

4-6 上方いろはかるた
1974? 水彩・紙 226 × 337

4-7 上方いろはかるた
1974? 水彩・紙 227 × 332

4-8 どこへ行く
1966 水彩 191 × 210 × 52

4-9 鳥渡る
1966 水彩・陶器、紙
55 × 60 × 13

4-10 馬上読書
1967 水彩・陶器、紙
94 × 135 × 11

4-11 舌切雀
1970 水彩・陶器、紙
139 × 101 × 13

4-12 ロココ時代
1971 水彩・陶器、紙
117 × 77 × 23

4-13 空飛ぶ球体
1974 水彩・木、紙
194 × 113 × 16

4-14 湖のひと
1980 水彩・陶器、紙
125 × 132 × 20

4-15 漫画かるた 赤ノッポ青ノッポ
1948 印刷・紙

4-16 手作りのトランプ
1945-1948
水彩・紙(古葉書を再利用したもの)
91 × 60

第5章

5-1 孫悟空
1970 水彩・紙 302 × 455

5-2 ことりのしろちゃん
1969 水彩・紙 332 × 226

5-3 ことりのしろちゃん
1969 水彩・紙 332 × 453

5-4 ことりのしろちゃん
1969 水彩・紙 333 × 453

- | | | |
|--|---|--|
| 5-5 きねずみガリガリ 9,10
1968 水彩、クレヨン・紙
333 × 455 | 5-16 風曜日
1966 水彩、クレヨン・紙
453 × 636 | E-3 平和白書
1970 インク・紙 247 × 328 |
| 5-6 パンビ
1969 水彩、クレヨン・紙
286 × 545 | 5-17 蒼い海
1980 水彩、クレヨン・紙
320 × 415 | E-4 平和白書
1970 インク・紙 242 × 328 |
| 5-7 空飛ぶ花屋
1967 水彩、クレヨン・紙
450 × 640 個人蔵 | 5-18 うんどうかい
不詳 水彩・紙 171 × 367 | E-5 平和白書
1970 インク・紙 247 × 328 |
| 5-8 おこりっぱいやま 10
1977 水彩、クレヨン・紙
303 × 485 | 5-19 ひとりぼっちの人魚
1964 水彩、クレヨン・紙
455 × 636 | E-6 平和白書
1970 インク・紙 248 × 328 |
| 5-9 こりのくに
1955 水彩・紙 346 × 675 | 5-20 ダビデの竖琴
1966 水彩、クレヨン・紙
301 × 530 | E-7 平和白書
1970 インク・紙 248 × 330 |
| 5-10 愛の船出
1977 水彩、クレヨン・紙
378 × 454 | 5-21 空のむこう
1964 水彩、クレヨン・紙
455 × 636 | E-8 平和白書 カット
1970 インク・紙 258 × 332 |
| 5-11 こどもの詩
1975 水彩・紙 333 × 454 | 5-22 奇術師登場
1976 水彩、クレヨン・紙
304 × 228 | E-9 驚くべき人間
1970 水彩、クレヨン・紙
413 × 530 |
| 5-12 五人の楽師
1977 水彩、クレヨン・紙
245 × 338 | 5-23 ありのくに
1974 水彩、クレヨン・紙
335 × 453 | E-10 Nature Mort (静物)
1952 木版・紙 404 × 547 |
| 5-13 EKABO 号
1974 水彩、クレヨン・紙
380 × 457 | | E-11 夢を造る工場
1963 木版・紙 310 × 465 |
| 5-14 不思議海峡
1972 水彩、クレヨン・紙
382 × 457 | | E-12 星曜日
1965 水彩、クレヨン・紙
452 × 635 |
| 5-15 ぺんぎんのおむかえ
1957 水彩、クレヨン・紙
278 × 567 | | |

エピローグ

- | | |
|--|---------------------------------------|
| E-1 刊本作品 No.84 平和白書
サーモプリンテックス
布 180 × 128 | E-2 平和白書 表紙原画
1970 インク・紙 284 × 394 |
|--|---------------------------------------|



講演会



展示風景



朗読会

皇室を彩る美の世界—福島ゆかりの品々—

会 期：令和7年7月5日(土)～8月31日(日)
 前期：7月5日(土)～8月3日(日)
 後期：8月5日(火)～8月31日(日)
 主 催：郡山市立美術館、皇居三の丸尚蔵館
 特別協力：文化庁、紡ぐプロジェクト、読売新聞社
 観 覧 料：一般1,200(960)円
 高校・大学生、65歳以上900(720)円
 ※()内は20名以上の団体料金。中学生
 以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料。

趣 旨

皇居三の丸尚蔵館は、皇室に代々受け継がれた美術品を保存・調査研究・公開するため、平成5(1993)年に皇居東御苑内に開館した「宮内庁三の丸尚蔵館」を前身とする施設である。収蔵品は、絵画・書跡・工芸品など、各時代・各分野を代表する名品が多く含まれ、その数は約6,100件に及ぶ。

令和5(2023)年に名称を新たに施設の一部がリニューアルオープンし、令和8(2026)年の全館完成までの期間中に、多くの方々に優れた作品をご覧いただき、皇室や日本の文化に親しんでいただけるよう、これまで全国各地で収蔵品を紹介する展覧会が開催されてきた。

本展では、皇居三の丸尚蔵館が収蔵する皇室に伝来した美術工芸品のなかから、狩野永徳や俵屋宗達、尾形光琳ら近世絵画の優品をはじめ、明治初期に描かれた記録性の高い洋画の数々、近代日本画を代表する横山大観や東山魁夷、さらに郡山出身の渡邊晨畝らの秀作のほか、高村光雲や海野勝珉の至高の彫刻・工芸作品、精巧で可憐なボンボニエールなど、貴重な収蔵品を展示した。さらに、会津松平家から秩父宮雍仁親王に嫁ぎ、皇室と福島の人々の心の架け橋となった勢津子妃ゆかりの品々を紹介した。

関連行事

- 講演会「皇居三の丸尚蔵館収蔵品にみる皇室と福島」
 講師：田中純一郎(皇居三の丸尚蔵館研究員)
 日時：令和7年7月5日(土)午後2時から
 場所：多目的スタジオ
- 美術講座「山本芳翠と磐梯山の噴火」
 講師：佐藤公氏(磐梯山噴火記念館館長)、当館学芸員
 日時：令和7年7月19日(土)午後2時から
 場所：多目的スタジオ
- 美術講座「郡山の画家・渡邊晨畝の活動」
 講師：鈴木えみこ(当館学芸員)
 日時：令和7年8月10日(日)午後2時から
 場所：多目的スタジオ
- ギャラリートーク
 講師：鈴木えみこ、中山恵理(当館学芸員)
 日時：令和7年7月13日(日)、8月3日(日)午後2時から
 場所：企画展示室
- 文化講座「東儀秀樹コンサート—伝統を紡ぎ 新たな地平を拓く」
 出演：東儀秀樹(雅楽師)、東儀典親(雅楽師)
 日時：令和7年7月6日(日)午後7時から
 場所：中央階段ホール



ポスター



図録

発行物

『皇室を彩る美の世界―福島ゆかりの品々―』

29.7×21.0cm 44ページ 発行日：令和7年7月5日

編集・発行：郡山市立美術館

執筆：鈴木えみこ、中山恵理(当館学芸員)／田中純一郎、岡本隆志、三島大暉、上嶋悟史(皇居三の丸尚蔵館研究員)

デザイン：デンヤ・クリエイティブ・ワークス

印刷：株式会社 坂本印刷所

内容：ごあいさつ／皇居三の丸尚蔵館について／第1章 皇室の文雅と江戸の美意識／第2章 明治の記録画／第3章 皇室と近代の美術
／第4章 福島ゆかりの品々／小特集 「寿ぎのボンボニエール」「華麗なる雅楽の世界」／作品リスト

関連記事

「皇室ゆかりの品一堂に きょうから郡山市立美術館」『福島民友』令和7年7月5日付

「皇室ゆかりの品並ぶ 郡山市美術館 きょうから企画展」『福島民報』令和7年7月5日付

鈴木えみこ「皇室を彩る美の世界～福島ゆかりの品々～」『読売新聞』令和7年7月24日、8月9日、8月14日付

「皇室の美 本県ゆかりの名品 郡山市立美術館で企画展」『福島民友』令和7年8月5日付

「皇室を彩る美の世界 31日まで郡山市立美術館で後期」『福島民友』令和7年8月6日付

出品リスト

1
伝 狩野永徳
四季草花図屏風
安土桃山時代(16世紀)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
紙本金地着色 二曲一双 前期

2
俵屋宗達
扇面散屏風
江戸時代(17世紀)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
紙本金地着色 八曲一双 前期

3
岩佐又兵衛
をくり(小栗判官絵巻) 巻2
江戸時代(17世紀)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
紙本着色 全15巻のうち1巻 巻替

4
尾形光琳
西行物語絵巻 巻2
江戸時代(18世紀)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
紙本着色 全4巻のうち1巻 巻替

5
渡辺始興
四季図屏風
延享4年(1747)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
紙本金地着色 六曲一双 後期

6
司馬江漢
山村猛獣図
江戸時代(18～19世紀)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本着色 1面 後期

7
亜欧堂田善
水辺牽馬之図
江戸時代(18～19世紀)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本着色 1面 前期

8
谷文晁
富嶽図
江戸時代(19世紀)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
紙本墨画 1幅 後期

9
酒井抱一
花鳥十二ヶ月図
(五月、六月、七月、八月)
文政6年(1823)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本着色 全12幅のうち4幅 後期

10
葛飾北斎
西瓜図
天保10年(1839)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本着色 1幅 前期

11
正倉院宝物図 宝物図巻
明治時代(19世紀)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
紙本着色 3巻 巻替

12
『国華余芳 正倉院御物』(印刷局蔵版)
明治13年(1880)
郡山市立美術館
多色刷石版・紙／本 2面 通期

13
高橋由一
栗子山隧道
明治14年(1881)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
カンヴァス、油彩 1面 通期

14
樋口守保
公事附録之図
明治20年(1887)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本着色 1帖 場面替

15
山本芳翠
磐梯山破裂之図
明治21年(1888)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
カンヴァス、油彩 1面 通期

16
山本芳翠
磐梯山噴火真図
明治21年(1888)
郡山市立美術館
紙、木口木版 1面 通期

17
松岡緑堂
戊辰戦記画巻
明治21年(1888)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
紙本着色 2巻 巻替

18
五姓田義松
ナイアガラ景図
明治22年頃(1889)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
カンヴァス、油彩 1面 通期

19
亀井竹二郎
東海道五十三驛真景
明治24～25年(1891～92)
郡山市立美術館
油彩・紙 (うち8点) 通期

20
高橋由一
明治天皇・皇后尊影
明治25年(1892)
郡山市立美術館
絹本着色 対幅 通期

21
高橋源吉
大婚二十五年奉祝景況図
第9図、第25図
明治27年(1894)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
カンヴァスボード、油彩
全25面のうち2面 通期

22
久保田米僊
日清戦争之図
明治27年(1894)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本着色 1巻 後期

23
亀井至一ほか
水彩画帖
明治31年頃(1898)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
紙、水彩、素描 1帖 場面替

24
亀井至一
スケッチ帖
明治時代(19世紀)
郡山市立美術館
紙、水彩、素描 1面 通期

25
野村文孝、後藤貞行
鳥獣法帖
明治35年(1902)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本着色 2帖 場面替

26
薩摩焼 色絵金彩花鳥図花瓶
江戸時代後期～明治時代初期(19世紀)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
陶磁 1点 通期

27
幹山伝七
色絵草花図花瓶
明治時代(19世紀)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
陶磁 1対 通期

28
菊池容斎
神武天皇高倉下奉剣之図
明治6年(1873)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本着色 1幅 前期

29
菊池容斎
日本武尊御像
明治6年(1873)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本着色 1幅 後期

30
七宝会社
七宝藍地花鳥図花瓶
明治22年(1889)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
七宝 1対 通期

31
竹内忠兵衛
七宝蜀江文花瓶
明治10年代(19世紀)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
磁胎七宝 1点 通期

32
濤川惣助
七宝桃色暈花瓶
明治22年(1889)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
七宝 1点 通期

33
川辺御楯
新田越後守義顕血戦之図
明治25年(1892)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本着色 1幅 前期

34
川端玉章
山村行旅図
明治25年(1892)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本着色 1幅 後期

35
初代 宮川香山
青華氷梅文花瓶
明治27年(1894)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
陶磁 1点 通期

36
橋本雅邦
山水図
明治39年(1906)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本着色 1幅 後期

37
山崎朝雲
みなかみ
大正4年(1915)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
木彫 1点 後期

38
高村光雲
猿置物
大正12年(1923)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
木彫 1点 前期

39
新海竹蔵
冬薯蕷葛
昭和3年(1928)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
木彫彩色 1対 前期

40
横山大観
飛泉
昭和3年(1928)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本墨画 2幅 前期

41
板谷波山
葆光白磁枇杷彫文花瓶
昭和3年(1928)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
陶磁 1点 通期

42
高村光雲
木彫置物 養蚕天女
(鳳凰菊文蒔絵飾棚 棚飾品)
昭和3年(1928)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
木彫 1点 後期

43
横山大観ほか
旭光帖
昭和9年(1934)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本着色 2帖 場面替

44
東山魁夷
萬緑新
昭和36年(1961)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
紙本着色 1面 後期

45
刻印「純銀三越」
御座船形ボンボニエール
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
銀製 1点 前期

46
箱形燕葵文(秩父宮家家紋)ボンボニエール
昭和3年(1928)
若松城天守閣郷土博物館
銀製 1点 通期

47
刻印「純銀服部製」
杵形ボンボニエール
昭和3年(1928)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
銀製 1点 後期

48
刻印「三越製」
舞楽兜形ボンボニエール
昭和9年(1934)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
銀製 1点 後期

49
刻印「純銀 宮本造」
竹形ボンボニエール
昭和9年(1934)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
銀製 1点 後期

50
刻印「三越」
でんでん太鼓形ボンボニエール
昭和10年(1935)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
銀製 1点 前期

51
刻印「三越」
手箱形鳥居文ボンボニエール
昭和10年(1935)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
銀製 1点 後期

52
丸形梅枝文ボンボニエール
昭和18年(1943)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
竹、蒔絵 1点 前期

53
刻印「純銀」
丸形鴛鴦文ボンボニエール
昭和27年(1952)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
銀製 1点 前期

54
刻印「銀製」
丸形雉文ボンボニエール
昭和36年(1961)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
銀製 1点 前期

55
丸形瑞鳥文ボンボニエール
昭和43年(1968)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
銅、内側鍍銀 1点 後期

56
狩野永岳
散手貴徳図衝立
江戸時代(19世紀)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
紙本着色 1基 前期

57
並河靖之
七宝舞楽図花瓶
明治10年(1877)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
七宝 1点 通期

58
雅楽図
明治17年(1884)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本着色
3帖のうち1帖 場面替

59 重文
海野勝珉
蘭陵王置物
明治23年(1890)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
銅、銀、金、合金、彫金、象嵌
通期

60
森川杜園
還城楽
明治26年(1893)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
木彫彩色 1点 後期

61
高村光雲、山崎朝雲
萬歳楽置物
大正4年(1915)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
ブロンズ 1点 通期

62
初代 徳田八十吉ほか
萬歳楽置物
昭和3年(1928)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
陶磁 1点 通期

63
渡邊晨畝
松鷹
昭和6年(1931)
東京国立近代美術館
紙本着色 1幅 前期

64
渡邊晨畝
月下孔雀
昭和6年(1931)
東京国立近代美術館
紙本着色 1幅 通期

65
渡邊晨畝
木蓮孔雀
昭和6年(1931)
東京国立近代美術館
紙本着色 1幅 後期

66
渡邊晨畝
旭日靈鷹
昭和7年(1932)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本着色 1幅 後期

67
渡邊晨畝
孔雀将雛之圖
昭和10年(1935)
安積疏水土地改良区
紙本着色 1幅 通期

68
渡邊晨畝
慈愛
昭和11年(1936)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
絹本着色 1幅 前期

69
渡邊晨畝
孔雀
昭和13年(1938)
東京国立近代美術館
絹本着色 1幅 通期

70
藤田嗣治
勢津子妃殿下
昭和23年(1948)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
紙、水彩 1面 前期

71
秩父宮妃勢津子
会津本郷焼御染筆花瓶「山紫水明」
昭和38年(1963)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
陶磁 1点 通期

72
佐藤潤四郎
盃
昭和44年(1969)
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)
ガラス 1点 通期

73
梅蔭絵御手許筆笥
(秩父宮妃勢津子殿下遺品類)
若松城天守閣郷土博物館
木、漆 3基 通期

74
ジャケット
(秩父宮妃勢津子殿下遺品類)
若松城天守閣郷土博物館
絹 1点 通期

75
ワンピース
(秩父宮妃勢津子殿下遺品類)
若松城天守閣郷土博物館
絹 1点 通期

76
ドレス(秩父宮妃勢津子殿下遺品類)
若松城天守閣郷土博物館
絹 1点 通期

77
ドレス(秩父宮妃勢津子殿下遺品類)
若松城天守閣郷土博物館
絹 1点 通期

78
単衣(秩父宮妃勢津子殿下遺品類)
若松城天守閣郷土博物館
薄藍色地 金刺繍 1点 通期

79
秩父宮妃勢津子
茶碗(秩父宮妃勢津子殿下遺品類)
若松城天守閣郷土博物館
陶器 1点 通期

80
秩父宮妃勢津子
花入(秩父宮妃勢津子殿下遺品類)
若松城天守閣郷土博物館
陶器 1点 通期

81
秩父宮妃勢津子
和歌【年始の歌会／声】
(秩父宮妃勢津子殿下遺品類)
若松城天守閣郷土博物館
和紙 1点 通期

82
秩父宮妃勢津子
和歌【後鳥羽天皇御製】
(秩父宮妃勢津子殿下遺品類)
若松城天守閣郷土博物館
和紙 1点 通期

83
秩父宮妃勢津子
和歌【色紙／ご成婚】
(秩父宮妃勢津子殿下遺品類)
若松城天守閣郷土博物館
和紙 1点 通期

84
秩父宮妃勢津子
和歌【短冊／実紀】
(秩父宮妃勢津子殿下遺品類)
若松城天守閣郷土博物館
和紙 1点 通期



開会式



展示風景

アニメーション美術の創造者 新・山本二三展 ～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、もののけ姫、時をかける少女～

会 期：令和7年9月13日(土)～11月9日(日)
主 催：郡山市立美術館
協 力：絵映舎、日東電工
企 画：神戸新聞社
観 覧 料：一般1,000(800)円
高校・大学生、65歳以上700(560)円
※()内は20名以上の団体料金。中学生
以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料。

趣 旨

『天空の城ラピュタ』(1986)、『火垂るの墓』(1988)、
『もののけ姫』(1997)など、数々の名作アニメーション
映画で美術監督を務めた山本二三(1953-2023)。

1978年、24歳の若さで『未来少年コナン』の美術監督
に抜擢された山本は、確かな画面構成と精緻な描き込
みにより、その後も高畑勲・宮崎駿の両監督を支え続
けた。彼の才能は後に続く若い映画監督たちをも惹き
つけ、細田守監督の『時をかける少女』(2006)、新海
誠監督の『天気の子』(2019)における名シーンにも貢献
した。

本展では、初期から最新作までの手描き背景画に加
え、制作の過程で生み出される未公開の美術設定やイ
メージボード、制作用具など約220点を展示した。

関連行事

- 講演会「山本二三 絵にかけた人生と情熱」
講師：山本鷹生(絵映舎プロデューサー、山本二三美術館副館長)
日時：令和7年9月14日(日)午前10時30分から
場所：多目的スタジオ
- 講演会「記憶色の背景 山本二三の美術」
講師：久慈達也(本展監修者、DESIGN MUSEUM LAB代表、
京都芸術大学准教授)
日時：令和7年10月26日(日)午後2時から
場所：多目的スタジオ
- 美術講座「心を動かす風景—山本二三の表現」
講師：新田量子(当館学芸員)
日時：令和7年10月4日(土)午後2時から
場所：多目的スタジオ
- ギャラリートーク
講師：新田量子、富岡進一(当館学芸課長)
日時：令和7年10月12日(日)、10月18日(土)午後2時から
場所：企画展示室
- ワークショップ「自分だけの空の色を作ろう」
講師：こどもバウハウス
日時：令和7年10月19日(日)
午前の部：午前10時30分から／午後の部：午後1時30分から
場所：中央階段ホール
- 映画会「ソング・オブ・ザ・シー 海のうた」
(監督：トム・ムーア、2014年、93分、アイルランド・ルクセンブルク・ベルギー・フランス・デンマーク)
日時：令和7年10月5日(日)午後2時から
場所：多目的スタジオ
- 映画会「ディリリとパリの時間旅行」
(監督：ミッシェル・オスロ、2018年、95分、フランス・ドイツ・ベルギー)
日時：令和7年10月19日(日)午後2時から
場所：多目的スタジオ



ポスター



図録

発行物

『アニメーション美術の創造者 新・山本二三展』

27.0×22.6cm 232ページ 発行日：令和4年3月15日

企画構成：絵映舎、神戸新聞社、DESIGN MUSEUM LAB

編集：養父尚三、鹿子島安希、中村有里(神戸新聞社)、久慈達也(DSIGN MUSEUM LAB)

執筆：岡泰正(神戸市立小磯記念美術館 神戸ゆかりの美術館 館長)

『日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展』より再掲

久慈達也(DSIGN MUSEUM LAB)

協力：山本二三美術館

発行：神戸新聞社

デザイン：津村正二(TSUMURA GRAFIK)

印刷・製作：ニューカラー写真印刷株式会社

内容：ごあいさつ／第1章 冒険の舞台／第2章 そこにある暮らし／第3章 雲の記憶／第4章 森の命／第5章 忘れがたき故郷／コラム1「背景美術の仕事」、コラム2「山本二三の画材」、コラム3「室内を描く」、コラム4「光を捉える」、コラム5「山本二三と教育」／論考「記憶色の背景 山本二三の美術」(久慈達也)／「山本二三美術監督『火垂るの墓』をめぐって」(岡泰正)／山本二三略歴／フィルモグラフィー／出品リスト

関連記事

「スタジオジブリなどで活躍 故山本二三さんの作品展示」『福島民報』令和7年9月24日付

新田量子「日本アニメに輝き 山本二三展 背景画 物語の世界観表現」『福島民友』令和7年10月14日付

「アニメーション美術の創造者 新・山本二三展」『福島民友』令和7年10月24日付

出品リスト

第1章 冒険の舞台

1
月夜
Moonlight Night
1986 年
25.5 × 36.2
背景画 ブック付き

2
炭鉱
Coal Mine
1986 年
25.6 × 36.2
背景画

3
隠れ家
Hideout
1986 年
25.4 × 36.2
背景画

4
炭鉱町
Coal-mining Town
1986 年
26.9 × 38.2
背景画

5
坑道
Tunnel
1986 年
24.0 × 36.2
背景画

6
草原
Grassland
1986 年
25.6 × 36.2
背景画

7
荒れ地
Wasteland
1986 年
25.5 × 36.2
背景画

8
ラピュタのロボット
Robot of Laputa
1986 年
25.5 × 36.2
背景画 セル付き

9
暖炉
Fireplace
1986 年
25.4 × 36.2
背景画

10
ラピュタ内部
Inner Part of Laputa
1986 年
25.5 × 36.2
背景画

11
荒廃したラピュタ
Ruined Laputa
1986 年
27.0 × 38.5
背景画 ブック付き

12
内部への入り口
Entrance to Inside
1986 年
25.5 × 36.2
背景画

13
飛行石のある所
The Place Where Levitation Stone
Exists
1986 年
25.5 × 36.1
背景画 ブック付き

14
地鳴り
Rumble of the Ground
1978 年
21.5 × 54.7
背景画 セル付き

15
コアブロック
Core Block
1978 年
26.8 × 37.6
背景画

16
ギガントコントロールルーム
Gigant Control Room
1978 年
26.0 × 36.2
背景画 ブック付き

17
高円寺上空
Koenji from the Sky
1980 年
24.6 × 36.0
背景画

18
アルバトロス
Albatross
1980 年
25.5 × 36.0
背景画

19
アルバトロス、翔ぶ
Flying Albatross
1980 年
47.0 × 108.5
背景画 セル付き

20
ラウンジ
Lounge
1980 年
28.0 × 57.0
背景画 セル付き

21
飛行船での追跡
Tracking by Airship
1982 年
27.5 × 51.0
背景画 セル付き

22
アジト
Hiding Place
1982 年
25.5 × 35.3
背景画

23
金貨製造工場
Gold Coin Factory
1982 年
25.0 × 36.3
背景画

24
夜のベーカー街
Baker Street at Night
1982 年
42.0 × 55.0
背景画 ブック付き

25
ギルモアの屋敷
Gilmore's House
1982 年
43.3 × 30.3
背景画

26
アイフォードの街並
Townscape of Eyford
1982 年
25.7 × 70.4
背景画

27
パレス
Palace
1989 年
39.2 × 50.6
イメージボード

28
ニモの部屋
Nemo's Room
1989 年
24.6 × 47.7
背景画

29
飛行機館
Airplane Pavilion
1989 年
39.7 × 55.8
美術設定

30
飛行機館の眺め
View of The Airplane Pavilion
1989 年
47.8 × 61.0
美術設定

31
ガジュマルとアンコールトム
Malayan Banyan and Angkor Thom
2004 年
25.4 × 35.9
背景画

32
廃墟
Ruins
2004 年
25.4 × 35.9
背景画

33
16 世紀のフランス
France in 16th Century
2004 年
26.0 × 36.0
背景画

34
霧と教会
Church in Fog
2004 年
26.0 × 36.0
背景画

35
村
Village
2004 年
25.7 × 36.2
背景画 ブック付き

36
寺院
Temple
2004 年
25.5 × 36.2
イメージボード

37
街からのアプローチ
Approach from Town
2012 年
25.8 × 36.7
背景画

38
タルシス
Tharsis
2012 年
35.3 × 25.5
背景画

39
タルシスの広場
Plaza of Tharsis
2012 年
25.8 × 36.6
背景画

40
セフリムの宿
Hotel of Sehrim
2012 年
25.8 × 37.0
背景画

41
ベルンド工房
Bernd Atelier
2012 年
25.4 × 36.6
背景画

42
冒険者ギルド
Explorers Guild
2012 年
25.7 × 36.8
背景画

43
世界樹
Yggdrasil
2012 年
36.8 × 25.6
宣材用背景画

44
碧照ノ樹海
Old Forest Mine
2012 年
38.8 × 27.3
背景画

45
丹紅ノ石林
Scarlet Pillars
2012 年
38.5 × 27.0
背景画

46
銀嵐ノ霊峰
Sacred Mountains
2012 年
37.5 × 25.9
背景画

47
深霧ノ幽谷
Misty Ravine
2012 年
38.0 × 26.6
背景画

48
木偶ノ文庫
Echoing Library
2012 年
36.7 × 25.4
背景画

49
街の広場
Plaza of Aslarga
2015 年
26.2 × 36.3
背景画

50
不思議ノ迷宮
Mysterious Labyrinth
2015 年
36.4 × 25.4
背景画

51
迅雷風烈峡谷
Thunderous Cave
2015 年
36.7 × 25.4
背景画

52
翠玉ノ華段
Emerald Copse
2015 年
36.7 × 25.8
背景画

53
覇者ノ棲家
Champion's Hall
2015 年
36.5 × 25.5
背景画

第2章 そこにある暮らし

54
縁日
Fair
1981 年
24.5 × 35.0
背景画

55
チエの店 (1)
Chie's Shop (1)
1981 年
24.4 × 34.7
背景画

56
陽だまり
Sunny Spot
1981 年
26.2 × 36.4
背景画 セル付き

57
決闘場
Duelling Place
1981 年
26.6 × 36.4
背景画

58
堅気屋
Katagiya Shop
1981 年
24.5 × 36.5
背景画 ブック付き

59
公園 (1)
Park (1)
1981 年
24.6 × 34.7
背景画

60
チエの店 (2)
Chie's Shop (2)
1981 年
24.3 × 34.4
背景画

61
チエの店 (3)
Chie's Shop (3)
1981 年
24.5 × 34.4
背景画

62
路地裏
Back Alley
1981 年
24.6 × 34.7
背景画 ブック付き

63
大阪の夜
Night in Osaka
1981 年
43.0 × 35.5
背景画 ブック付き

64
捨てられた思い出
Abandoned Memories
1988 年
16.4 × 25.3
イメージボード

65
逃げ惑う影
Running Shadow to
Escape Burning
1988 年
16.8 × 25.2
イメージボード

66
哀しい点描
Sorrowful Sketch
1988 年
16.6 × 23.7
イメージボード

67
野荒し
Theft of Crops
1988 年
16.6 × 24.1
イメージボード

68
何故…
Why…
1988 年
18.2 × 24.3
イメージボード

69
忘れ物
Toy Left Behind
1988 年
16.6 × 24.1
イメージボード

70
節子と人形
Setsuko and Doll
1988 年
16.6 × 25.0
イメージボード

71
駅
Sannomiya Station
1988 年
25.7 × 36.2
背景画 ブック付き

72
市電
Streetcar
1988 年
18.0 × 25.3
カラーボード

73
裏通り
Side Road
1988 年
25.6 × 36.0
背景画 ブック付き

74
雨上がり
After the Rain
1988 年
25.5 × 36.2
背景画

75
縁側
Veranda
1988 年
25.8 × 36.3
背景画

76
火炎
Fire by Air Raid
1988 年
18.1 × 25.4
カラーボード

77
駅のホーム
Platform
1988 年
18.5 × 25.4
カラーボード

78
空襲
Air Raid
1988 年
25.5 × 36.2
背景画

79
焼夷弾
Incendiary Bomb
1988 年
25.8 × 36.2
背景画

80
悲しみ
Sorrow
1988 年
25.6 × 36.2
背景画 セル付き

81
残された木
Survived Tree
1988 年
25.7 × 36.2
背景画

82
焼跡の校庭
Schoolyard Devastated by Air Raid
1988 年
26.0 × 36.5
背景画 セル付き

83
破壊
Destruction
1988 年
18.0 × 25.4
カラーボード

84
瓦礫
Rubble
1988 年
25.4 × 36.0
背景画 ブック付き

85
疎開先
Town for Evacuation
1988 年
25.8 × 36.5
イメージボード

86
宵待草
Evening Primroses
1988 年
25.6 × 36.2
背景画

87
水田
Rice Field
1988 年
25.7 × 36.1
背景画 ブック付き

88
トマト畑
Tomato Field
1988 年
25.8 × 36.3
背景画 ブック付き

89
水辺
Waterside
1988 年
25.7 × 36.2
背景画

90
ほとりに浮かぶ
Floating at Waterside
1988 年
25.6 × 36.2
背景画 ブック付き

91
二人の家
Home for Brother and Sister
1988 年
25.7 × 36.1
背景画 ブック付き

92
火垂るの家
Home of Fireflies
1988 年
25.9 × 36.2
背景画 ブック付き

93
哲学堂グラウンド
Ground of Philosophy Hall
2006 年
25.8 × 36.1
背景画

94
洗い場
Waterworks
2006 年
26.4 × 36.9
背景画

95
グラウンド
Ground
2006 年
25.8 × 36.6
背景画

96
真琴と美雪の部屋
Room of Makoto and Miyuki
2006 年
26.0 × 36.0
背景画

97
家庭科実習室
Practice Room for Domestic Science
2006 年
25.9 × 36.1
背景画

98
理科実験室 (2)
Experimental Room for Science (2)
2006 年
25.6 × 36.1
背景画

99
理科実験室 (3)
Experimental Room for Science (3)
2006 年
26.0 × 36.0
背景画

100
理科実験室 (1)
Experimental Room for Science (1)
2006 年
25.6 × 50.3
背景画

101
国立博物館
National Museum
2006 年
25.9 × 36.5
背景画

102
真琴の家
Makoto's House
2006 年
26.0 × 36.1
イメージボード

103
ゴーヤ棚
Trellis of Bitter Cucumber
2006 年
26.1 × 36.3
背景画

104
路地と花
Flowers at the Alley
2006 年
25.5 × 36.0
背景画

105
真琴の家の廊下
Corridor of Makoto's House
2006 年
26.2 × 36.2
背景画

106
真琴の部屋
Makoto's Room
2006 年
26.1 × 36.1
背景画

107
分かれ道
Crossroad
2006 年
25.2 × 36.1
背景画

108
ドラッグストア前
Front of the Drug Store
2006 年
25.6 × 35.7
背景画

109
夜の真琴の家
Makoto's House at Night
2006 年
25.8 × 36.1
背景画 ブック付き

110
坂道
Slope
2006 年
25.5 × 36.5
背景画

111
踏切
Railroad Crossing
2006 年
44.9 × 29.8
ポスター原画

112
夕暮れ (1)
Evening (1)
2006 年
25.7 × 36.9
背景画

113
夕暮れ (2)
Evening (2)
2006 年
25.6 × 36.1
背景画

第3章 雲の記憶

114
ひろしまの空 1
Sky of Hiroshima 1
1999 年
77.0 × 46.2
背景画

115
ひろしまの空 2
Sky of Hiroshima 2
1999 年
39.9 × 43.3
背景画

116
はとよ ひろしまの空を
レイアウト 1
Dove, For the Sky of Hiroshima:
Layout 1
1999 年
34.6 × 39.6
レイアウト

117
はとよ ひろしまの空を
レイアウト 2
Dove, For the Sky of Hiroshima:
Layout 2
1999 年
54.4 × 53.0
レイアウト

118
くじらぐもと散歩
Whale Cloud and Walk
1992 年
23.5 × 36.0
背景画 セル付き

119
あおい空
Blue Sky
1992 年
23.9 × 83.5
背景画

120
積乱雲
Cumulonimbus
2006 年
36.1 × 48.3

121
マナ島の砂浜
Beach of the Mana Island
1993 年
26.9 × 36.4
背景画 ブック付き

122
夏の家
Summer House
1990 年
25.5 × 36.0
背景画

123
夏の夕暮れ
Summer Sunset
1990 年
32.6 × 47.2

124
朝焼け
Sunrise
1979 年
41.8 × 52.9
背景画

125
練習用見本
Practice Sample
25.7 × 36.4

126
雪雲
Snow Cloud
2012 年
25.7 × 36.4
背景画

127
気象神社絵画・天井画
Weather Shrine :
The Ceiling Painting
2019 年
33.0 × 45.4
背景内絵画

128
雨乞い
Begging for Rain
2019 年
27.4 × 38.5
背景内絵画

129
大日本国地震之図
Namazue Map
2019 年
42.3 × 30.3
背景内絵画

130
巫女と龍
Priestess and Dragon
2019 年
27.2 × 39.0
背景内絵画

131
気象神社絵画・天井画
レイアウトパターン 1
Weather Shrine : The Ceiling
Painting Layout Pattern 1
2019 年
29.7 × 42.0
レイアウト

132
気象神社絵画・天井画
レイアウトパターン 2
Weather Shrine : The Ceiling
Painting Layout Pattern 2
2019 年
29.7 × 42.0
レイアウト

133
気象神社絵画・天井画
レイアウトパターン 3
Weather Shrine : The Ceiling
Painting Layout Pattern 3
2019 年
29.7 × 42.0
レイアウト

134
グランブルーファンタジーの
イメージアート
Work Inspired by Granblue Fantasy
2021 年
27.5 × 38.6
イメージビジュアル

135
グランブルーファンタジーの
イメージアート レイアウト
Work Inspired by Granblue Fantasy
Layout
2021 年
25.7 × 36.3
レイアウト

第4章 森の命

136
中世の村
Village of Middle Ages
1997 年
27.0 × 38.1
イメージボード

137
シシ神の森 (3)
Forest of the Deer God (3)
1997 年
27.0 × 38.2
カラーボード ブック付き

138
タタラ場の食堂
Dining Hall at the *Tataraba*
1997 年
27.0 × 38.2
イメージボード

139
シン神の森 (5)
Forest of the Deer God (5)
1997 年
32.4 × 47.3
イメージボード

140
照葉樹林
Evergreen Forest
1997 年
19.0 × 27.0
イメージボード

141
コダマの道 (1)
Road of Tree Spirits (1)
1997 年
27.1 × 38.1
背景画 ブック付き

142
お社
Shrine
1997 年
61.5 × 52.4
背景画 ブック付き

143
甕
Jar
1997 年
29.2 × 47.2
背景画

144
コダマの道 (2)
Road of Tree Spirits (2)
1997 年
46.6 × 38.0
背景画

145
シン神の森 (4)
Forest of the Deer God (4)
1997 年
28.4 × 49.6
背景画

146
シン神の島 (3)
Pool of the Deer God (3)
1997 年
27.0 × 38.2
背景画

147
お社の中
Inside of the Shrine
1997 年
27.0 × 38.1
背景画

148
タタラ場の館
Hall of the *Tataraba*
1997 年
27.0 × 38.2
背景画

149
シン神の森 (2)
Forest of the Deer God (2)
1997 年
27.0 × 38.1
背景画 ブック付き

150
木漏れ日
Filtered Sunlight
1997 年
27.0 × 38.1
背景画

151
水底と苔
Bottom of the Pond and Moss
1997 年
40.1 × 38.6
背景画

152
シン神の森 (6)
Forest of the Deer God (6)
1997 年
23.2 × 157.0
背景画 ブック付き

153
シン神の森 (1)
Forest of the Deer God (1)
1997 年
27.0 × 38.2
背景画

154
シン神の島 (2)
Pool of the Deer God (2)
1997 年
27.0 × 38.2
背景画

155
シン神の島 (1)
Pool of the Deer God (1)
1997 年
27.0 × 38.2
背景画

156
朝の荒地 (1)
Wasteland in the Morning (1)
1997 年
27.0 × 38.3
背景画 ブック付き

157
閃光
Firing
1997 年
27.0 × 38.3
背景画

158
夜の森
Forest at Night
1997 年
27.0 × 38.3
背景画

159
森の死
Death of the Forest
1997 年
27.0 × 38.3
背景画

160
ディダラボッチの森
Forest of the Night Walker
1997 年
27.1 × 38.4
背景画

161
あふれる死
Flood of Death
1997 年
27.1 × 38.4
背景画 ブック付き

162
早朝の山
Mountains in the Early Morning
1997 年
26.9 × 42.4
背景画 セル付き

163
ディダラボッチの山
Mountains of the Night Walker
1997 年
27.0 × 38.2
背景画 ブック付き

164
シン神の森への道
Road to Forest of the Deer God
1997 年
42.8 × 60.2
背景画 (未使用)

165
朝の荒地 (2)
Wasteland in the Morning (2)
1997 年
37.0 × 66.5
背景画

166
夕方の森
Forest in the evening
1997 年
28.8 × 68.2
背景画 ブック付き

167
ブナのエ
Beech Forest
2007 年
26.0 × 36.2
イメージボード

168
怒れる精霊（2）
Spirit in Anger（2）
2007 年
27.0 × 38.3
イメージボード

169
輝く氷
Glittering Ice
2007 年
41.9 × 30.5
イメージボード

170
大樹
Giant Tree
2007 年
36.3 × 26.0
宣材用背景画

171
探索
Exploring
2009 年
18.0 × 25.5
イメージボード

172
朝の街
Morning City
2009 年
25.9 × 35.8
背景画

173
季節は巡り
Seasons Come Around
2009 年
19.5 × 149.0
背景画

174
野川
Nogawa River
2009 年
46.5 × 29.5
背景画

175
獣みち
Animal Trail
2009 年
25.4 × 35.9
背景画

176
一本橋
Log Bridge
2010 年
22.2 × 32.0
背景画

177
暗い森
Dark Forest
2010 年
21.8 × 30.2
背景画

178
無題
Untitled
2011 年
42.1 × 39.6
イメージボード

179
菩提樹の春夏秋冬
Four Seasons
2011 年
春夏 27.0 × 93.3
秋冬 25.8 × 95.2
壁紙用絵画

180
茫然とするレイラ
Leila is Stunned
2015 年
25.7 × 36.4
挿絵

181
被災した陸前高田市の
高田松原と希望の木
Tree of Hope and Takata-Matsubara
was Damaged by the Earthquake in
Rikuzentakata City
2012 年
25.7 × 36.4
挿絵

182
巨大津波の怪物
Giant Tsunami Monsters
2015 年
29.7 × 42.1
挿絵

183
いのちのバトン・リレー
Baton Relay of Life
2015 年
25.7 × 36.4
挿絵

184
希望の木
Tree of Hope
2011 年
36.4 × 25.7
ポスター原画

185
DVD 付き絵本 希望の木
Picture Book : Tree of Hope
2015 年
書籍

第5章 忘れがたき故郷

186
母達の肖像
Portrait of Mothers
2011 年
52.0 × 64.5

187
父の肖像
Portrait of Father
2011 年
20.0 × 16.5

188
両親の家（福江島）
Parents' House, Fukue Island
2020 年
27.0 × 38.5

189
旧五輪教会のスケッチ会（久賀島）
Sketching Session at the Former
Gorin Church, Hisaka Island
2017 年
25.3 × 36.9

190
鬼岳（福江島）
Mt.Onidake, Fukue Island
2017 年
25.3 × 36.3

191
鬼岳から臨む野々切（福江島）
Nonokire seen from Mt.Onidake,
Fukue Island
2018 年
27.0 × 42.0

192
半泊への道 観音平（福江島）
Road to Handomari, Kannonbira,
Fukue Island
2015 年
25.2 × 36.1

193
嵯峨ノ島
Saganoshima Island
2011 年
25.6 × 35.6

194
岐宿の二反（福江島）
Nitan in Kishiku, Fukue Island
2020 年
30.0 × 42.3

195
箕岳から臨む崎山町と鬼岳（福江島）
Sakiyama-cho and Mt.Onidake seen
from Mt.Midake, Fukue Island
2018 年
27.0 × 38.5

196
慈恵院の母子像（福江島）
Madonna and Child of Okuura Jikeiin
2010 年
36.3 × 25.5

197
翁頭山からの眺め（福江島）
Seen from Mt.Outou, Fukue Island
2017 年
24.7 × 41.8

198
堂崎教会（福江島）
Dozaki Church, Fukue Island
2016 年
25.2 × 36.1

199
神爪（福江島）
Kamme, Fukue Island
2019 年
27.2 × 38.8

200
荒川温泉の裏通り（福江島）
Backstreet of Arakawa Spa,
Fukue Island
2018 年
26.7 × 38.3

201
若松島の土井ノ浦
Doinoura Port, Wakamatsu Island
2015 年
25.7 × 34.6

202
江上天主堂（奈留島）
Egami Church, Naru Island
2015 年
25.7 × 36.6

203
中通島の赤尾郷
Akaogo, Nakadourishima Island
2019 年
25.7 × 34.6

204
野首教会（野崎島）
Nokubi Church, Nozaki Island
2020 年
27.3 × 38.6

205
椛島の伊福貴港
Ifuki Port, Kaba Island
2019 年
38.8 × 27.2

206
奈良尾神社のアコウの樹（中通島）
Banyan of Narao Shrine, Nakadori
Island
2017 年
38.4 × 27.0

207
マリア像と長崎の夜
Madonna and Night View
of Nagasaki
2014 年
36.4 × 25.7

小特集① 室内を描く

208
チエの勉強机
Chie's Study Desk
1981 年
24.3 × 34.5
背景画

209
清太の家
Seita's Home
1988 年
25.7 × 36.4
イメージボード

210
洋助の家
Yosuke's Home
1993 年
25.8 × 36.1
背景画

211
清太・節子の家
Seita and Setsuko's Home
1987 年
25.5 × 36.5
美術設定

212
高校時代の設計課題
Design Sketch in High School
1969 年
36.0 × 51.2
建築パース

小特集② 光を捉える

213
岩船様
Holy Rock Ship
1997 年
26.0 × 36.0
イメージボード ブック付き

214
夜の囲炉裏端
Fireplace at Night
1997 年
25.8 × 36.3
背景画 ブック付き

215
夕暮れの家
Home in the Evening
1997 年
25.6 × 36.1
イメージボード

216
燃える狸の小屋
Burning Hut of Raccoon Dog
1997 年
25.8 × 36.0
背景画 ブック付き

217
俯瞰のおじいさんの家
Overlooking Old Man's Home
1997 年
25.4 × 35.7
背景画

218
燃えおちた小屋
Hut Burned Down
1997 年
25.6 × 36.4
背景画

小特集③ 山本二三と教育

219
三内丸山遺跡（青森県・縄文時代）
Reconstruction Image :
Sannai-Maruyama Site, Aomori
1996 年
21.8 × 36.5
教科書用挿絵

220
三内丸山遺跡 家屋
（青森県・縄文時代）
Reconstruction Image :
Building of Sannai-Maruyama
Site, Aomori
1996 年
24.3 × 36.0
教科書用挿絵

221
米づくりが始められたころ
（長野県更埴市・弥生時代）
Reconstruction Image :
The Period when Rice Farming
was Started, Nagano
1996 年
18.0 × 24.3
教科書用挿絵

222
米づくりが広がったころ
（長野県更埴市・弥生時代）
Reconstruction Image :
The Period when Rice Farming
Spread, Nagano
1996 年
19.3 × 25.1
教科書用挿絵

223
古墳を築く
（長野県更埴市・弥生時代）
Reconstruction Image :
Construct a Tomb
1996 年
24.0 × 35.3
教科書用挿絵

224
東京書籍小学校社会科教科書
History Textbook,
Tokyo Shoseki CO.,LTD.
1996 年
書籍

225
ゴーヤ棚（地塗り）再制作
Reproduction :
Trellis of Bitter Cucumber
2013 年
カラーチャート : 25.5 × 9.5
再制作 : 25.5 × 35.0
背景画（再制作）

226
絵筆、絵の具、定規、水張りテープ、
資料、絵皿、用紙、ペン
画材・資料

巨匠ハインツ・ヴェルナーの描いた物語 ^{メルヘン} 現代マイセンの磁器芸術

会 期：令和7年11月22日(土)～令和8年1月18日(日)
主 催：郡山市立美術館
特別協力：アンティーク アーカイブ
協 力：マイセン磁器日本総代理店
ジーケージャパンエージェンシー株式会社
企画協力：株式会社キュレイトーズ
観 覧 料：一般1,200(960)円
高校・大学生、65歳以上900(720)円
※()内は20名以上の団体料金。中学生
以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料。

趣 旨

18世紀はじめ、東洋磁器の熱烈な蒐集家であったアウグスト強王の指導の下、ヨーロッパで初めて硬質磁器が焼成され、現在のドイツ・ザクセン州にマイセン窯が誕生した。ヨーロッパで憧れの的であった中国や日本の磁器を模倣した意匠は、次第に西洋風のアレンジがなされ、今日私たちの知る華やかなマイセン磁器が生み出された。製作所には養成学校が附属し、高い技術を身に着けた職人が長く伝統を守り継いだ。

戦後の東ドイツにとってもマイセン磁器は重要な産業であり続けましたが、1960年頃からのマイセン磁器を支えたひとりに、ハインツ・ヴェルナー(1928-2019)がいた。マイセン近郊のコズヴィツヒに生まれ、養成学校を経て1948年に20歳でマイセン磁器製作所に入り、生涯にわたってマイセンの仕事を続けた。彼の描きだす装飾は、マイセンの伝統を継承しつつ、アトリエの周りの美しい自然、メルヘンな物語世界を着想源にして常に新しく展開した。本展ではマイセンの新しい時代を築いた絵付師の巨匠ヴェルナーの世界に着目し、愛にあふれる現代マイセンの麗しき磁器芸術をご紹介します。

関連行事

○講演会

「響き合う二つの陶磁器の調べ 柿右衛門～マイセン
巨匠ハインツ・ヴェルナーのメルヘンの世界へようこそ」
講師：荒川正明氏(学習院大学教授、本展監修者)
日時：令和7年11月23日(日・祝)午後2時から
場所：多目的スタジオ

○アート・カフェ

「マイセン磁器とコーヒー」
講師：勝川達哉氏(アンティークアーカイヴオーナー)
日時：令和7年12月13日(土)、14日(日)各日午後4時から
場所：美術館カフェ「juju130 CAFE」

○美術講座

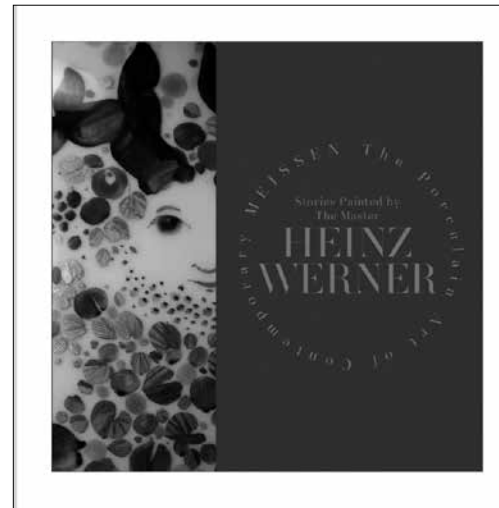
「マイセン窯とヨーロッパの名窯」
講師：田中有沙子(当館学芸員)
日時：令和7年12月7日(日)午後2時から
場所：多目的スタジオ

○美術講座

「ハインツ・ヴェルナーの装飾」
講師：鈴木えみこ(当館学芸員)
日時：令和8年1月18日(日)午後2時から
場所：多目的スタジオ



ポスター



図録

- ギャラリートーク
講師：田中有沙子(当館学芸員)
日時：令和7年12月20日(土)午後2時から
場所：企画展示室
- ギャラリートーク
講師：鈴木えみこ(当館学芸員)
日時：令和8年1月11日(日)午後2時から
場所：企画展示室
- 公開ワークショップ
「自分だけのクリスマスプレートをデザインしよう」
講師：田中有沙子、鈴木えみこ(当館学芸員)
日時：令和7年12月21日(日)午前10時30分から／午後1時30分から
場所：中央階段ホール
- 映画会
「ミカエル」(監督・脚本：カール・テオドア・ドライヤー、1924年、ドイツ)
日時：令和8年1月12日(月・祝)午後2時から
場所：多目的スタジオ

発行物

『巨匠ハインツ・ヴェルナーの描いた物語 現代マイセンの磁器芸術』
21.0×21.0cm 148ページ 発行日：令和7年8月30日
編集：佐久間真子(愛知県陶磁美術館)／田中有沙子(当館学芸員)／宮川菜々子(愛知県陶磁美術館)／森下愛子(泉屋博物館東京)／吉田和佳奈、篠崎鈴(株式会社キュレイターズ)
執筆：荒川正明(学習院大学教授、本展監修者)／勝川達哉(アンティーク アーカイヴ)／森谷美保(東京工芸大学教授)／山内晴子(マイセン磁器日本総代理店 ジーケージャパンエージェンシー株式会社)／佐久間真子／田中有沙子／宮川菜々子／森下愛子
デザイン：大溝裕(株式会社Glanz)
発行：株式会社キュレイターズ
内容：ご挨拶／勝川達哉「ハインツ・ヴェルナー教授の絵付け実演」／荒川正明「ハインツ・ヴェルナーと日本美の邂逅 生きる喜びをうつわに」／プロローグ 名窯の誕生／森下愛子「マイセンと柿右衛門」／第1章 磁器芸術の芽吹き／山内晴子「東ドイツ時代のマイセン」／佐久間真子「マイセンの美しき「フォルム」」／第2章 名シリーズの時代／宮川菜々子「《ミュンヒハウゼン》ー『ほら吹き男爵の冒険』より」／森下愛子「モーリッツブルク城のアトリエ」／宮川菜々子「《サマーナイト》ー『真夏の夜の夢』より」／宮川菜々子「《アラビアンナイト》ー『千一夜物語』より」／第3章 光と色彩の時代／森谷美保「ハインツ・ヴェルナーと日本ー1970-80年代、有田・マイセンの交流を中心に」／エピローグ 受け継がれる意志／宮川菜々子「《ドラゴンメロディ》ーヴェルナーの創作メルヘン」／佐久間真子「マイセンの裏を覗いてみる」／作品リスト・作品解説／関連年表／フォトクレジット

関連記事

「あぶくま抄」『福島民報』令和7年12月21日付
「マイセン磁器の世界紹介」『福島民報』令和8年1月11日付
「【郡山市立美術館】巨匠ハインツ・ヴェルナーの描いた物語 現代マイセンの磁器芸術」アイティーエル株式会社「ミュージアムレポート」令和8年1月10日付

出品リスト

プロローグ 名窯の誕生

1 色絵龍虎図輪花皿 肥前有田 1670-90年代 愛知県陶磁美術館	4 色絵松竹梅図碗 肥前有田 1670-1700年代 個人蔵	7 色絵柴垣葡萄栗鼠図葉形皿 マイセン 18世紀中頃 個人蔵
2 色絵美人人形置物 肥前有田 1670-90年代 愛知県陶磁美術館	5 色絵梅竹虎図皿 マイセン 1740年代 愛知県陶磁美術館	8 色花鳥文貝殻形皿 マイセン 1740-50年代 個人蔵
3 色絵柴垣松竹梅鳥図皿 肥前有田 1670-1700年代 個人蔵	6 色絵柴垣花鳥図菊花形鉢 マイセン 1740-50年代 個人蔵	9 色絵梅鶉図皿 マイセン 18世紀中頃 個人蔵

10
色絵梅竹虎図皿
マイセン
18 世紀中頃
個人蔵

11
色絵柴垣葡萄栗鼠図皿
マイセン
18 世紀中頃
個人蔵

12
色絵梅鶉図カップ&ソーサー
マイセン
20 世紀後半
個人蔵

13
色絵梅竹鳥図透かし鉢
マイセン
1986 年頃
個人蔵

14
色絵柴垣松梅鳥図ティーセット
マイセン
1980 年代
愛知県陶磁美術館

第 1 章 磁器芸術の芽吹き

15
マイセン養成学校ポスター
—
2000 年
個人蔵

16
《エンゼルフィッシュ》花瓶
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ハンス・メルツ
1958 年
個人蔵

17
《森と動物たちの絵》プレート
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：エーリッヒ・エーメ
1958 年頃
個人蔵

18
「磁器工場の一角」
ミックステクニック
ハインツ・ヴェルナー
1963 年
個人蔵

19
《満開の樹》コーヒーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：エアハルト・グローサー
1962 年
個人蔵

20
《青緑で描かれた鳥の絵》
コーヒーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：エアハルト・グローサー
1962 年
個人蔵

21
《スウィトピーの文様》
コーヒーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：エアハルト・グローサー、
アレクサンダー・シュトルク、
ルートヴィッヒ・ツェプナーの共作
1962 年
個人蔵

22
《ハネムーン・サービス》
コーヒーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルートヴィッヒ・ツェプナー
1964 年
個人蔵

第 2 章 名シリーズの時代

23
《ミュンヒハウゼン（ほら吹き男爵）》
コーヒーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：エアハルト・グローサー、
アレクサンダー・シュトルク、
ルートヴィッヒ・ツェプナーの共作
1964 年
個人蔵

24
《ミュンヒハウゼン（ほら吹き男爵）》
花瓶
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルートヴィッヒ・ツェプナー
1964 年 (2002 年製作)
個人蔵

25
《赤紫のバラと青い葉》
コーヒーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：エアハルト・グローサー、
アレクサンダー・シュトルク、
ルートヴィッヒ・ツェプナーの共作
個人蔵

「東ドイツ建国 20 周年記念」プレート
装飾：ハインツ・ヴェルナー
1965 年
個人蔵

26
《ファンタジック・オーキッド》
ティーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルートヴィッヒ・ツェプナー
1968 年
個人蔵

27
《プラチナ・コバルトの動物》
ティーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルートヴィッヒ・ツェプナー
1970 年
個人蔵

28
《森の木の葉》ディナーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルートヴィッヒ・ツェプナー
1973 年
個人蔵

29
《森の木の葉》コーヒーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルートヴィッヒ・ツェプナー
1973 年
個人蔵

30
《水鳥の狩り》ティーサービスほか
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルートヴィッヒ・ツェプナー
1973 年
個人蔵

31
《狩り》大燭台
装飾：ハインツ・ヴェルナー、
ルディ・シュトレ
器形：ペーター・シュトラング
1973 年
個人蔵

32
《猟師のホラ話》モカセット、ボウル
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルートヴィッヒ・ツェプナー
1973 年
個人蔵

33
《猟師のホラ話》陶板画
装飾：ハインツ・ヴェルナー
1973 年 (1990 年製作)
個人蔵

34
《イノシシの狩猟》陶板画
装飾：ハインツ・ヴェルナー
1970 年頃
個人蔵

35
《シカの狩獵》陶板画
装飾：ハインツ・ヴェルナー
1970 年頃
個人蔵

36
《サマーナイト》ティーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー
1969 年
個人蔵

37
《サマーナイト》ティーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー
人形造形：ペーター・シュトラング
1969 年（1974 年以降製作）
個人蔵

38
《アラビアンナイト》ティーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー
1966 年
個人蔵

39
《アラビアンナイト》
コーヒーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー
1966 年（1974 年以降製作）
個人蔵

40
《アラビアンナイト》
チュリー、ポタージュスープ皿
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー
1966 年
個人蔵

41
《アラビアンナイト》花瓶
装飾：ハインツ・ヴェルナー /
ヴォルフガング・ヴァックス
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー
1966 年（1999 年製作）
個人蔵

42
《アラビアンナイト》宝石箱
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ケンドラー
1966 年頃
個人蔵

43
《アラビアンナイト》「月夜の船出」
陶板画
装飾：ハインツ・ヴェルナー
1966 年（1995 年製作）
個人蔵

44
《アラビアンナイト》陶板画
装飾：ハインツ・ヴェルナー
1966 年（1991 年製作）
個人蔵

45
《新しい花 ブルーと多色》
ティーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー
1974 年
個人蔵

46
《ブルーオーキッド》
プレート、カップ&ソーサー
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー
プレート：1977 年
カップ&ソーサー：1978 年（1987
年頃製作）
個人蔵

47
《アーモンドの樹》
コーヒーサービスほか
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー
1975 年
個人蔵

48
《梅の花》コーヒーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー
1977 年
個人蔵

49
スケッチ集
ハインツ・ヴェルナー
1996 年
個人蔵

第3章 光と色彩の時代

50
《風の花》プレート類
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー
1985 年
個人蔵

51
《ヴィジョン》コーヒーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー
1990 年
個人蔵

52
《インプレッション》
カップ&ソーサーほか
装飾：ハインツ・ヴェルナー、
フォルクマール・ブレッツェナイダー
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー
1985 年
個人蔵

53
《アフロディーテ》コーヒーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー
1998 年
個人蔵

54
「富士」油彩画
ハインツ・ヴェルナー 2001 年
個人蔵

エピローグ 受け継がれる意志

55
《ドラゴンメロディ》
コーヒーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー
1994 年
個人蔵

56
《マスケラーデ》
カップ&ソーサーほか
装飾：ハインツ・ヴェルナー、
アンドレアス・ヘルテン
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー
1991 年
個人蔵

57
《祝祭舞踏会》コーヒーサービス
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ザビーネ・ヴァックス
1998 年
個人蔵

58
「デルフィニウムの花」
ミックステクニク
ハインツ・ヴェルナー
1993 年
個人蔵

59
「花束」水彩画
ハインツ・ヴェルナー
1998 年
水彩・紙
個人蔵

60
「中国の王妃」ペン画
ハインツ・ヴェルナー
1990 年
個人蔵

特別出品
飾り皿
ハインツ・ヴェルナー
1970年代
個人蔵

特別出品
クリスマスプレート
クリスマスの子どもたち
デザイン：ハインツ・ヴェルナー
1958年
個人蔵

特別出品
冬の夜の大聖堂
デザイン：ハインツ・ヴェルナー
1961年
個人蔵

特別出品
冬の朝のアルブレヒト城
デザイン：ハインツ・ヴェルナー
1967年
個人蔵

特別出品
いばら姫
デザイン：ハインツ・ヴェルナー
1977年
個人蔵

特別出品
ホレおばさん
デザイン：ハインツ・ヴェルナー
1977年
個人蔵

特別出品
雪の女王
デザイン：ハインツ・ヴェルナー
1979年
個人蔵

特別出品
クリスマスプレート 冬の森
デザイン：ハインツ・ヴェルナー
1992年
個人蔵

特別出品
夢の島
デザイン：ハインツ・ヴェルナー
1993年
個人蔵

特別出品
公園の風景
デザイン：ハインツ・ヴェルナー
1995年
個人蔵

特別出品
海の戯れ
デザイン：ハインツ・ヴェルナー
1995年
個人蔵

特別出品
夏の日
デザイン：ハインツ・ヴェルナー
1996年
個人蔵

特別出品
魔法の洞窟
デザイン：ハインツ・ヴェルナー
1997年
個人蔵

特別出品
プラーク「ドン・キホーテと馬」
デザイン：ハインツ・ヴェルナー
個人蔵

特別出品
プレート「ブラチナ・コバルトの馬」
デザイン：ハインツ・ヴェルナー
個人蔵

特別出品
干支プレート「シンバルをたたく馬」
デザイン：ハインツ・ヴェルナー
2001年
個人蔵



講演会



展示風景

戦後80年 戦争と子どもたち

会 期:令和8年1月31日(土)～3月22日(日)
前期:1月31日(土)～2月23日(月・祝)
後期:2月25日(水)～3月22日(日)
主 催:郡山市立美術館
観 覧 料:一般800(640)円
高校・大学生、65歳以上500(400)円
※()内は20名以上の団体料金。中学生
以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料。

趣 旨

今から約80年前、日本の美術家たちは戦中・戦後を生きる子どもたちをどのように表現したのか。また、当時の子どもたちはどのような美術に触れていたのか。戦時中から終戦直後にかけて制作された、子どもを主題とする作品や、子どもたちに向けてつくられた絵本や教科書、紙芝居、さらには子どもたち自身が戦時下に描いた作品を紹介。これらの「子ども」をめぐる美術を、その時代背景とともに読み解くことで、激動の時代に美術家たちが子どもたちにどのような眼差しを向けていたのかを検証した。

関連行事

○講演会

「戦時美術の『子どもたち』」

講師:河田明久氏(千葉工業大学教授)

日時:令和8年2月22日(日)午後2時から

場所:多目的スタジオ

○講演会

「子どもの紙芝居、おとなの紙芝居 一戦時下紙芝居を考える」

講師:大串潤児氏(国立歴史民俗博物館教授)

日時:令和8年3月1日(日)午後2時から

場所:多目的スタジオ

○ギャラリートーク

講師:鈴木伸子(当館主任学芸員)

日時:令和8年2月15日(日)午後2時から

場所:企画展示室

○ギャラリートーク

講師:塚本敬介(当館学芸員)

日時:令和8年2月28日(土)午後2時から

場所:企画展示室

○美術講座「戦争と子どもたち」

講師:塚本敬介(当館学芸員)

日時:令和8年3月7日(土)午後2時から

場所:多目的スタジオ

○美術講座「戦時下の子どもの表象」

講師:鈴木伸子(当館主任学芸員)

日時:令和8年3月15日(日)午後2時から

場所:多目的スタジオ

○映画会

「二十四の瞳」(監督:木下恵介、1954年、154分、日本)

日時:令和8年3月20日(金・祝)午後2時から

場所:多目的スタジオ

○映画会

「ミツバチのささやき」

(監督:ビクトル・エリセ、1973年、99分、スペイン)

日時:令和8年3月21日(土)午後2時から

場所:多目的スタジオ



ポスター



図録

発行物

『戦後80年 戦争と子どもたち』
25.0×18.6cm 192ページ 発行日：令和7年11月8日
編集：古屋暦(株式会社青幻舎)
編集協力：弘中智子(板橋区立美術館副館長)、塚本敬介(当館学芸員)、藤井素彦(新潟市美術館学芸員)
執筆：大串潤児(国立歴史民俗博物館)／鈴木一史(埼玉県平和資料館)／田中直子(女子美術大学)、弘中智子、塚本敬介、藤井素彦
アートディレクション：亀井伸二(STORK)
デザイン：原純子(STORK)
発行：株式会社青幻舎
内容：はじめに／大串潤児「戦争と子どもたち」／第一章 童心の表象／鈴木一史「戦時下の紙芝居と子どもたちー日中戦争期の作品から」／第二章 不安の表象／第三章 理念の表象／田中直子「日独伊親善図画：忘れられた児童画が語りかけるもの」／第四章 明日の表象／塚本敬介「中島菊夫 子どもたちへの想い」／別丁「慰問新聞」、『家庭通信』／第五章 再建の表象／弘中智子「戦争と子どもとモダニズム画家たち」／塚本敬介「『勤労』の子どもたちー学徒勤労動員、その諸相」／藤井素彦「戦時下の書道教育瞥見」／藤井素彦「長谷川町子と『翼賛一家大和さん』」／弘中智子「教科書にみる戦争と子どもたち」／弘中智子「絵本と戦争と子どもたち」／関連年表／作家略歴／作品リスト

関連記事

「戦中・戦後の子ども描く」『福島民友』令和8年2月8日付
「戦時中の子ども描く」『福島民報』令和8年2月14日付
「編集日記」『福島民友』令和8年2月15日付
弘中智子×塚本敬介「対談：次の時代への希望 戦時下に描かれた子どもたち」『美術の窓 2026年3月号』令和8年2月19日
つじのゆい「戦時下を生きた子どもの姿を描く巡回展「戦後80年 戦争と子どもたち」郡山市立美術館で開催」『福祉をたすねるクリエイティブマガジン こここ』令和8年2月21日
「子どもの戦禍伝える」『河北新報』令和8年2月22日付
塚本敬介「懸命に生きる姿残す」『福島民友』令和8年2月25日付
「特集 戦後80年 戦争と子どもたち」『日々新聞』令和8年2月28日付
「戦禍映す子どもの表情」『毎日新聞』令和8年3月1日付
三澤孝「子供を見つめる眼差しに潜む、画家たちの本音と葛藤」『web版美術手帖』令和8年3月2日

出品リスト（●は前期展示、■は後期展示）

第1章 童心の表象		
1 青柳喜兵衛 天翔ける神々 1937(昭和12)年 油彩・キャンバス 193.0×130.0 北九州市立美術館	5 朝井閑右衛門 春 1943(昭和18)年 油彩・キャンバス 77.0×51.5 京都市美術館	10 猪巻清明 背戸に遊ぶI(小下図) 1941(昭和16)年 紙本着色 40.5×52.2 喜多方市美術館
2 小林猶治郎 童心双六 1937(昭和12)年 油彩・キャンバス 135.0×165.0 練馬区立美術館	6 小杉放菴 金太郎遊行 1944(昭和19)年 油彩・キャンバス 150.0×136.0 栃木県立美術館	11 和田三造 『昭和職業絵巻』より 紙芝居 1939-41(昭和14-16)年 木版・紙 28.8×38.6 昭和館
3 有馬さとえ 夏日 1938(昭和13)年 油彩・キャンバス 117.0×80.5 京都市美術館	7 林鶴雄 路上に画く 1940(昭和15)年 油彩・キャンバス 38.0×45.5 姫路市立美術館	12 和田三造 『昭和職業絵巻』より 保母 1939-41(昭和14-16)年 木版・紙 28.9×38.2 昭和館
4 大沢昌助 湖畔の少年(水浴) 1941(昭和16)年 油彩・キャンバス 145.6×112.0 練馬区立美術館	8 鈴木賢二 薄陽ー 2月頃の情景 1938-40(昭和13-15)年頃 木版・紙 24.6×29.5 栃木県立美術館	13 古川龍生 桜花 1944(昭和19)年 木版・紙 11.0×15.0 栃木県立美術館
	9 猪巻清明 憩い(小下図) 1939(昭和14)年 紙本着色 37.7×44.6 喜多方市美術館	14 川上澄生 着せ替え人形 1943(昭和18)年頃 木版・紙 15.5×21.3 栃木県立美術館

15
横井弘三
料治朝鳴氏の家族
1940(昭和15)年頃
油彩・合板
53.8×73.7
郡山市立美術館

16
太田章
弟たち
制作年不明
紙本着色
162.1×112.2
戦没画学生慰霊美術館 無言館

17
中村良明
きょうだい
1937(昭和12)年
油彩・キャンバス
116.5×90.6
戦没画学生慰霊美術館 無言館

第2章 不安の表象

18
松村綾子
少女・金魚鉢
1937(昭和12)年
油彩・キャンバス
96.8×130.5
星野画廊

19
矢崎博信
子ども達
1938(昭和13)年以降
油彩・キャンバス
91.4×117.2
茅野市美術館

20
酒井亜人
冬
1937(昭和12)年
紙本着色
147.5×133.5
千葉県立美術館

21
浜松小源太
世紀の系図
1938(昭和13)年
油彩・キャンバス
145.0×112.0
板橋区立美術館

22
今西中通
子供を抱く女
1943(昭和18)年頃
油彩・キャンバス
73.0×61.0
郡山市立美術館

23
香月泰男
水鏡
1942(昭和17)年
油彩・キャンバス
72.3×116.5
東京国立近代美術館

24
水原房次郎
夏の夜 戦果をきき入る少年達
1942(昭和17)年
油彩・キャンバス
91.0×116.5
福岡県立美術館

25
樽松正利
話
1942(昭和17)年
油彩・キャンバス
162.4×130.5
豊島区

26
李平凡
家のない子どもたち
1940(昭和15)年
木版・紙
28.0×35.1
栃木県立美術館

27
ヘンリー杉本
我々のバス
1943(昭和18)年
油彩・キャンバス
60.0×82.3
東京国立近代美術館

28
中尾彰
子供
制作年不明
油彩・キャンバス
53.0×45.5
茅野市美術館

29
吉原治良
防空演習
1944-45(昭和19-20)年頃
油彩・キャンバス
130.6×160.5
大阪中之島美術館

30 ■
渡部菊二
防空頭巾
1943(昭和18)年
水彩・紙
60.6×48.6
福島県立美術館

31
渡部菊二
戦国の少年
1943(昭和18)年
水彩・紙
76.0×60.2
会津若松市教育委員会

32
石井正夫
模型建艦
1943(昭和18)年
紙本着色
136.0×136.0
戦没画学生慰霊美術館 無言館

33
片岡京二
少年と犬
1942(昭和17)年
紙本着色
111.0×94.0
玉川大学教育博物館

34
藤野天光
父にまさる
1940(昭和15)年
ブロンズ
104.0×60.0×41.5
館林市

35
飯田清毅
影絵
1942(昭和17)年
油彩・キャンバス
116.5×91.0
星野画廊

第3章 理念の表象

36
中澤弘光
別れの乳房
1940-44(昭和15-19)年頃
油彩・キャンバス
44.0×52.0
日本赤十字社秋田県支部

37
白谷登
征途の別れ
1941(昭和16)年
油彩・キャンバス
145.2×112.5
日本赤十字社

38
小林猶治郎
兄の応召
1938(昭和13)年
油彩・キャンバス
37.0×44.0
練馬区立美術館

39
和田香苗
余米
1944(昭和19)年
油彩・キャンバス
89.5×115.4
東京都現代美術館

40
浜松小源太
遺児すこやか
1941(昭和16)年
油彩・キャンバス
97.0×130.0
大館郷土博物館

41
北川民次
作文を書く少女(慰問文を書く少女)
1939(昭和14)年
油彩・キャンバス
73.1×60.5
名古屋市美術館

42
作者不明
慰問袋
1943(昭和18)年以降
紙本着色
95.7×126.8
昭和館

43
井川洗厓
『支那事変版画』より 第三篇 千人針
1937(昭和12)年
木版・紙
44.5×29.7
昭和館

44
井川洗厓
『支那事変版画』より
第五篇 支那事変銃後の護
1938(昭和13)年
木版・紙
44.1×29.5
昭和館

45
新海覚雄
貯蓄報国
1943(昭和18)年
油彩・キャンバス
112.4×163.0
板橋区立美術館

46
服部喜三
燈火管制
1943(昭和18)年
油彩・キャンバス
116.4×80.0
京都市美術館

47
島村三七雄
題不明(裁縫工場)
1944(昭和19)年頃
油彩・キャンバス
80.3 x 99.7
星野画廊

48 ●
鶴田吾郎
女子挺身隊(パラシュート工場)
1942(昭和17)年
コンテ・紙
31.5×44.2
千葉県立美術館

49
小島鼎子
増産
1944(昭和19)年
紙本着色
181.0×135.0
武蔵野市立吉祥寺美術館

50
加藤陽
収穫(疎開学童の奉仕)
1944(昭和19)年
油彩・キャンバス
91.0×116.0
杉並区立郷土博物館

51
中尾彰
勤労奉仕
1944(昭和19)年
油彩・キャンバス
64.6×90.4
茅野市立北山小学校

52
刑部人
少年通信兵
1944(昭和19)年
油彩・キャンバス
116.5×90.7
栃木県立美術館

53
中谷ミユキ
勝利の少年兵
1944(昭和19)年
油彩・キャンバス
73.0×61.5
個人

54
川村吾蔵
大東亜
1942(昭和17)年
ブロンズ
60.0×38.0×38.0
靖国神社遊就館

55
加藤陽
蕃童
1940(昭和15)年
油彩・キャンバス
130.0×97.5
板橋区立美術館

56
柳瀬正夢
ロマノフカ村の少年
1943(昭和18)年
水彩、コンテ・紙
31.0×22.0
板橋区立美術館

57
柳瀬正夢
少女
1943(昭和18)年
水彩、鉛筆・紙
23.3×32.0
板橋区立美術館

58
渡部菊二
ヒノマル
1944(昭和19)年
水彩・紙
47.3×17.0
喜多方市美術館

59
宮本三郎
マライの娘
1943(昭和18)年
油彩・キャンバス
38.2×45.3
星野画廊

第4章 明日の表象

60
吉井忠
少女像
1942(昭和17)年
油彩・キャンバス
32.5×23.5
個人

61
麻生三郎
一子像
1944(昭和19)年
油彩・キャンバス
46.6×38.0
板橋区立美術館

62
松本竣介
りんご
1944(昭和19)年
油彩・板
27.3×21.5
個人(板橋区立美術館寄託)

63
松本竣介
駅
1940(昭和15)年
インク、鉛筆、木炭、顔料・紙
26.7×36.7
個人

64
松本竣介
汽車
1943(昭和18)年頃
インク、墨・紙
23.5×32.2
個人

65
松本竣介
構図
1945(昭和20)年
インク、墨、鉛筆・紙
23.7×32.1
個人

66
松本竣介
構図
1948(昭和23)年
油彩・板
23.8×33.0
個人

67
松本竣介
せみ
1948(昭和23)年
油彩・板
16.0×22.0
個人

68
佐藤哲三
コドモと柿の夢
1943(昭和18)年
油彩・キャンバス
47.0×75.5
個人

69
糸園和二郎
歩行補助器
1943(昭和18)年
インク・紙
11.5×11.5
名古屋画廊

第5章 再建の表象

70
植原健三
街頭にて
1946(昭和21)年
油彩・キャンバス
116.7×90.9
個人

71
大塚睦
孤児
1946(昭和21)年
油彩・キャンバス
72.5×60.5
豊島区

72 ●
北岡文雄
『祖国への旅』より 母と子
1947(昭和22)年
木版・紙
11.7×10.2
町田市立国際版画美術館

73 ■
北岡文雄
『祖国への旅』より 給食を待つ孤児
1947(昭和22)年
木版・紙
13.0×11.1
町田市立国際版画美術館

74 ■
畦地梅太郎
子供
1945(昭和20)年
木版(多色)・紙
37.2×25.5
町田市立国際版画美術館

75 ●
畦地梅太郎
子供たち
1946(昭和21)年
木版(多色)・紙
65.8×45.5
町田市立国際版画美術館

76 ●
大田耕士
『一木集』より 遊ぶ子供
1947(昭和22)年
木版・紙
16.8×24.3
町田市立国際版画美術館

77 ■
関野準一郎
『一木集』より 長男像
1949(昭和24)年
木版(多色)・紙
36.3×28.4
町田市立国際版画美術館

78
古沢岩美
焼跡の子供達
1946-47(昭和21-22)年
油彩・キャンバス
129.0×95.5
板橋区立美術館

79
大沢昌助
虚像を耕す(瓦れきの歌)
1947(昭和22)年
油彩・キャンバス
116.2×90.6
練馬区立美術館

80
高山良策
食事
1947(昭和22)年
油彩・キャンバス
73.0×53.0
板橋区立美術館

81
池部鈞
終戦直後の小学生
1948(昭和23)年
油彩・キャンバス
91.0×60.5
東京都現代美術館

82
北川民次
姉弟
1949(昭和24)年
油彩・キャンバス
92.0×65.0
練馬区立美術館

83
麻生三郎
子供
1948(昭和23)年
油彩・キャンバス
53.0×45.5
弥栄画廊

84
麻生三郎
母子
1949(昭和24)年
油彩・キャンバス
60.6×50.0
個人

資料リスト

D-1
作者不明
「チョコレートと兵隊」手描き複製版
制作年不明
出版元不明
神奈川大学非文字資料研究センター

D-2
横山隆一原作
『翼賛画劇 フクチャンのヨイコドモ』
1941(昭和16)年9月
大政翼賛会宣伝部 推薦
大日本画劇株式会社製作・発売
日本通運株式会社
神奈川大学非文字資料研究センター

D-3
田河水泡 / 島田啓三
『のらくろ肉弾中隊』
『冒険ダン吉動く日の丸』
(『少年倶楽部』第26巻第1号附録)
1939(昭和14)年1月
大日本雄弁会講談社
埼玉県平和資料館

D-4
『戦ふ少年兵美術展 絵葉書』
1943(昭和18)年
女流美術奉公隊
個人

D-5
古沢岩美
「軍事郵便」(スクラップブック)
1943-46(昭和18-21)年
板橋区立美術館

D-6
中谷宇吉郎著
柳瀬正夢画
『寒い国』
初版1943(昭和18)年6月
[1948(昭和23)年9月第4版]
岩波書店
個人

D-7
小出正吾著
渡部菊二装幀・画
『ジャワノエホン』
1943(昭和18)年
「少国民絵文庫」中央出版協会
福島県立美術館

D-8
小出正吾著
渡部菊二画
『ジャワノキナカ』
1943(昭和18)年
中央出版協会
福島県立美術館

D-9
小学3年生作品
日独伊親善図画(16点)
1938(昭和13)年
Eva Friedrich Thoma /
Naoko Tanaka Collection

D-10
佐藤哲三児童美術館
佐藤哲三指導 児童画
個人

D-11
中島菊夫
『慰問新聞』
1944-45(昭和19-20)年
山崎記念中野区立歴史民俗資料館
● 第二号
1944(昭和19)年11月11日
■ 浅川版 第七号
1945(昭和20)年1月1日
● 浅川版 第八号
1945(昭和20)年1月11日
■ 竹貫版 第八号(未完成)
1945(昭和20)年3月11日

D-12
中島菊夫
『家庭通信』第一号
1946(昭和21)年
山崎記念中野区立歴史民俗資料館

D-13
矢崎茂四
松下井知夫
山本一郎
長谷川町子
『翼賛漫画 進メ大和一家』
1942(昭和17)年
日本絵雑誌社
とんかつ文庫

D-14
『ヨミカタ 二』
1941(昭和16)年9月
文部省
埼玉県平和資料館

D-15
『よみかた 三』
1941(昭和16)年3月
文部省
埼玉県平和資料館

D-16
『うたのほん下』
1941(昭和16)年3月
文部省
埼玉県平和資料館

D-17
『エノホン一』
1941(昭和16)年3月
文部省
個人

D-18
『エノホン四』
1941(昭和16)年9月
文部省
個人

D-19
『初等科図画二 男子用』
1942(昭和17)年3月
文部省
個人

D-20
『初等科図画四 女子用』
1942(昭和17)年3月
文部省
個人

D-21
大木惇夫著
恩地孝四郎画
『マメノコブタイ』
1941(昭和16)年
1978(昭和53)年
新日本幼年文庫 / 帝国教育会出版部
(復刻版 ほるぷ出版)
個人

D-22
丸山薫著
赤松俊子画
『ヤシノミノタビ』
1942(昭和17)年
新日本幼年文庫 / 帝国教育会出版部
個人

D-23
佐藤春夫著
谷中安規画
『正夫君の見たゆめ』
1943(昭和18)年
1978(昭和53)年
新日本幼年文庫 / 帝国教育会出版部
(復刻版 ほるぷ出版)
個人

D-24
佐藤義美著
北川民次画
『ジャングル』
1942(昭和17)年
1983(昭和58)年
帝教の絵本 / 帝国教育会出版部
(復刻版 ほるぷ出版)
個人

D-25
川崎大治著
斎藤清画
『炭ヤク里ノ子』
1942(昭和17)年
泰光堂
福島県立美術館

参考
相澤道郎脚本
寺田政明画
『小鴨の引越し』
1942(昭和17)年10月
画劇報国社
個人

参考
『週刊少国民』第1巻第12号
1942(昭和17)年8月2日
朝日新聞社
埼玉県平和資料館

参考
『週刊少国民』第2巻第23号
1943(昭和18)年6月6日
朝日新聞社
埼玉県平和資料館

参考
『週刊少国民』第2巻第25号
1943(昭和18)年6月20日
朝日新聞社
埼玉県平和資料館

参考
『週刊少国民』第2巻第47号
1943(昭和18)年11月21日
朝日新聞社
埼玉県平和資料館

参考
玉井徳太郎
国ヂュウ一家
(『講談社の絵本』第1巻第15号)
1938(昭和13)年7月
大日本雄弁会講談社
個人

参考 ■
『少女倶楽部』第21巻第6号
1943(昭和18)年6月
大日本雄弁会講談社
個人

参考
和田香苗
誉れの家
(『婦人倶楽部』第20巻第5号口絵)
1939(昭和14)年5月
大日本雄弁会講談社
個人

参考
白谷登
征途の別れ
(『婦人倶楽部』第22巻第8号口絵)
1941(昭和16)年8月
大日本雄弁会講談社
個人

参考
『婦人倶楽部』第26巻第1号
1945(昭和20)年1月
大日本雄弁会講談社
個人

参考
『婦人倶楽部』第26巻第3号
1945(昭和20)年3月
大日本雄弁会講談社
個人

参考 ●
『旬刊美術新報』第51号
1943(昭和18)年2月10日
日本美術新報社
個人

参考
中島菊夫
『日の丸旗之助』
1937(昭和12)年
1970(昭和45)年
大日本雄弁会講談社
(復刻版 講談社)
個人

参考
鷺宮国民学校疎開児童画(20点)
1945(昭和20)年
山崎記念中野区立歴史民俗資料館

参考

井上桂園(揮毫)
『初等科習字 二』
1942(昭和17)年
文部省
とんかつ文庫

参考

井上桂園(揮毫)
『初等科習字 三』
1943(昭和18)年
文部省
とんかつ文庫

参考

武藤完一
撃 二六〇五(昭和20年年賀状)
1944(昭和19)年
第11回榛の会
郡山市立美術館

参考●

福島つね子
山川こえて飛ぶよとぶ
南の海のはてまでも
(昭和20年年賀状)
1944(昭和19)年
第11回榛の会
郡山市立美術館

参考●

熊谷元一
必勝新年 山の予科練
(昭和20年年賀状)
1944(昭和19)年
第11回榛の会
郡山市立美術館

参考■

絵葉書
「堀文子《落下傘を造る少女》」
陸軍美術協会発行
個人

参考■

絵葉書
「柳田直観《女学生の勤労奉仕》」
恩賜財団軍人援護会福岡県支部寄贈
偕兵社製
個人



講演会 1



講演会 2



展示風景

特別展 郡山市名誉市民 西田敏行展「愛してるぞ〜い！」

会 期：令和7年9月6日(土)～9月28日(日)

主 催：郡山市立美術館
郡山市歴史情報博物館
郡山市

企画協力：風とロック有限会社
株式会社福島民報社郡山本社

協 力：タワーレコード株式会社

観 覧 料：無料

趣 旨

2024年10月に逝去した郡山市名誉市民の俳優西田敏行氏の業績を、郡山市立美術館、郡山市歴史情報博物館、タワーレコード郡山店の3会場で紹介した。美術館では「名優・西田敏行」をテーマに、出演映画等のスチール写真やポスター、パンフレット等の資料を展示。郡山市歴史情報博物館とタワーレコード郡山店の会場でもそれぞれ、「郡山人・西田敏行」「西田敏行と音楽」を展示テーマに同時開催した。

関連行事

○スペシャルトーク「ボくらにとっての西田敏行さん」

日時：令和7年9月13日(土)午後1時から3時

場所：美術館石庭

出演：宮藤官九郎(脚本家)

箭内道彦(クリエイティブディレクター)

○大合唱 みんなで歌うべ「もしもピアノが弾けたなら」

日時：令和7年9月13日(土)午後1時から3時

場所：美術館石庭

○名作映画観賞会 みんなで観っぺ「西田敏行 名作映画選」
「学校」

日時：令和7年9月7日(日)午後2時から

「虹をつかむ男」

日時：令和7年9月27日(土)午後6時から

場所：多目的スタジオ

○スタンプラリー

(美術館・郡山市歴史情報博物館・タワーレコード郡山店)



ポスター



西田敏行展 「名優・西田敏行」

テレビドラマ

	作品名	制作年	製作、発行元など	原作者、脚本家など
1	『グラフNHK』1975(昭和50)年 11月号 (NHK総合テレビドラマ「新・坊っちゃん」)	1975-76 (昭和50-51)	編集／NHK 発行／NHKサービス センター	脚本／市川森一
2	TBS系列テレビドラマ「三男三女婿一匹」写真パネル	1976-77 (昭和51-52)	TBS	作／市川森一
3	TBS系列テレビドラマ「港町純情シネマ」写真パネル	1980(昭和55)	TBS	脚本／市川森一
4	TBS系列テレビドラマ「淋しいのはお前だけじゃない」 写真パネル (撮影:山岸 伸)	1982(昭和57)	TBS	脚本／市川森一
5	TBS系列テレビ金曜ドラマ「淋しいのはお前だけじゃない」 シングルレコード(ジャケット撮影:山岸 伸)	1982(昭和57)	株式会社CBS・ソニー	
6	TBS系列テレビドラマ「雲を翔びこせ」写真パネル	1978(昭和53)	TBS	脚本／広沢栄
7	テレビ朝日系列テレビドラマ「サンキュー先生」 写真パネル	1980-81 (昭和55-56)		
8	テレビ朝日系列テレビ金曜ドラマ「サンキュー先生」 シングルレコード(ジャケット撮影:山岸 伸)	1980-81 (昭和55-56)	株式会社CBS・ソニー	
9	日本テレビ系列テレビドラマ「池中玄太80キロ」 写真パネル	1980(昭和55)		脚本／林秀彦ほか
10	日本テレビ系列テレビ金曜ドラマ 「池中玄太80キロ Part II」主題歌「もしもピアノが弾けたなら」 シングルレコード(ジャケット撮影:山岸 伸)	1980-81 (昭和55-56)	株式会社CBS・ソニー	
11	『うわさのテレビ』1981(昭和56)春号	1980-81 (昭和55-56)	発行／日本テレビ 放送網株式会社 編成曲PR部	
12	TBS系列テレビドラマ「泣いてたまるか」 写真パネル (撮影:山岸 伸)	1986(昭和61)	TBS	脚本／市川森一、山田洋次ほか
13	TBS 系列テレビ金曜ドラマ「泣いてたまるか」 シングルレコード(ジャケット撮影:山岸 伸)	1986(昭和61)	株式会社CBS・ソニー	
14	『グラフNHK』1981(昭和56)年1月号 (NHK大河ドラマ「おんな太閤記」)	1981(昭和56)	NHK	脚本／橋田壽賀子
15	「おんな太閤記」写真パネル	1981(昭和56)	編集／NHK 発行／NHKサービス センター	
16	LPレコード NHKレコード 「NHK大河ドラマ主題曲集」	1981(昭和56)	ポリドール株式会社	
17	『グラフNHK』1984(昭和59)年 1月号 (NHK大河ドラマ「山河燃ゆ」)	1984(昭和59)		脚本／市川森一
18	『グラフNHK』1984(昭和59)年 12月号 (NHK大河ドラマ「山河燃ゆ」)	1984(昭和59)	編集／NHK 発行／NHKサービス センター	
19	「山河燃ゆ」写真パネル	1984(昭和59)	編集／NHK 発行／NHKサービス センター	
20	『NHK 大河ドラマ・ストーリー 翔ぶが如く第1部 幕末編』	1990(平成2)	NHK	作／司馬遼太郎 脚本／小山内美江子
21	「翔ぶが如く」写真パネル	1990(平成2)	発行／NHK出版	
22	『NHK 大河ドラマ・ストーリー 八代将軍吉宗』	1995(平成7)	NHK	脚本／ジェームス三木
23	「八代将軍吉宗」写真パネル	1995(平成7)	発行／NHK出版	
24	『NHK 大河ドラマ・ストーリー 葵 徳川三代 前編』	2000(平成12)	NHK	脚本／ジェームス三木
25	『NHK 大河ドラマ・ストーリー 葵 徳川三代 後編』	2000(平成12)	発行／NHK出版	脚本／ジェームス三木
26	「葵 徳川三代」写真パネル	2000(平成12)	発行／NHK出版	
27	『NHK 大河ドラマ・ストーリー 八重の桜 前編』	2013(平成25)	NHK	脚本／山本むつみ
28	『NHK 大河ドラマ・ガイド 八重の桜 後編』	2013(平成25)	発行／NHK出版	
29	「八重の桜」写真パネル	2013(平成25)	発行／NHK出版	
30	『NHK 大河ドラマ・ストーリー 鎌倉殿の13人 前編』	2022(令和4)	NHK出版 編	

	作品名	制作年	製作、発行元など	原作者、脚本家など
31	「鎌倉殿の13人」写真パネル	2022(令和4)		
32	TBS系列テレビ金曜ドラマ「タイガー&ドラゴン」写真パネル	2005(平成17)	TBS	脚本／宮藤官九郎 プロデューサー／磯山晶
33	TBS系列テレビ金曜ドラマ「うぬぼれ刑事」写真パネル	2010(平成22)	TBS	脚本／宮藤官九郎 プロデューサー／磯山晶
34	TBS系列テレビ金曜ドラマ「俺の家の話」写真パネル	2021(令和3)	TBS	脚本／宮藤官九郎 プロデューサー／磯山晶
35	日本テレビ系列「西遊記」写真パネル	1978-79 (昭和53-54)	日本テレビ	脚本／ジェームス三木ほか
36	『ひかりのくに』テレビ絵本 西遊記(そんごくうおおあばれの巻)』構成／トーア出版企画(株)画／中村まこと		©NTV	
37	フジテレビ系列「白い巨塔」写真パネル	2003-4 (平成15-16)	フジテレビ	原作／山崎豊子 脚本／井上由美子
38	TBS系列テレビ日曜劇場「華麗なる一族」写真パネル	2007(平成19)	TBS	原作／山崎豊子 脚本／橋本裕志
39	TBS系列テレビ日曜劇場「家族ノカタチ」写真パネル	2016(平成28)	TBS	脚本／後藤法子
40	TBS系列テレビ日曜劇場 「さよならマエストロ～父と私のアパッシオナート～」	2024(令和6)	TBS	脚本／大島里美

映 画

	作品名	公開年	製作、配給、発行元など	原作、監督
41	「檻樓の旗」フライヤー(B5)	1974(昭和49)	「檻樓の旗」製作委員会	吉村公三郎
42	「悪魔が来りて笛を吹く」ポスター(B3)	1979(昭和54)	製作／東映株式会社	原作／横溝正史 監督／斎藤光正
43	「悪魔が来りて笛を吹く」パンフレット	1979(昭和54)	発行／東映株式会社 映像事業部	
44	「悪魔が来りて笛を吹く」写真パネル	1979(昭和54)		
45	「天国の駅」ポスター(B2)	1984(昭和59)	製作／東映株式会社	脚本／早坂暁 監督／出目昌伸
46	「天国の駅」パンフレット	1984(昭和59)	発行／東映株式会社 映像事業部	
47	「天国の駅」写真パネル	1984(昭和59)		
48	「ロケーション」ポスター(B2)	1984(昭和59)		原作／津田一郎 監督／森崎東
49	「植村直己物語」ポスター(B2)	1986(昭和61)	製作／東宝株式会社	原作／植村直己 監督／佐藤純彌
50	「植村直己物語」ポスター(B1)	1986(昭和61)	製作／東宝株式会社	
51	「植村直己物語」フライヤー(B5)	1986(昭和61)	製作／東宝株式会社	
52	「敦煌」ポスター(B1)	1988(昭和63)	製作／東宝株式会社	原作／井上靖 監督／佐藤純彌
53	「敦煌」ポスター(B0)	1988(昭和63)	製作／東宝株式会社	
54	「敦煌」フライヤー(B5)	1988(昭和63)	製作／東宝株式会社	
55	「敦煌」パンフレット	1988(昭和63)	発行／東宝出版事業室	
56	「敦煌」写真パネル	1988(昭和63)		
57	「釣りバカ日誌」フライヤー(B5)	1988(昭和63)	製作／松竹株式会社	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次、桃井章 監督／栗山富夫
58	「釣りバカ日誌」パンフレット	1988(昭和63)	編集・発行／ 松竹株式会社事業部	
59	「釣りバカ日誌」写真パネル	1988(昭和63)		
60	「釣りバカ日誌2」パンフレット	1989(平成元)	編集・発行／ 松竹株式会社事業部	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次 監督／栗山富夫
61	「釣りバカ日誌3」パンフレット	1990(平成2)	編集・発行／ 松竹株式会社事業部	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次 監督／栗山富夫
62	「釣りバカ日誌4」パンフレット	1991(平成3)	編集・発行／ 松竹株式会社事業部	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次 監督／栗山富夫

	作品名	公開年	製作、配給、発行元など	原作、監督
63	「釣りバカ日誌5」パンフレット	1992(平成4)	編集・発行／ 松竹株式会社事業部	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次、高橋正岡、関根俊夫 監督／栗山富夫
64	「釣りバカ日誌5」写真パネル	1992(平成4)	製作／松竹株式会社	
65	「釣りバカ日誌6」パンフレット	1993(平成5)	編集・発行／ 松竹株式会社事業部	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次、関根俊夫、梶浦政男 監督／栗山富夫
66	「釣りバカ日誌 7」パンフレット	1994(平成6)	編集・発行／ 松竹株式会社事業部	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次、高橋正岡、関根俊夫 監督／栗山富夫
67	「釣りバカ日誌 7」写真パネル	1994(平成6)	製作／松竹株式会社	
68	「釣りバカ日誌 8」ポスター(B2)	1996(平成8)	製作／松竹株式会社	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次、朝間義隆 監督／栗山富夫
69	「釣りバカ日誌8」パンフレット	1996(平成8)	編集・発行／ 松竹株式会社事業部	
70	「釣りバカ日誌 8」写真パネル	1996(平成8)	製作／松竹株式会社	
71	「釣りバカ日誌9」パンフレット	1997(平成9)	編集・発行／ 松竹株式会社事業部	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次、朝間義隆 監督／栗山富夫
72	「釣りバカ日誌10」フライヤー(B5)	1998(平成10)	製作／松竹株式会社	
73	「釣りバカ日誌10」パンフレット	1998(平成10)	編集・発行／ 松竹株式会社事業部	
74	「釣りバカ日誌イレブン」フライヤー(B5)	2000(平成12)	製作／松竹株式会社	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次、朝間義隆 監督／本木克英
75	「釣りバカ日誌12 史上最大の有給休暇」 パンフレット	2001(平成13)	製作／松竹株式会社 編集・発行／ 松竹株式会社事業部	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次、朝間義隆 監督／本木克英
76	「釣りバカ日誌13 ハマちゃん危機一髪」 フライヤー(B5)	2002(平成14)	製作／松竹株式会社	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次、朝間義隆 監督／本木克英
77	「釣りバカ日誌13 ハマちゃん危機一髪」 パンフレット	2002(平成14)	編集・発行／ 松竹株式会社事業部	
78	「釣りバカ日誌14 お遍路大パニック」 フライヤー(B5)	2003(平成15)	製作／松竹株式会社	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次、朝間義隆 監督／朝原雄三
79	「釣りバカ日誌14 お遍路大パニック」 パンフレット	2003(平成15)	編集・発行／ 松竹株式会社事業部	
80	「釣りバカ日誌14」写真パネル	2003(平成15)	製作／松竹株式会社	
81	「釣りバカ日誌15 ハマちゃんに明日はない？」 フライヤー(B5)	2004(平成16)	製作／松竹株式会社	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次、朝間義隆 監督／朝原雄三
82	「釣りバカ日誌15 ハマちゃんに明日はない？」 パンフレット	2004(平成16)	編集・発行／ 松竹株式会社事業部	
83	「釣りバカ日誌16 浜崎は今日もダメだった♪♪」 フライヤー(B5)	2005(平成17)	製作／松竹株式会社	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次、石川勝己、平岡恵美子 監督／朝原雄三
84	「釣りバカ日誌16 浜崎は今日もダメだった♪♪」 パンフレット	2005(平成17)	編集・発行／ 松竹株式会社事業部	
85	「釣りバカ日誌17 あとは能登となれハマとなれ！」 フライヤー(B5)	2006(平成18)	製作／松竹株式会社	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次、朝原雄三 監督／朝原雄三
86	「釣りバカ日誌17 あとは能登となれハマとなれ！」 パンフレット	2006(平成18)	編集・発行／ 松竹株式会社事業部	

	作品名	公開年	製作、配給、発行元など	原作、監督
87	「釣りバカ日誌18 ハマちゃんスーさん瀬戸の約束」パンフレット	2007(平成19)	編集・発行／松竹株式会社事業部	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次、朝原雄三 監督／朝原雄三
88	「釣りバカ日誌18」写真パネル	2007(平成19)	製作／松竹株式会社	
89	「釣りバカ日誌19 ようこそ！鈴木建設御一行様」フライヤー(B5)	2008(平成20)	製作／松竹株式会社	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次、関根俊夫 監督／朝原雄三
90	「釣りバカ日誌19 ようこそ！鈴木建設御一行様」パンフレット	2008(平成20)	編集・発行／松竹株式会社事業部	
91	「釣りバカ日誌20 ファイナル」ポスター(B2)	2009(平成21)	製作／松竹株式会社	原作／やまさき十三 画／北見けんいち (小学館「ビッグコミックオリジナル」連載) 脚本／山田洋次、関根俊夫 監督／朝原雄三
92	「釣りバカ日誌20 ファイナル」フライヤー(B5)	2009(平成21)	製作／松竹株式会社	
93	「釣りバカ日誌20 ファイナル」パンフレット	2009(平成21)	編集・発行／松竹株式会社事業部	
94	「釣りバカ日誌20」写真パネル	2009(平成21)	製作／松竹株式会社	
95	おろしや国酔夢譚 ポスター(B2)	1992(平成4)	製作／大映・電通 配給／東宝	原作／井上靖 監督／佐藤純彌
96	おろしや国酔夢譚 oroshiya photo	1992(平成4)	製作／大映・電通 配給／東宝	
97	「学校」ポスター(B2)	1993(平成5)	製作／松竹株式会社	
98	「学校」フライヤー(B5)	1993(平成5)	製作／松竹株式会社	
99	「学校」パンフレット	1993(平成5)	編集・発行／松竹株式会社事業部	
100	「学校」写真パネル	1993(平成5)	製作／松竹株式会社	脚本／山田洋次、朝間義隆 監督／山田洋次
101	「学校Ⅱ」フライヤー(B5)	1996(平成8)	松竹株式会社 日本テレビ放送網株式会社 住友商事株式会社 提携作品／配給／松竹株式会社	
102	「学校Ⅱ」写真パネル	1996(平成8)	松竹株式会社 日本テレビ放送網株式会社 住友商事株式会社 提携作品／配給／松竹株式会社	
103	「虹をつかむ男」ポスター(B2)	1996(平成8)	製作／松竹株式会社	
104	「虹をつかむ男」フライヤー(B5)	1996(平成8)	製作／松竹株式会社	
105	「虹をつかむ男」パンフレット	1996(平成8)	編集・発行／松竹株式会社事業部	
106	「虹をつかむ男」写真パネル	1996(平成8)	製作／松竹株式会社	原作 脚本 監督／山田洋次
107	「虹をつかむ男 南国奮斗篇」写真パネル	1997(平成9)	製作／松竹株式会社	原作 脚本 監督／山田洋次
108	「ゲロッパ！」ポスター(B2)	2003(平成15)	製作／シネカノン、電通、ハビネット・ピクチャーズ、グッドニュー、メモリーテック、アーティストフィルム 配給／シネカノン	脚本／羽原大介、井筒和幸 監督／井筒和幸
109	「ゲロッパ！」フライヤー(B5)	2003(平成15)		
110	「THE 有頂天ホテル」フライヤー(B5)	2006(平成18)	製作／フジテレビ 東宝 配給／東宝	脚本と監督／三谷幸喜
111	「ザ・マジックアワー」写真パネル	2008(平成20)	製作／フジテレビ 東宝 配給／東宝	脚本と監督／三谷幸喜
112	『「ザ・マジックアワー」劇場用プログラム』	2008(平成20)	発行／東宝(株) 出版・商業事業室	
113	「丘を越えて」ポスター(B2)	2008(平成20)	製作／ゼアリズエンタープライズ 配給／ゼアリズエンタープライズ 東映ビデオ ティ・ジョイ	原作／猪瀬直樹 脚本／今野勉 監督／高橋伴明

	作品名	公開年	製作、配給、発行元など	原作、監督
114	「丘を越えて」フライヤー(B5)	2008(平成20)		
115	「丘を越えて」パンフレット	2008(平成20)		
116	「旭山動物園物語 ペンギンが空を飛ぶ」写真パネル	2009(平成21)	製作・配給／ 角川映画	脚本／興水泰弘 監督／マキノ雅彦
117	『「旭山動物園物語 ペンギンが空を飛ぶ」 劇場用プログラム』	2009(平成21)	©2009「旭山動物園物語」 製作委員会	
118	「火天の城」フライヤー(B5)	2009(平成21)		
119	「火天の城」写真パネル	2009(平成21)		
120	『「ステキな金縛り」パンフレット』	2011(平成23)	発行／東宝(株) 出版・商業事業室	
121	「ステキな金縛り」写真パネル	2011(平成23)	製作／フジテレビ 東宝 配給／東宝	脚本と監督／三谷幸喜
122	「星守る犬」写真パネル	2011(平成23)	「星守る犬」製作委員会 配給／東宝	
123	「星守る犬」ポスター(B2)	2011(平成23)		原作／村上たかし『星守る犬』 (双葉社『漫画アクション』掲載) 監督／瀧本智行
124	「星守る犬」フライヤー(B5)	2011(平成23)		
125	「ナミヤ雑貨店の奇蹟」フライヤー(A3)	2017(平成29)	「ナミヤ雑貨店の奇蹟」 製作委員会 配給／松竹株式会社 KADOKAWA	原作／東野圭吾 『ナミヤ雑貨店の奇蹟』(角川書店刊) 監督／廣木隆一 脚本／齊藤ひろし
126	「ナミヤ雑貨店の奇蹟」パンフレット	2017(平成29)		
127	「ナミヤ雑貨店の奇蹟」写真パネル	2017(平成29)		
128	「遺体」ポスター(B2)	2013(平成25)	製作／フジテレビジョン 配給／株式会社ファントム・ フィルム	原作／石井光太 『遺体 震災、津波の果てに』(新潮社刊) 脚本・監督／君塚良一
129	「遺体」チラシ(B5)	2013(平成25)		
130	「遺体」パンフレット	2013(平成25)	編集・発行所／ 株式会社ファントム・ フィルム	
131	「遺体」写真パネル	2013(平成25)		
132	映画「がんばれ!!タブチくん!! 第2弾 激闘ベナントレース」チラシ	1980(昭和55)	製作／東宝東和(株) 東京ムービー新社	原作／いしいひさいち 脚本／辻真先、ほか 監督／芝山努
133	映画「ももへの手紙」パンフレット	2012(平成24)	「ももへの手紙」 製作委員会	原案・脚本・監督／沖浦啓之
134	劇団青年座第146回公演 創立四拾五周年記念公演 No.1「リセット」パンフレット(撮影:山岸伸)	1999(平成11)	編集・発行／ 劇団青年座編集室	作／市川森一 演出／西田敏行
135	帝劇創立90周年記念公演 東宝ミュージカル6月特別公演 「屋根の上のヴァイオリン弾き」ポスター(B1)	2001(平成13)	製作／東宝	台本／ジョセフ・スタイン 音楽／ジェリー・ボック 演出／佐藤浩史 振付／坂上道之助
136	帝劇創立90周年記念公演 東宝ミュージカル6月特別公演 「屋根の上のヴァイオリン弾き」パンフレット	2001(平成13)	発行／ 東宝株式会社演劇部	

Ⅲ 教育普及事業

1) 講演会 会場：多目的スタジオ 午後2時～（第3回は午前10時30分～） 参加者数 512 名

回	月 日	演 題	講 師	開催企画展	参加者数
1	4月27日(日)	武井武雄の生涯と作品	山岸吉郎 (イルフ童画館館長)	武井武雄展	54
2	7月5日(土)	皇居三の丸尚蔵館収蔵品に みる皇室と福島	田中純一郎 (皇居三の丸尚蔵館研究員)	皇室を彩る美の世界	82
3	9月14日(日)	山本二三 絵にかけた人生と情熱	山本鷹生 (山本二三美術館副館長)	新・山本二三展	155
4	10月26日(日)	記憶色の背景 山本二三の美術	久慈達也 (DESIGN MUSEUM LAB代表、 京都芸術大学准教授)	新・山本二三展	67
5	11月23日(日・祝)	響き合う二つの陶磁器の調べ 柿右衛門 ～マイセン 巨匠ハインツ・ヴェルナーの メルヘンの世界へようこそ	荒川正明 (学習院大学教授)	巨匠ハインツ・ ヴェルナーの 描いた物語	85
6	2月22日(日)	戦時美術の『子どもたち』	河田明久 (千葉工業大学教授)	戦争と子どもたち	35
7	3月1日(日)	子どもの紙芝居、おとなの紙芝居 ―戦時下紙芝居を考える	大串潤児 (国立歴史民俗博物館教授)	戦争と子どもたち	34
合 計					512

2) 美術講座 会場：多目的スタジオ 午後2時～ 参加者数 342 名

回	月 日	演 題	講 師	開催企画展	参加者数
1	6月1日(日)	武井武雄とモダン・キッズの世界	館長 永山多貴子	武井武雄展	37
2	6月15日(日)	武井武雄と版画	主査(学芸員)中山恵理	武井武雄展	20
3	7月19日(土)	特別美術講座 山本芳翠と磐梯山の噴火	磐梯山噴火記念館 佐藤公、 主査(学芸員)中山恵理	皇室を彩る美の世界	72
4	8月10日(日)	郡山の画家 渡邊晨畝の活動	主査(学芸員)鈴木えみこ	皇室を彩る美の世界	47
5	10月4日(土)	心を動かす風景―山本二三の表現	主査(学芸員)新田量子	新・山本二三展	52
6	12月7日(日)	マイセン窯とヨーロッパの名窯	主査(学芸員)田中有沙子	巨匠ハインツ・ ヴェルナーの 描いた物語	38
7	1月18日(日)	ハインツ・ヴェルナーの装飾	主査(学芸員)鈴木えみこ	巨匠ハインツ・ ヴェルナーの 描いた物語	32
8	3月7日(土)	戦争と子どもたち ―『疎開』と『勤労』	主査(学芸員)塚本敬介	戦争と子どもたち	24
9	3月15日(日)	戦時下の子どもの表象	主任学芸員 鈴木伸子	戦争と子どもたち	20
合 計					342

3) ギャラリートーク 会場：企画展示室、常設展示室 午後2時～ 参加者数 654 名

回	月 日	講 師	関連企画展	参加者数
1	4月12日(土)	学芸課長 富岡進一	常設展(コレクショントーク)	8
2	4月13日(日)	主査(学芸員)川上恵理	常設展(コレクショントーク)	10
3	5月10日(土)	館長 永山多貴子	武井武雄展	27
4	5月31日(土)	主査(学芸員)中山恵理	武井武雄展	28
5	6月8日(日)	学芸課長 富岡進一	常設展(コレクショントーク)	13
6	6月21日(土)	主査(学芸員)川上恵理	常設展(コレクショントーク)	15
7	6月22日(日)	主査(学芸員)中山恵理	常設展(コレクショントーク)	15
8	6月28日(土)	主査(学芸員)塚本敬介	常設展(コレクショントーク)	10
9	6月29日(日)	主査(学芸員)田中有沙子	常設展(コレクショントーク)	8
10	7月13日(日)	主査(学芸員)鈴木えみこ	皇室を彩る美の世界	50
11	8月3日(日)	主査(学芸員)中山恵理	皇室を彩る美の世界	40
12	8月16日(土)	主査(学芸員)新田量子	常設展(コレクショントーク)	7
13	8月17日(日)	主任学芸員 鈴木伸子	常設展(コレクショントーク)	22
14	9月15日(月・祝)	主査(学芸員)塚本敬介	常設展(コレクショントーク)	26
15	9月20日(土)	学芸課長 富岡進一	常設展(コレクショントーク)	12
16	9月23日(火・祝)	主査(学芸員)川上恵理	常設展(コレクショントーク)	10
17	10月12日(日)	主査(学芸員)新田量子	新・山本二三展	73
18	10月18日(土)	学芸課長 富岡進一	新・山本二三展	35
19	11月1日(土)	主査(学芸員)鈴木えみこ	常設展(コレクショントーク)	31
20	11月2日(日)	主査(学芸員)田中有沙子	常設展(コレクショントーク)	21
21	11月8日(土)	主査(学芸員)中山恵理	常設展(コレクショントーク)	9
22	11月9日(日)	館長 永山多貴子	常設展(コレクショントーク)	30
23	12月20日(土)	主査(学芸員)田中有沙子	巨匠ハインツ・ヴェルナーの描いた物語	22
24	1月11日(日)	主査(学芸員)鈴木えみこ	巨匠ハインツ・ヴェルナーの描いた物語	38
25	2月15日(日)	主任学芸員 鈴木伸子	戦争と子どもたち	23
26	2月22日(日)	主査(学芸員)川上恵理	常設展(コレクショントーク)	13
27	2月28日(土)	主査(学芸員)塚本敬介	戦争と子どもたち	22

回	月 日	講 師	関連企画展	参加者数
28	3月1日(日)	主査(学芸員)鈴木えみこ	常設展(コレクショントーク)	14
29	3月7日(土)	主任学芸員 鈴木伸子	常設展(コレクショントーク)	7
30	3月8日(日)	学芸課長 富岡進一	常設展(コレクショントーク)	13
31	3月14日(土)	主査(学芸員)新田量子	常設展(コレクショントーク)	2
合 計				654

4) 文化講座

参加者数 213 名

回	月 日	講座名	出 演	参加者数
1	7月6日(日)	東儀秀樹コンサート —伝統を紡ぎ 新たな地平を拓く	東儀秀樹(雅楽師) 東儀典親(雅楽師)	178
2	2月21日(土)	建築と美術	佐藤慎也(日本大学理工学部教授、 八戸市美術館館長) 浦部智義(日本大学工学部建築学科教授) 阿部直人(J I A福島地域会会員) 永山多貴子(郡山市立美術館長)	35
合 計				213

5) ミュージアム・シアター (映画会) 会場:多目的スタジオ 午後2時~(第2回は午後6時~) 参加者数 386 名

回	月 日	上 映 作 品	参加者数
1	9月7日(日)	学校(西田敏行展映画観賞会)※観光政策課連携	100
2	9月27日(土)	虹をつかむ男(西田敏行展映画観賞会)※観光政策課連携	100
3	10月5日(日)	ソング・オブ・ザ・シー 海のうた	30
4	10月19日(日)	ディリリとパリの時間旅行	54
5	1月12日(月・祝)	ミカエル	22
6	3月20日(金・祝)	二十四の瞳	41
7	3月21日(土)	ミツバチのささやき	39
合 計			386

6) ミュージアム・コンサート

参加者数 147 名

回	月 日	コンサート	出 演	参加者数
1	6月14日(土)	朗読とチェロが紡ぐものがたり	渡邊奈美(朗読)、 懸田貴嗣(バロックチェロ)	147
合 計				147

7) ワークショップ

参加者数 580 名

キッズ・ワークショップ①「光と色であそぼう！」

カラーセロファンを好きなかたちに切り抜いて、ガラス窓を彩った。光が差すと、床に色とりどりの影ができた。

講師：こどもバウハウス、小池晶子(造形プランナー)

日時：4月29日(火・祝)

午前の部：午前10時30分～12時

午後の部：午後1時30分～3時

場所：中央階段ホール、ロビー

参加者数：85名(午前の部／50名、午後の部／35名)



キッズ・ワークショップ②

「武井武雄デザインのギフトBOXをつくろう」

厚紙で箱を作り、武井作品をプリントした紙を貼ったギフトボックスを作った。

講師：犬塚奈々子(イルフ童画館)

日時：5月5日(月・祝)

午前の部：午前10時30分～12時

午後の部：午後1時30分～3時

場所：多目的スタジオ

参加者数：35名(午前の部／18名、午後の部／17名)



「本をつくる」

糸かがりで、背表紙のある本の製本を体験した。

講師：植村愛音(製本家)、河西見佳(イルフ童画館)

日時：6月7日(土) 午前10時～午後5時

場所：創作スタジオ

参加者数：14名



「国立印刷局工芸官による凹版彫刻実演・特別講義」

ビュランで銅板に線を彫る実演や、工芸官による作品の展示、また、紙幣の製造や偽造防止技術などについて解説した。

講師：国立印刷局 工芸官

日時：7月26日(土)

凹版彫刻実演：午前11時～12時、午後2時～3時

特別講義：午後1時～2時、午後3時30分～4時30分

場所：多目的スタジオ

参加者数：221名



「動いて撮ると楽しいよ」

インスタントカメラを使用し、動く被写体を「動きながら撮影する」という撮影スタイルを体験した。

講師：平間至(写真家)、佐藤正子(写真展企画制作)

日時：8月17日(日) 午前10時～午後4時

場所：中央階段ホール

参加者数：20名



「ツゲに刻む一木口木版画講座」(4日間講座)

極めて緻密で均整な材であるツゲの木口面に、ビュランで繊細な線を刻み、自由なテーマで作品を制作した。

講師：野口和洋(版画家)

日時：8月24日(日)、30日(土)、31日(日)、9月7日(日)

各日 午前10時～午後4時

場所：創作スタジオ

参加者数：15名



「自分だけの空の色を作ろう」

企画展「新・山本二三展」に関連したワークショップ。さまざまな青色のなかから好きな色を選んで、混ぜたり重ねたりしながら自分だけの色で空を描いた。

講師：こどもバウハウス

日時：10月19日(日)

午前の部：午前10時30分～12時

午後の部：午後1時30分～3時

場所：中央階段ホール

参加者数：67名



「本をつくる」

6月に開催した講座の第二弾。

講師：植村愛音(製本家)

日時：11月1日(土) 午前10時～午後4時

場所：創作スタジオ

参加者数：12名



「アート・カフェ『マイセン磁器とコーヒー』」

ハインツ・ヴェルナーデザインのマイセンのカップ&ソーサーで、マイセンのコーヒーとデザートを楽しむながら、ヴェルナー作品のデザインの特徴などをお話いただいた。

講師：勝川達哉(アンティークアーカイブオーナー)

日時：12月13日(土)、14日(日) 午後4時～5時10分

場所：juju130CAFE

参加者数：26名



「自分だけのクリスマスプレートをデザインしよう」

企画展「巨匠ハインツ・ヴェルナーの描いた物語」展に関連したワークショップ。同展で展示されているクリスマスプレートの輪郭を水彩紙のポストカードに印刷し、参加者が好きな画材でオリジナルのプレートをデザインした。

講師：田中有沙子、鈴木えみこ(当館学芸員)

日時：12月21日(日)

午前の部：午前10時30分～12時

午後の部：午後1時30分～3時

場所：中央階段ホール

参加者数：29名



「鑑賞見学ツアー いっしょに展示室にいってみよう」

「郡山子ども美術展」開催中に、企画展「戦争と子どもたち」を鑑賞する子ども向けの見学ツアーを行った。

講師：鈴木えみこ(当館学芸員)

日時：1月31日(土)、2月1日(日)、7日(土)、8日(日)

午前の部：午前10時30分～

午後の部：午後1時30分～

場所：企画展示室

参加者数：33名



「小さな動物を彫る一木彫体験講座」(2日間講座)

彫刻刀や鑿を使い、ヒノキ材を彫って小さな動物を制作した。希望者はアクリル絵具で彩色した。

講師：黒沼令(彫刻家、郡山女子大学短期大学部准教授)

日時：2月23日(月・祝)、28日(土)

各日 10時～16時

場所：創作スタジオ

参加者数：9名



「卵黄テンペラで描いてみよう」(2日間講座)

卵黄と酢を混ぜてメディウムを作り、顔料と練り合わせて絵具を手作りしながら、参加者それぞれのテーマで絵を描いた。

講師：齋藤ナオ(画家)

日時：3月20日(金・祝)、21日(土)

各日 10時～16時

場所：創作スタジオ

参加者数：14名



8) 第23回 風土記の丘の美術展～郡山市内の小学生による作品展～

郡山市内の小学生が図工教科の授業で制作した造形作品を美術館内に展示した。子供たちの造形活動を促し、教科研究に役立てるとともに、市民が美術館に身近に接する機会をつくる目的で毎年開催している。

主催：郡山市立美術館、郡山市小学校造形教育研究会

会期：7月26日(土)～8月22日(金)

会場：美術館ロビー

観覧者数：10,928人

第1期(7月26日～8月1日)

郡山ザベリオ学園、日和田小学校、高倉小学校、行健小学校、行健第二小学校、明健小学校、小泉小学校、行徳小学校、安積第一小学校、安積第二小学校、安積第三小学校、永盛小学校、柴宮小学校

第2期(8月2日～8月8日)

穂積小学校、三和小学校、多田野小学校、河内小学校、片平小学校、喜久田小学校、熱海小学校、安子島小学校、守山小学校、御代田小学校、高瀬小学校、谷田川小学校、金透小学校

第3期(8月9日～8月15日)

芳山小学校、橘小学校、小原田小学校、開成小学校、芳賀小学校、桃見台小学校、赤木小学校、薫小学校、富田小学校、富田東小学校、富田西小学校、大槻小学校、白岩小学校

第4期(8月16日～8月22日)

東芳小学校、桜小学校、桑野小学校、大島小学校、緑ヶ丘第一小学校、小山田小学校、大成小学校、朝日が丘小学校、宮城小学校、海老根小学校、御館小学校、西田学園、湖南小学校

9) 第17回 風土記の空～郡山市内の中学校美術部による作品展～

郡山市内の中学校が、美術部活動において制作した作品を美術館内に展示した。この展覧会は、美術館と中学校との連携と美術活動の活性化を目的に実施し、額装や展示等も中学生が行っている。

会期：11月18日(火)～12月27日(土)

会場：美術館ロビー

参加校：行健中学校、明健中学校、安積第二中学校、郡山第二中学校、郡山第七中学校、緑ヶ丘中学校、富田中学校、小原田中学校(計8校)

作品点数：58点

観覧者数：4,123人

10) 美術館における鑑賞学習対応 (「郷土を学ぶ体験学習」および鑑賞授業などの対応)

区 分	幼稚園	小学校	中学校	高 校	大 学	合 計
団体数(校)	2	19	11	1	2	35
参加者数(人)	91	924	365	6	56	1,442

11) 博物館実習

期間：8月19日(火)～8月23日(土)

受入校及び実習生5校9人

郡山女子大学短期大学部 5人 専修大学 1人 宮城学院女子大学 1人 筑波大学 1人
日本大学 1人

実習内容：作品の取扱(平面・立体)、各概論(収集・保存・展示・普及)

野外彫刻の洗浄、ギャラリートーク実習、企画展立案実習 など

12) インターンシップ

期間：7月30日(水)～8月3日(日)

郡山女子大学短期大学部 1人

内容：美術館の仕事・職業体験、「風土記の丘」展示作業、資料整理など

13) ジュニア・インターンシップ

期間:11月11日(火)～11月13日(木)

福島県立清陵情報高等学校 1人

内容:美術館の仕事・職業体験、「風土記の空」展示作業、資料整理など

14) 学校連携・対外協力・部局間連携

回	月 日	内 容	参加者数
1	5月3日(土・祝)	大安場史跡公園主催「古墳まつり春」ワークショップ「紋切りで楽しむ」	80
2	5月14日(水)	令和7年度郡山市小学校造形教育研究会研修会	70
3	7月19日～8月30日	MLA連携事業「郡山知っとク!夏のMLAクイズラリー」	724
4	7月23日(水)	令和7年度郡山市小学校教育研究会夏の研究協議会	50
5	8月1日(金)	令和7年度福島県中学校教育研究会美術専門部研修会	31
6	9月13日(土)	西田敏行展特別イベント「スペシャルトーク・大合唱」※観光政策課連携	200
7	9月27日(土)	福島県教育センター自主講座「美術館でアートを楽しむ鑑賞講座」	15
8	10月4日(土)	大安場史跡公園主催「古墳まつり秋」ワークショップ「紋切りで楽しむ」	50
9	10月9日(木)、15日(水)	Zoomを使ったりリモート美術鑑賞会(宮城小学校)	12
10	10月19日(日)	諸橋近代美術館主催「郡山市立美術館のよもやま話」オンライン講演	44
11	11月15日(土)	MLA連携事業「ブック・ナイト・マーケット」 場所:郡山市公会堂広場	150
12	11月24日(月・祝)	MLA連携事業「MLA COMMONS LOUNGE vol.1～食とコモンズ～」 場所:郡山市中央公民館	40
13	11月30日(日)	郡山市中央図書館主催「リサイクルブックフェア」参加 場所:郡山市中央図書館	420
14	2月14日(土)	MLA連携トークセッション「博物館・美術館・科学館・図書館の役割と専門職の仕事」 場所:郡山市歴史情報博物館	74
15	3月14日(土)	総務法務課連携 戦後80年記念事業 平和を語り継ぐつどい	119
16	3月23日(月)～27日(金)	全国美術館・博物館企画展等ポスター展示 於)市庁舎アートスペース	
17		市政きらめき出前講座(生涯学習課)計7回	215
合 計			2,294

15) 日本大学工学部との連携事業

回	月 日	内 容	参加者数
1	2月10日～23日	日本大学工学部建築学科卒業設計作品展	1,422
2	2月11日	関連事業 プレゼンテーション・審査会	40
3	2月23日	ミニトーク企画 建築と美術を楽しむ旅のススメ (講師: J I A 福島地域会会員)	32
4	2月28日	建築見学ツアー (講師: J I A 福島地域会会員)	15
合 計			1,509

16) 第59回「郡山市子ども美術展」

(会期：1月31日～2月8日)

企画展「戦後80年 戦争と子どもたち」に関連し、特別開催。図工の授業で制作された作品の中から、「特別賞」「金賞」「銀賞」に選ばれた作品を展示した。

参加小学校 市内全小学校

観覧者数：4,780人



17) 刊行物

美術館ニュース「ザ・ルーフ」A4判カラー8ページ

第66号(令和7年7月18日発行)

記事

クリストファー・ドレッサー《クラレットジャグ(ぶどう酒用容器)》

クリストファー・ドレッサー《刻文舟形容器》……………表紙

鈴木えみこ「皇室を彩る美の世界～福島ゆかりの品々～」……………p.2,3

新田量子「アニメーション美術の創造者 新・山本二三展

～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、もののけ姫、時をかける少女～……………p.4

永井久夫「寄稿「建築家柳澤孝彦氏と郡山市立美術館」」……………p.5

「報告「第1回風土記の丘から 日本大学工学部建築学科卒業設計作品展」」……………p.6

Report(ワークショップ等)……………p.7

Information, Topics……………p.8

美術館ニュース「ザ・ルーフ」A4判カラー8ページ

第67号(令和8年1月20日発行)

記事

松本竣介《りんご》(個人蔵、板橋区立美術館寄託)

今西中通《子供を抱く女》(当館蔵)……………表紙

塚本敬介「戦後80年 戦争と子どもたち」……………p.2,3

塚本敬介「北斎・広重 大浮世絵展」……………p.4

勝川達哉「寄稿「アート・カフェ“マイセン磁器とコーヒー”を終えて」」……………p.5

「報告「郡山市名誉市民 西田敏行展 愛してるぞ～い！」」……………p.6

Report(講演会等)……………p.7

Information, Topics……………p.8

郡山市立美術館年報令和6年度

A4判(令和7年7月30日発行)

ザ・ルーフ・ミュージアム・カレンダー

A4変形(210×375mm)、片面4色、片面2色

常設展示目録

「常設展示 第1期 令和7年4月23日～7月6日」A3判二つ折り、両面1色

「常設展示 第2期 令和7年7月9日～9月28日」A3判二つ折り、両面1色

「常設展示 第3期 令和7年10月1日～令和8年1月18日」A3判二つ折り、両面1色

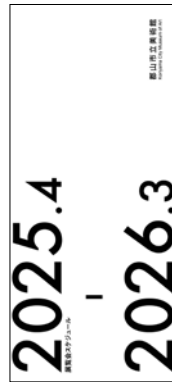
「常設展示 第4期 令和8年1月31日～4月19日」A3判二つ折り、両面1色



ザ・ルーフ 第66号



ザ・ルーフ 第67号



カレンダー2025



年報 令和6年度

ポスター、チラシ、パンフレット

武井武雄展 幻想の世界へようこそ

ポスターB2判4色、チラシA3判(二つ折り)4色

皇室を彩る美の世界 福島ゆかりの品々

ポスターB2判4色、チラシA4判4色

アニメーション美術の創造者 新・山本二三展

ポスターB2判4色、チラシA4判4色

巨匠ハインツ・ヴェルナーの描いた物語(メルヘン) 現代マイセンの磁器芸術

ポスターB2判4色、チラシA4判4色

戦後80年 戦争と子どもたち

ポスターB2判4色、チラシA4判4色

18) 館外での活動及び関連記事・報道

他機関からの委嘱

- ・永山多貴子：喜多方市美術館収集評価委員会委員(令和6年～)
- ・杉原 聡：福島大学芸術による地域創造研究所客員研究員(平成21年度～)
- ・富岡進一：郡山市上下水道局水道週間ポスター審査委員
- ・中山恵理：福島県立美術館収集評価委員会委員(令和元年12月～)
- ・中山恵理：本宮市ふれあい美術館運営協議会委員(令和7年4月～)
- ・田中有沙子：旅するふくしまアートコンテスト審査員

出前講座講師

- ・永山多貴子「郡山ゆかりの美術講座」あさかの学園大学 令和7年5月23日(金)
- ・永山多貴子「郡山ゆかりの美術講座」あさかの学園大学 令和7年7月11日(金)
- ・永山多貴子「美術に関する教養講座」赤木地域公民館 令和7年7月18日(金)
- ・永山多貴子「郡山ゆかりの美術講座」フレンド講座／ビッグアイ7階 令和7年9月30日(火)
- ・永山多貴子「美術に関する教養講座」富久山町民生・児童委員協議会明健地区「いきいきサロン」／郡山市立明健小学校研修室 令和7年11月2日(日)
- ・永山多貴子「美術に関する教養講座」清水台地域公民館 令和8年2月19日(木)
- ・永山多貴子「美術に関する教養講座」三穂田公民館 令和8年3月8日(日)

その他の講師

- ・永山多貴子「令和7年度郡山市小学校造形教育研究会研修会」(多目的スタジオ)令和7年5月14日(水)
- ・永山多貴子「令和7年度郡山市小学校教育研究会図画工作科研究部会研修会」(多目的スタジオ)令和7年7月23日(水)

関連記事

- ・「明治日本の景色、海外目線の水彩で 東御市丸山晚霞記念館で企画展」『信濃毎日新聞』令和7年10月25日付
- ・「北斎と広重 代表作競演 浮世絵の名品200点 郡山市立美術館、来年4月」『福島民友』令和7年11月22日付
- ・「北斎・広重展 前売り券2月3日発売 郡山市立美術館 4月18日開幕、名作230点展示」『福島民友』令和7年12月25日付
- ・「北斎・広重 大浮世絵展 郡山市立美術館 4月18日～6月21日 名作230点を紹介」『福島民友』令和8年1月1日付
- ・「北斎・広重展 あすから前売り 郡山市立美術館 4月18日開幕」『福島民友』令和8年2月2日付
- ・「北斎と広重の魅力紹介 16日、YMC郡山セミナー」『福島民友』令和8年3月3日付
- ・「北斎・広重 作風を比較 欧州印象派への影響解説 郡山でYMCセミナー」『福島民友』令和8年3月17日付

寄稿

- ・新田量子「ふくしまのミュージアム⑦ 郡山市立美術館」『福島の進路No. 516』一般財団法人 とうほう地域総合研究所、令和7年7月30日、16-19頁

Ⅳ 作品収集・保存管理事業

1) 新収蔵作品・美術資料一覧

美術品の収集は、(1)イギリスの近代美術、(2)日本の近代美術、(3)郡山ゆかりの美術、(4)本(版)の美術、の4つの柱を基本方針として行っている。

令和7年度の収集状況は、購入12件、寄贈1件で、内訳は下表のとおりである。

	油彩画	水彩画、素描画	日本画	版画	彫刻	工芸	写真	計	美術資料
平成13年度まで	233	353	30	1,219	25	168	0	2,028	103
平成14年度	16	27	0	29	6	16	0	94	0
平成15年度	2	0	2	0	0	0	0	4	0
平成16年度	9	1	1	0	0	0	0	11	0
平成19年度	0	0	17	0	8	5	0	30	0
平成20年度	13	16	0	1	1	0	0	31	0
平成24年度	4	0	0	2	0	0	0	6	2
平成25年度	2	0	0	0	0	1	0	3	0
平成26年度	1	0	0	3	1	22	0	27	7
平成29年度	5	0	0	7	4	0	0	16	0
平成30年度	2	6	0	4	2	9	0	23	4
令和元年度	1	0	5	4	3	20	0	33	0
令和2年度	12	2	3	1	0	5	0	23	0
令和3年度	9	3	0	48	0	3	0	63	0
令和4年度	7	24	1	35	2	0	3	72	1
令和5年度	8	2	3	84	0	4	0	101	3
令和6年度	0	15	5	176	3	0	0	199	0
令和7年度	0	0	0	12	1	0	0	13	0
合計	324	449	67	1,625	56	253	3	2,777	120

■令和7年度新収蔵作品

No.	作者名	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	取得形態
1	オーブリー・ピアズリー	オスカー・ワイルド著 『サロメ』(英訳版)	1894年刊	ラインブロック・紙/本	21.5×15.5×1.7	購入
2	オーブリー・ピアズリー	『サヴォイ』 全8号・合本3冊	1896年刊	ラインブロック・紙/本	1巻 26.7×20.5×2.5 2巻 26.7×20.4×2.6 3巻 26.7×20.6×2.6	購入
3	オーブリー・ピアズリー	『イエロー・ブック』 全13巻	1894-97年刊	ラインブロック・紙/本	1巻 20.7×16.7×2.7 ほか	購入
4	オーブリー・ピアズリー	ベン・ジョンソン著 『ヴォルポーネ』	1898年刊	ラインブロック・紙/本	29.0×22.3×2.9	購入
5	トマス・スタージ・ムーア(画)	シャルル・ペロー著 『ロバの皮』	1902年刊	木口木版・紙/本	21.1×13.7×0.8	購入
6	ローレンス・ハウスマン (画/装幀)	ジェーン・バーロー著 『妖精の国の最期』	1898年刊	ラインブロック・紙/本	18.0×12.7×1.2	購入
7	ウォルター・クレイン(画)	メイクル・ジョン著 『ゴールデン・プライマー 子どものための言葉の 手引書』1巻2巻	1884-85年刊	リトグラフ・紙/本	1巻 22.7×16.7×0.8 2巻 22.6×16.8×0.7	購入
8	アーサー・ラッカム(画)	J.M. バリー著 『ケンジントン公園の ピーターパン』	1906年刊	写真製版・紙/本	25.6×19.8×4.8	購入
9	アーサー・ラッカム(画)	W.シェイクスピア著 『真夏の夜の夢』	1908年刊	写真製版・紙/本	25.6×19.6×3.7	購入
10	エドモンド・デュラック(画)	W.シェイクスピア著 『テンベスト』	1908年刊	写真製版・紙/本	29.0×23.1×4.0	購入
11	カイ・ニールセン(画)	『アンデルセン童話』	1924年刊	写真製版・紙/本	29.2×22.5×3.0	購入
12	ハリー・クラーク(画)	『ボオ怪奇幻想譚』	1930年刊	写真製版・紙/本	27.1×21.5×5.0	購入
13	三木宗策	双羊	1935(昭和10)年	ブロンズ	18.0×30.0×15.5	中村徹氏寄贈



1



2



3



4



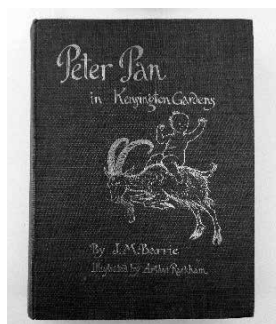
5



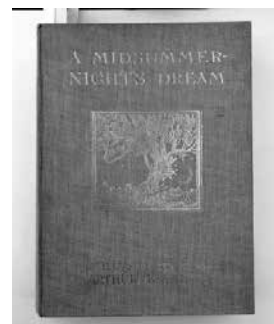
6



7



8



9



10



11



12



13

2) 収蔵作品貸出状況

作家名	作品名	展覧会名、会場、会期
亀井 至一	『玄々堂人物写生帖』	「開館1周年記念 岸田吟香没後120年 岸田吟香と岸田劉生ー近代、 それは東洋にありー」 豊田市博物館 令和7年4月26日(土)～6月15日(日)
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘	「よりみち展 ～美術のみかたが広がる よもやま話～」 諸橋近代美術館 令和7年7月19日(土)～11月9日(日)
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	コニストンの荒地	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ドーバー海峡	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ストーンヘンジ	
ジョン・コンスタブル	荒野（ヒース）	
ジョン・コンスタブル	水浴びをする人たち、ハムステッド	
ジョン・コンスタブル	虹、ソールズベリー大聖堂	
黒沼 令	刹那	「黒沼 令 彫刻展 ヒトノカタチニミエモノ」 石神の丘美術館 令和7年9月13日(土)～11月3日(月・祝)
石川 欽一郎	台南の裏町	「珠玉の近代絵画－「南国」を描く。」 福岡市美術館 令和7年10月11日(土)～11月24日(月・振休)
南 薫造	印度アグラの聖地	
上野山 清貢	サイパンにて	
石井 柏亭	江村（中川奥戸）	「戦後80年 石井柏亭 えがくよろこび」 松本市美術館 令和7年10月11日(土)～12月7日(日)
石井 柏亭	ビサ	
石井 柏亭	『日本風景版画 第一集 北陸之部』 能登和倉温泉 能登宇出津港 加賀白山絶頂の朝 加賀山中温泉 加賀片山津の雨	
石井 柏亭	『日本風景版画 第四集 下総之部』 船橋 野田 銚子 印旛沼 佐原	
アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	箱根の秋	「明治の彩り展 水彩画全盛期とその前夜」 丸山晚霞記念館 令和7年10月25日(土)～12月14日(日)
サー・アルフレッド・イースト	荒れ模様	
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	宮島の街並	
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	雪の京都、祇園へゆく道	
サー・アルフレッド・イースト	雨後の傘干し	
吉田博	風景	
吉田博	花のある風景	
吉田博	信州風景	
吉田博	村里の子供たち（岩戸）	
吉田博	夕暮	

作家名	作品名	展覧会名、会場、会期
吉田博	つつじの咲く高原	「明治の彩り展 水彩画全盛期とその前夜」 丸山晚霞記念館 令和7年10月25日(土)～12月14日(日)
吉田ふじを	土間	
大下 藤次郎	春雪の茶屋	
大下 藤次郎	蓮池	
中川八郎	秋の河辺	
中川八郎	早春	
中川八郎	おぼろ月夜	
中川八郎	秋郊	
鹿子木孟郎	綾瀬	
鹿子木孟郎	水車小屋	
五百城文哉	日光	
五姓田芳柳 (二世)	街道風景 (信濃追分)	
河合新蔵	ノウゼンカズラのある宿場	
小杉未醒	日光東照宮図	
今西中通	子供を抱く女	「戦後80年 戦争と子どもたち」 板橋区立美術館 令和7年11月8日(土)～令和8年1月12日(月・祝) 郡山市立美術館 令和8年1月31日(土)～3月22日(日) 新潟市美術館 令和8年4月11日(土)～5月31日(日)
横井弘三	料治朝鳴氏の家族	
中村宏	城	「中村宏 アナクロニズム(時代錯誤)のその先へ」 静岡県立美術館 令和8年1月20日(火)～3月15日(日)
中村宏	射殺 Aching	
中村宏	島	
中村宏	亡命者の対話より (プレヒト) No.4 〈少女乱舞〉	
武内鶴之助	英国南部ミル牧場	「島根から世界へー 生誕150年 石橋和訓展」 島根県立美術館 令和8年3月6日(金)～6月8日(月)
武内鶴之助	英国風景	
南薫造	バーン＝ジョーンズ作「水車」模写	
栗原忠二	ハーマスミス・ブリッジ	
石橋和訓	男性裸像	

3) 収蔵作品等の掲載

- ・《A.テニス『詩集』より「シャロットの女」》
『もっと知りたい夏目漱石 文学と美術』(株式会社東京美術、令和7年7月発行)
- ・三木宗策《威容抱慈(坂上田村麻呂像)》
「アルピーの福島あるある認定委員会」(福島テレビ、令和7年6月21日放送)
『年表でたどる日本の歴史』(株式会社汐文社、令和7年9月発行予定)
深川正達『－自説－出羽の國の成立ちと変遷』
- ・岡田三郎助《ゆびわ》
特別展「岡田三郎助」図録(一宮市三岸節子記念美術館、令和7年10月)
- ・亀井竹二郎《由井驛 望雨中不二山》石版『懷古東海道五十三驛眞景』油彩原画
角田拓朗「洋画の夜明け」『日本経済新聞』、日経電子版「美の十選」(日本経済新聞社、令和7年9月)

- ・ポール・サンドビー『ウェールズ十二景』
桐島美帆「18世紀後半の英国における紙と版画制作：ポール・サンドビー『ウェールズ十二景』（1777年）事例研究」『The KeMCo Review』（慶應義塾大学ミュージアム・コモンズ）第4巻、2026年3月、119-132頁。
- ・ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー《カンバーランド州のコールダー・ブリッジ》
中山修平氏令和7年度学位論文（修士）（慶應義塾大学大学院）
- ・南薫造《川筋の家》《京城、景福宮建春門》
尹賢眞氏博士学位論文（博士）（高麗大学校大学院、令和7年12月）
- ・三木宗策《大葉子》《威容抱慈（坂上田村麻呂像）》
高橋翔「ふくしま人」『福島民報』（福島民報社、令和7年10月～11月）
- ・北沢楽天《やまとひめとブリタニヤ》
高等学校検定教科書『歴史総合 新訂版』準拠教材『歴史総合 新訂版 演習ノート』
- ・平沢大暉《街への道》
矢部恵子氏学位論文（博士）（京都芸術大学大学院、令和8年2月）
- ・中村宏《射殺 Aching》
ソフィア・ルイス
「Storm of Progress: The Politics and Literature Debate and the Art of Nakamura Hiroshi」
『Asia-Pacific Journal』（Cambridge University Press、2026年3月発行）
- ・加藤太郎『JEU D' OBJET 2』より「慾望」、三木宗策《大葉子》《傷つきたる鳥人》
『戦時美術全集（仮）』（株式会社平凡社、令和8年6月発行予定）
- ・原撫松《横山孫一郎像》
斎藤多喜夫『幕末・明治 横浜異人伝』（株式会社未知谷、令和8年2月発行予定）

4) 収蔵作品修復状況

◆ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス《フローラ》

技法・材質：油彩・キャンバス

制作年：不詳

寸法：103.0×69.8×2.5 cm

修復者：有限会社修復研究所21

[処置前の状態]

- 画面に塗布されている旧ワニスにやや黄化が見られる。
- 旧補彩が広範囲に、特に顔周辺に多く施されている。
- 絵具層の固着状態は良好。
- 擦傷により剥落している箇所が広範囲に見られる。
- しみや付着物が点在している。
- 支持体は張りがややゆるい。
- オリジナルの画布は木枠の厚み幅で切断され、旧処置により張りしろ補強が施されている。

[修復内容]

1. 調査 2. 裏面清掃、殺菌 3. 画面洗浄 4. 支持体張り調整 5. 充填整形 6. 防黴、殺菌
7. 補彩 8. ワニス噴霧 9. 額縁調整（充填整形、補彩） 10. 裏蓋新調

◆石橋和訓《男性裸像》

技法・材質：油彩・キャンバス

制作年：1907（明治40）年

寸法：91.4×51.3×2.6cm

修復者：有限会社修復研究所21

[処置前の状態]

- ワニス層に劣化が見られる。
- 旧処置が施されており、目立つ箇所がある。
- 人物の上、周囲に亀裂が見られる。
- オリジナルの張りしろは劣化している。
- 裏面には水性シミ、油性シミがある。
- 木枠は手製のものと思われる。

[修復内容]

1. 調査 2. 浮き上がり接着 3. 裏面清掃、殺菌 4. 耳補強 5. 旧処置除去 6. 画面洗浄
7. 支持体変形修正 8. かけはぎ 9. 支持体張り調整 10. 防黴、殺菌 11. 充填整形 12. 補彩
13. ワニス噴霧 14. 裏蓋新調

◆吉井忠《静かなる冬》

技法・材質：油彩・キャンバス

制作年：1930(昭和5)年

寸法：50.0×60.6×2.2cm

修復者：有限会社修復研究所21

[処置前の状態]

- 絵具層の亀裂発生後、乾性油が塗布され、裏面へしみ出している。額装された状態で塗布され、周縁部は窓型に塗りに残されている。
- 全体に虫糞の付着、亀裂、細かな剥落がある。乾性油が黄変し、黄ばみが生じている。
- 釘にサビが生じている。
- 額縁には全体に埃汚れの付着、欠損、金の剥落がある。

[修復内容]

1. 調査
2. 浮き上がり接着
3. 画面洗浄
4. 裏面清掃、殺菌
5. 支持体変形修正
6. 支持体張り直し
7. 充填整形
8. 防黴・殺菌ワニス塗布
9. 補彩
10. 保護ワニス塗布
11. 額縁補修・調整

◆麻生三郎《裸》

技法・材質：油彩・キャンバス

制作年：1948(昭和23)年

寸法：90.8×73.0×2.6cm

修復者：有限会社修復研究所21

[処置前の状態]

- 全体に厚く塗布されたワニスが白濁し、描画が不鮮明な状態になっている。
- 絵具層の剥落部を覆うように旧補彩が施されている箇所がある。
- 厚みのある下層描きが施されている可能性がある。
- 全体に亀裂が生じている。
- 擦傷による絵具層の擦れ、筆の毛の付着が見られる。
- 支持体変形が全体に生じている。
- 裏面には油性シミ、絵具の亀裂から染み出たワニスしみがある。
- 額縁には凹みや黒色の絵具の付着が広範囲に見られる。

[修復内容]

1. 調査
2. 浮き上がり接着
3. 裏面清掃、殺菌
4. 耳補強
5. 支持体変形修正
6. 画面洗浄
7. 充填整形
8. 防黴、殺菌
9. 補彩
10. ワニス噴霧
11. 額縁調整(アクリル板除去、補彩)
12. 裏蓋新調

◆高橋由一《風景(鳥海山)》

技法・材質：油彩・キャンバス

制作年：1880年代

寸法：36.4×45.7×2.0cm

修復者：有限会社修復研究所21

[修復検討のための調査]

- 画面全体に旧ワニスが塗布され、黄化している。
- 画面上半分に多数の旧補彩があり、茶褐色に劣化している。
- 旧処置が施されており、固着状態は安定しているが、四辺に細かな剥落が点在している。
- 紫外線蛍光写真：全体に蛍光反応。黒色を示す箇所があり、旧補彩を確認。
- 赤外線写真：下描き等は見られなかった。
- エックス線写真：白色に写る箇所があり、鉛白の使用の可能性がある。
- 地塗層の試料片調査。

◆サー・エドワード・コーリー・バーン＝ジョーンズ《アヴァロンにおけるアーサー王の眠り》

技法・材質：グワッシュ・紙

制作年：1894年

寸法：53.6×190.7cm

修復者：有限会社修復研究所21

※令和7年10月23日～24日に収蔵庫前室において実施。

[修復内容]

- 額縁のガラスを低反射アクリル(OMA)に取り替え。
- 裏蓋の固定にT字金具を追加、吊り金具を交換。

◆サー・トマス・ローレンス《ラビー・ウィリアムズ牧師》

技法・材質：油彩・キャンバス

制作年：1790年代初頭

寸法：76.7×64.3cm

修復者：有限会社修復研究所21

※令和7年10月23日～24日に収蔵庫前室において実施。

[修復内容]

○額縁の剥落した部分を膠水で接着。

◆藤島武二《耕到天》

技法・材質：油彩・キャンバス

制作年：1936(昭和11)年

寸法：38.0×45.7cm

修復者：有限会社修復研究所21

※令和7年10月23日～24日に収蔵庫前室において実施。

[修復内容]

○裏蓋新調。

◆安藤重春《午后》

技法・材質：岩絵具・紙

制作年：1973(昭和48)年頃

寸法：174.8×204.8cm

修復者：鶴見修復工房

※令和8年2月3日～5日に収蔵庫前室において実施。

[処置前の状態]

○絵具層は厚塗り、画面下部中央付近に大きな剥落、亀裂が見られる。

○剥落箇所周辺に、絵具と下地の間で浮きが広範囲に生じている。

○絵具の一部が剥離しており、欠落の恐れが大きい。

○絵具層表面に紙片状の付着物がある。

○基底材とパネル下地の間に浮きが生じている。

[修復内容]

1. 調査
2. 額装を解体し、額縁を清掃
3. 乾式クリーニング
4. 剥落止め
5. 付着物除去
6. 基底材と下地パネルを接合
7. 額装

5) その他の保存管理事業

郡山市立美術館においては、開館当初から令和6年度まで虫菌害対策として全館での薬剤燻蒸を実施しながら、虫の侵入経路の物理的な遮断やモニタリング調査などを行ってきた。令和7年度からは、文化庁が推進するIPM(総合的有害生物管理)の手法をより重点的に採り入れ、複数の防除手段を合理的に併用し、美術作品等にとって安全な展示・保存環境を整えるための調査および清掃を包括的に実施する手法を開始した。

●歩行性昆虫モニタリング調査

分析者：イカリ消毒株式会社

実施期間：令和7年5月20日(火)～6月17日(火)

調査箇所：展示室、収蔵庫、器材庫、荷解き場、ロビー等 計106箇所

使用器材：粘着型トラップ

●展示室・収蔵庫の除塵防黴施工及び環境調査業務

実施期間：令和7年7月22日(火)～令和8年3月31日(火)

施工業者：東化研株式会社

・加害生物生息調査(3回)、温湿度調査(3回)

・空中浮遊菌及び表面付着菌、浮遊塵埃(2回)

・空気環境調査(1回)

・収蔵庫、展示室の清掃・消毒

V 利用者数

美術館総利用者数 108,507 人

1) 展覧会 80,586 人

展覧会観覧者数

(人)

展覧会名	会 期	日 数	観覧者数
武井武雄展 幻想の世界へようこそ	令和7年4月19日～6月22日	56	7,327
皇室を彩る美の世界 福島ゆかりの品々	令和7年7月5日～8月31日	50	12,272
アニメーション美術の創造者 新・山本二三展	令和7年9月13日～11月9日	50	15,396
巨匠ハインツ・ヴェルナーの描いた物語 現代マイセンの磁器芸術	令和7年11月22日～令和8年1月18日	43	5,035
戦後80年 戦争と子どもたち	令和8年1月31日～3月22日	44	3,260
特別展 郡山市名誉市民 西田敏行展 「愛してるぞ～い！」	令和7年9月6日～9月28日	20	9,878
企画展小計		263	53,168
常設展	令和7年4月1日～令和8年3月31日		4,395
企画展観覧券で常設展も観覧した人数			23,023
合計			80,586

(内訳)

(人)

			企画展計	武井武雄展	皇室を彩る 美の世界	新・ 山本二三展	巨匠ハインツ・ ヴェルナーの 描いた物語	戦争と 子どもたち	特別展 西田敏行展	常設展	企画展観覧券 で常設展も観 覧した人数
利 用 者 数	有 料	個 人	一 般	18,481	2,814	4,296	8,491	1,795	1,085		10,506
			高・大	1,097	162	239	499	78	119		681
			65歳以上	10,191	1,469	4,413	2,100	1,496	713		5,052
			計	29,769	4,445	8,948	11,090	3,369	1,917		16,239
		団 体	一 般	143	14	46	66	12	5	83	131
			高・大	111	34	1	76	0	0	34	63
			65歳以上	313	60	114	125	10	4		270
			計	567	108	161	267	22	9	117	464
		友 の 会	一 般	661	136	175	145	124	81	22	296
			高・大	30	6	9	5	5		2	18
			65歳以上	921	173	258	170	181	139		265
			計	1,612	315	442	320	310	225	24	579
		小 計		31,948	4,868	9,551	11,677	3,701	2,151	1,957	17,282
	無 料	高 齢 者								1,262	
		シルバー＝友の会								36	
		一 般								450	
		高・大								18	
		中学生以下(個人)	2,334	408	515	1,022	115	274		222	996
		中学生以下(団体)	954	337	59	388	50	120		259	947
		減 免	376	272	81	23	0	0		33	306
		ピラ下券	2,097	417	486	636	353	205		0	846
		招 待 券	1,712	274	486	504	309	139		2	798
		ネ ー ム	972	183	285	205	164	135		60	461
		障 が い 者	1,195	173	399	371	159	93		56	697
		療育／精神	929	241	182	316	96	94		19	345
		同 伴 者	773	154	228	254	88	49		21	345
		小 計	11,342	2,459	2,721	3,719	1,334	1,109	9,878	2,438	5,741
		合 計		80,586	7,327	12,272	15,396	5,035	3,260	9,878	23,023

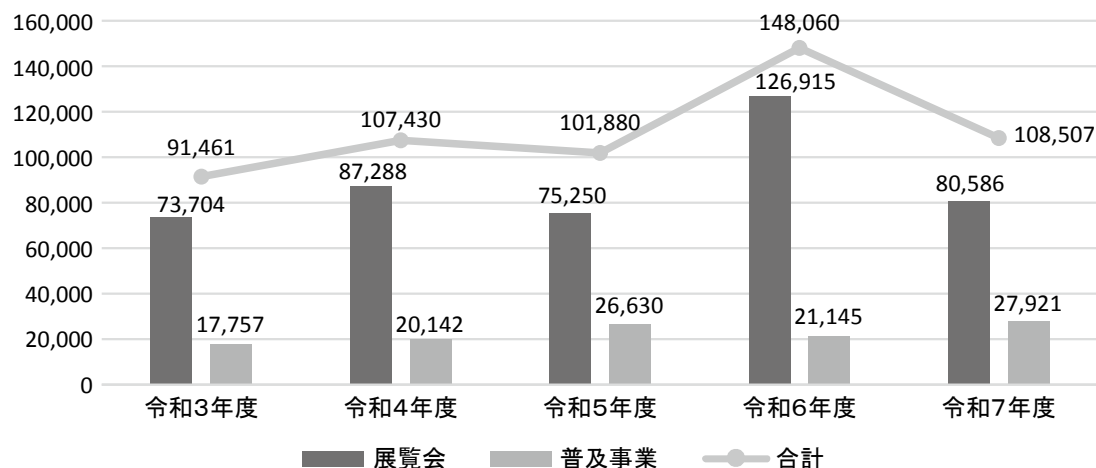
2) 教育普及事業 27,921 人

事業名	回数	参加者数	備考
講演会	7	512	
美術講座	9	342	
ギャラリートーク	31	654	
文化講座	2	213	
ミュージアム・シアター	7	386	
ミュージアム・コンサート	1	147	
ワークショップ	13	580	
風土記の丘の美術展	1	10,928	令和7年7月26日～8月22日
風土記の空	1	4,123	令和7年11月18日～12月27日
鑑賞学習対応(延べ人数)	1	1,442	幼稚園2校、小学校19校、中学校11校 高校1校 大学2校 計35校
博物館実習	1	9	令和7年8月19日～8月23日
インターンシップ	1	1	令和7年7月30日～8月3日
ジュニア・インターンシップ	1	1	令和7年11月11日～11月13日
学校連携・対外協力・部局間連携	16	2,294	
日大工学部との連携事業	1	1,509	
その他 第59回「郡山市子ども美術展」	1	4,780	
合計	94	27,921	

3) 過去5年間の利用者数推移状況

年 度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総利用者数(人)		91,461	107,430	101,880	148,060	108,507
展覧会	展覧会観覧者数(人)	73,704	87,288	75,250	126,915	80,586
	企画展本数(本)	5	5	5	5	6
普及事業	普及事業参加者数(人)	17,757	20,142	26,630	21,145	27,921
	普及事業回数(回)	30	43	51	51	94

利用者数推移グラフ



4) 教育普及事業別参加者数の推移状況

年 度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
講演会	参加者数(人)	229	352	425	245	512
	回数	4	5	6	4	7
シンポジウム	参加者数(人)	－	40	－	52	－
	回数	－	1	－	1	－
文化講座	参加者数(人)	54	286	218	242	213
	回数	1	3	2	2	2
美術講座	参加者数(人)	0	155	113	310	342
	回数	0	7	4	5	9
スライドトーク	参加者数(人)	303	102	－	－	－
	回数	10	4	－	－	－
アーティスト トーク	参加者数(人)	110	－	－	－	－
	回数	2	－	－	－	－
ギャラリートーク	参加者数(人)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	207	256	364	654
	回数		8	10	12	31
ワークショップ	参加者数(人)	26	77	140	65	580
	回数	2	6	6	5	13
ミュージアム・シアター	参加者数(人)	304	200	201	307	386
	回数	6	4	6	7	7
ミュージアム・コンサート	参加者数(人)	72	145	82	278	147
	回数	1	1	1	2	1
گریーティング・イベント	参加者数(人)	－	－	－	－	－
	回数	－	－	－	－	－
風土記の丘の美術展	参加者数(人)	4,525	14,984	17,856	10,932	10,928
	回数	1	1	1	1	1
風土記の空	参加者数(人)	8,735	1,579	4,976	4,351	4,123
	回数	1	1	1	1	1
鑑賞学習対応	参加者数(人)	3,394	2,008	2,048	1,946	1,442
	受入れ校数	60	47	38	45	35
博物館実習	参加者数(人)	5	7	6	7	9
	受入れ校数	3	5	3	4	5
インターンシップ	参加者数(人)	－	－	－	－	1
	受入れ校数	－	－	－	－	1
ジュニア・インターンシップ	参加者数(人)	0	0	4	3	1
	受入れ校数	0	0	1	1	1
学校連携・対外協力・部局間連携	参加者数(人)	※令和5年度より掲載		305	495	2,294
	回数			11	9	16
日本大学工学部との連携	参加者数(人)	※令和6年度より実施			1,548	1,509
	回数				1	1
その他 第59回「郡山市子ども美術展」	参加者数(人)	－	－	－	－	4,780
	回数	－	－	－	－	1

Ⅵ 管理運営

1) 関係法規

郡山市立美術館条例

【設置】

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項の規定に基づき、市民の美術に関する知識と教養の向上を図り、文化の発展に寄与するため、美術館を設置する。
(令4条例43・一部改正)

【名称及び位置】

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
郡山市立美術館	郡山市安原町字大谷地130番地の2

【管理】

第3条 郡山市立美術館(以下「美術館」という。)は、郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が、これを管理する。

【事業】

第4条 美術館の事業は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 美術品その他美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術に関する調査及び研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、講演会、講習会及び映画会等を開催すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事業を行うこと。

(平22条例78・一部改正)

【観覧料】

第5条 美術館の常設展(美術品等の常設展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする者は、別表第1に定める常設展観覧料を納入しなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、常設展観覧料を無料とする。

(1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に観覧する場合

(2) 次項に定める企画展を観覧する場合

2 美術館の企画展(常設展以外の展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする者は、別表第2に定める企画展観覧料を納入しなければならない。

(平10条例35・一部改正)

【撮影等の許可及び特別観覧料】

第6条 学術研究等のため、美術館に展示され、又は保管されている美術品等の撮影、模写又は模造等(以下「撮影等」という。)をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第3に定める特別観覧料を納入しなければならない。

【観覧料等の不返還】

第7条 既納の常設展観覧料、企画展観覧料及び特別観覧料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

- (1) 観覧又は撮影等をしようとする者の責めによらない理由により、観覧又は撮影等ができなかったとき。
- (2) その他教育委員会が特別の理由があると認めたとき。

【観覧料等の免除】

第8条 市長は、公用又は公益上特に必要があると認めたときは、観覧料等の全部又は一部を免除することができる。

【入館の制限等】

第9条 次の各号のいずれかに該当するときは、教育委員会は、美術館への入館を拒み、又は退館させることができる。

- (1) 公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあると認めたとき。
- (2) 施設、設備又は美術品等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあると認めたとき。
- (3) この条例及びこれに基づく規則に違反し、又はそのおそれがあると認めたとき。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、管理運営上適当でないと認めたとき。

(平22条例78・一部改正)

【賠償責任】

第10条 施設、設備又は美術品等を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、教育委員会の指示に従い、その損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会がやむを得ない理由があると認めたときは、その額を減額し又は免除することができる。

(平22条例78・一部改正)

【美術館協議会】

第11条 博物館法(昭和26年法律第285号)第23条第1項の規定に基づき、美術館に郡山市立美術館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が委嘱する。

3 委員の定数は、10名以内とし、その任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(平24条例31・令4条例43・一部改正)

【職員】

第12条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

【委任】

第13条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

この条例は、平成4年7月1日から施行する。ただし、第5条から第9条の規定は、平成4年11月21日から施行する。

附 則(平成10年郡山市条例第35号)

この条例は、平成10年10月1日から施行する。ただし、第5条第1号の改正規定は、公布の日から施行する。

附 則(平成13年郡山市条例第31号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成15年郡山市条例第25号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成22年郡山市条例第78号)

(施行期日)

1 この条例は、平成23年4月1日から施行する。(経過措置)

2 この条例の施行の日前に撮影等の許可を受けた者に係る特別観覧料の額については、なお従前の例による。

附 則(平成24年郡山市条例第31号)

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前の郡山市立美術館条例の規定に基づく郡山市立美術館協議会の委員である者は、この条例による改正後の郡山市立美術館条例の規定に基づく郡山市立美術館協議会の委員とみなす。

附 則(平成30年郡山市条例第41号)

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(令和4年郡山市条例第43号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

別表第1 【第5条関係】

(平10条例35・平13条例31・平22条例78・一部改正)

常設展観覧料

区 分	観覧料	
	個人	団体
高校生、大学生及びこれらに準ずる者	1人1回につき 100円	1人1回につき 70円
一 般	1人1回につき 200円	1人1回につき 150円

備考

- 「団体」とは、20名以上をいう。
- 65歳以上の者は、無料とする。

別表第2 【第5条関係】

(平13条例31・平15条例25・平30条例41・一部改正)

企画展観覧料

区 分	観覧料	
	個人	団体
高校生、大学生及びこれらに準ずる者	1人1回につき1,500円の範囲内でそのつど市長が定める額	
一 般		

備考

- 「団体」とは、20名以上をいう。
- 団体観覧料は、個人観覧料の10分の8に相当する額とし、10円未満の端数が生じた場合は、これを10円に切り上げる。

別表第3 【第6条関係】

(平22条例78・一部改正)

特別観覧料

区 分		観覧料	
撮影	モノクローム	1点1回につき	1,600円
	カラー	1点1回につき	3,100円
模 写	模 写	1点1日につき	2,100円
熟 覧	熟 覧	1点1回につき	200円

備考

- 一双屏風は、一双以内を1点とする。
- 一揃えの卷子(巻物をいう。)は、一揃え以内を1点とする。
- 対幅は、対幅以内を1点とする。
- 写真撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

郡山市立美術館条例施行規則

【趣旨】

第1条 この規則は、郡山市立美術館条例(平成4年郡山市条例第29号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

【観覧券の交付】

第2条 郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、常設展観覧料を納入した者に対して郡山市立美術館常設展観覧券(第1号様式)を、企画展観覧料を納入した者に対してそのつど定める郡山市立美術館企画展観覧券を交付する。

【撮影等の許可】

第3条 美術品その他美術に関する資料の撮影、模写又は模造等(以下「撮影等」という。)をしようとする者は、郡山市立美術館撮影等許可申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項に規定する撮影等を許可したときは、郡山市立美術館撮影等許可書(第3号様式)を申請人に交付する。

【観覧料等の返還】

第4条 条例第7条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 観覧又は撮影等をしようとする者の責めによらない理由により、観覧又は撮影等ができなくなった場合

当該観覧料等の全額

(2) その他教育委員会が特別の理由があると認めた場合

教育委員会が認める額

2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市立美術館観覧料等返還請求書(第4号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

【観覧料等の免除】

第5条 条例第8条に規定する観覧料等の免除は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として常設展を観覧する場合
常設展観覧料を全部免除

(2) その他教育委員会が観覧料等を免除することが適当と認める場合

教育委員会が認める額

2 前項の規定により観覧料等の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市立美術館観覧料等免除申請書(第5号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定による申請に基づき観覧料等の免除を決定したときは、郡山市立美術館観覧料等免除決定通知書(第6号様式)を申請人に交付する。

【開館時間】

第6条 郡山市立美術館(以下「美術館」という。)の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、入館は午後4時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更することができる。

【休館日】

第7条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたるときは、その翌日以後の同法に規定する休日でない直近の日とする。)

(2) 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで

(令8教委規則4・一部改正)

【遵守事項】

第8条 美術館の入館者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 施設、設備、美術品等をき損若しくは汚損し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

(2) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。

(3) 他人に危害又は迷惑をおよぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。

(4) 風紀及び秩序を乱さないこと。

(5) その他職員の指示に従うこと。

【委任】

第9条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成4年11月21日から施行する。

附 則(平成6年教委規則第3号)

(施行期日)

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。
(経過措置)

2 この規則の施行の際、現に様式の規定に基づいて作成されている用紙は、この規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

附 則(平成15年教委規則第4号)

1 この規則は、平成15年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現に改正前の様式の規定により作成されている用紙は、改正後の規則の様式の規定にかかわらず、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則(令和4年教委規則第1号)

(施行期日)

1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。
(経過措置)

2 この規則の施行の際、現に提出されている改正前の規則の様式(次項において「旧様式」という。)により使用されている書類は、この規則による改正後の規則の様式とみなす。

3 この規則の施行の際、現に旧様式の規定に基づき作成されている用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則(令和8年教委規則第4号)

この規則は、公布の日から施行する。

郡山市立美術館協議会規則

【趣旨】

第1条 この規則は、郡山市立美術館協議会(以下「協議会」という。)の会議運営について必要な事項を定めるものとする。

【招集】

第2条 協議会は、郡山市立美術館長(以下「館長」という。)が招集する。

2 会議開催の場所及び日時は、付議すべき事項とともに、あらかじめ委員に通知しなければならない。

【定例会及び臨時会】

第3条 協議会は、定例会及び臨時会とする。

2 定例会は年2回とし、臨時会は必要があるときに招集する。

【会長及び副会長】

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長及び副会長の任期は、2年とする。ただし、再選を妨げない。

【職務】

第5条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

【会議】

第6条 協議会は、委員の過半数で成立する。

2 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長が決する。

【庶務】

第7条 協議会の庶務は、郡山市立美術館において処理する。

【委任】

第8条 この規則に定めるもののほか、協議会の会議に必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規則は、平成4年7月1日から施行する。

郡山市美術品収集評価委員会設置要綱

【設置】

第1条 郡山市が美術品を収集するため、その適正な評価等を行うに当たり、有権者の意見を聴くために開催する郡山市美術品収集評価委員会(以下「委員会」という。)について必要な事項を定めるものとする。

【委員会の役割】

第2条 会議は次の事項について意見交換を行う。

- (1)美術品の選定評価に関すること。
- (2)美術品の寄託又は、寄贈に関すること。
- (3)美術品選定のための資料の収集その他専門的な事項に関すること。

【委員会の構成】

第3条 委員会の委員は、8名以内とし、美術に関する専門的知識を有する者のうちから教育長が依頼する。

2 委員の依頼期間は、2年以内とする。

3 委員会に座長を置き、委員の互選により定める。

【会議】

第4条 委員会の会議は、教育長が招集する。

2 会議は、座長が進行する。

3 座長に事故あるときは、あらかじめ座長の指名する者が会議を進行する。

【庶務】

第5条 委員会の庶務は、郡山市立美術館において処理する。

【委任】

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、昭和63年6月8日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和元年7月1日から施行する。

2) 名簿・組織（令和7年度）

郡山市立美術館協議会

◎会長 ○副会長

（任期：令和6年6月1日～令和8年5月31日）

源田 浩一 日本大学工学部情報工学科教授

宗像 克典 郡山市立第四中学校長

三坂 克典 郡山市立永盛小学校長

宗像 利訓 本郷焼・宗像窯9代目

○高澤 俊郎 画家

管野 和恵 須賀川市立博物館学芸員

◎斎藤 由美子 本宮市ふれあい美術館副専門学芸員

増渕 鏡子 福島県立美術館副館長兼学芸課長

宗像 寿男 福島交通郡山支社長

柳沼 郁子 元小学校図工科教員

郡山市美術品収集評価委員会

（任期：令和5年7月1日～令和7年6月30日）

斎藤 美保子 郡山女子大学短期大学部副学長

古田 亮 東京藝術大学大学美術館教授

早川 博明 福島県立美術館前館長

猿渡 紀代子 （公財）三溪園保勝会副理事長

吉田 尊子 岩手県立美術館学芸普及課長

濱崎 礼二 宮城県美術館副館長

杉村 浩哉 栃木市立美術館長

唐澤 昌宏 国立工芸館長

郡山市立美術館職員

館長

永山 多貴子

副館長

杉原 聡

学芸課長

富岡 進一

総務課長

羽生 克利

総務課主任

伊藤 恵子

主任学芸員

鈴木 伸子

学芸課主査(再任用)

中山 恵理

学芸課主査

田中 有沙子

学芸課主査

新田 量子

学芸課主査

川上 恵理

学芸課主査

塚本 敬介

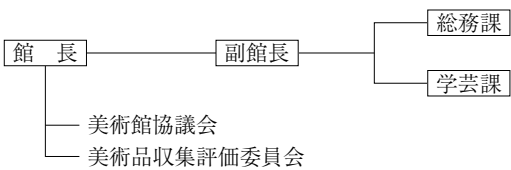
学芸課主査

鈴木 えみこ

会計年度任用職員

武田 幸也

■組織図



3) 建築設備概要・平面図・面積表

■敷地面積	38,420.24㎡
[建築概要]	
■建築面積	3,776.52㎡
■建築床面積	6,848.37㎡
■駐車場面積	3,300㎡ 収容台数 乗用車123台 バス 8 台
■構造及び規模	鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 2 階地下 1 階
■仕上	
外壁	杉小幅板本実化粧型枠ホワイトコンクリート打放し
屋根	ステンレス鋼板フッ素樹脂加工
サッシ	アルミ電解二次着色
	カーテンウォール爪かけバックマリオン方式ペアガラス(二面サンドブラスト加工)
展示室壁	不燃クロス貼ペンキ拭取仕上げ
展示室床	木製フローリング(ホワイトオーク)
■設計	(株)TAK建築・都市計画研究所
■設計協力	
基本計画・ガラスデザイン	川上喜三郎
木製家具デザイン	(株)方圓館 坂本和正
サインデザイン	永原浄デザイン研究所 永原浄
造園	(株)和泉屋・石のアトリエ 和泉正敏
■施工	
主体工事	大林・東洋特定建設工事共同企業体
電気工事	(株)ユアテック郡山営業所
空調設備工事	高砂・菱和特定建設工事共同体
情報防災設備工事	(株)ニノテック
給排水設備工事	東北設備工業(株)
昇降機設置工事	フジテック(株)仙台営業所
■工期	着工：1990(平成 2)年12月18日 竣工：1992(平成 4)年 6 月30日
■建築費	40億円
[設備概要]	
■電気設備	
受電	3 相 3 線、6 KV、50Hz
変圧器	電灯：単相 3 線、210/105V、100KVA × 3 動力：3 相 3 線、210V、500KVA × 2、300KVA × 2
蓄電池	シール形鉛蓄電池100AH/10HR
非常用発電機	ディーゼルエンジン228PS、出力 3 相200V、180KVA
照明設備	白熱灯、高輝度放電灯、蛍光灯、LEDスポットライト、直管式LED
■情報防災設備	
防災設備	自動火災報知機、防排煙、非常放送、誘導灯
防犯設備	ITV監視装置(監視カメラ、14型カラーモニター・四分割型)
その他	視聴覚設備、放送設備、中央監視設備

■空調調和設備

熱源設備

空冷ヒートポンプチラー(圧縮機50KW) 4台

暖房能力：524KW、冷房能力：724KW

水冷チラー(圧縮機40KW)

暖房能力：198KW、冷房能力：157KW

空調設備

4管式恒温恒湿制御方式(収蔵庫系統)、4管式再熱制御方式(展示室系統)

VAV方式(普及部門諸室系統)

外調機+ファンコイルユニット方式(事務管理諸室系統)

空調機+ファンコイルユニット方式(エントランスホール・ロビー系統)

その他

自動制御設備、換気設備、機械排煙設備

■給排水設備

給水設備

圧力給水方式 受水槽10m³、副受水槽1.5m³

給湯設備

電気温水器(貯湯量224ℓ、10KW)電気湯沸器(貯湯量40ℓ、4KW)

消火設備

屋内消火栓、連結散水設備、ハロンガス消火設備(収蔵庫)

■くん蒸設備

常圧・減圧兼用式4.0m³、ミニガスボンベ脱着方式

■昇降機設備

乗用

750Kg、11人乗り(車椅子対応)

荷物用

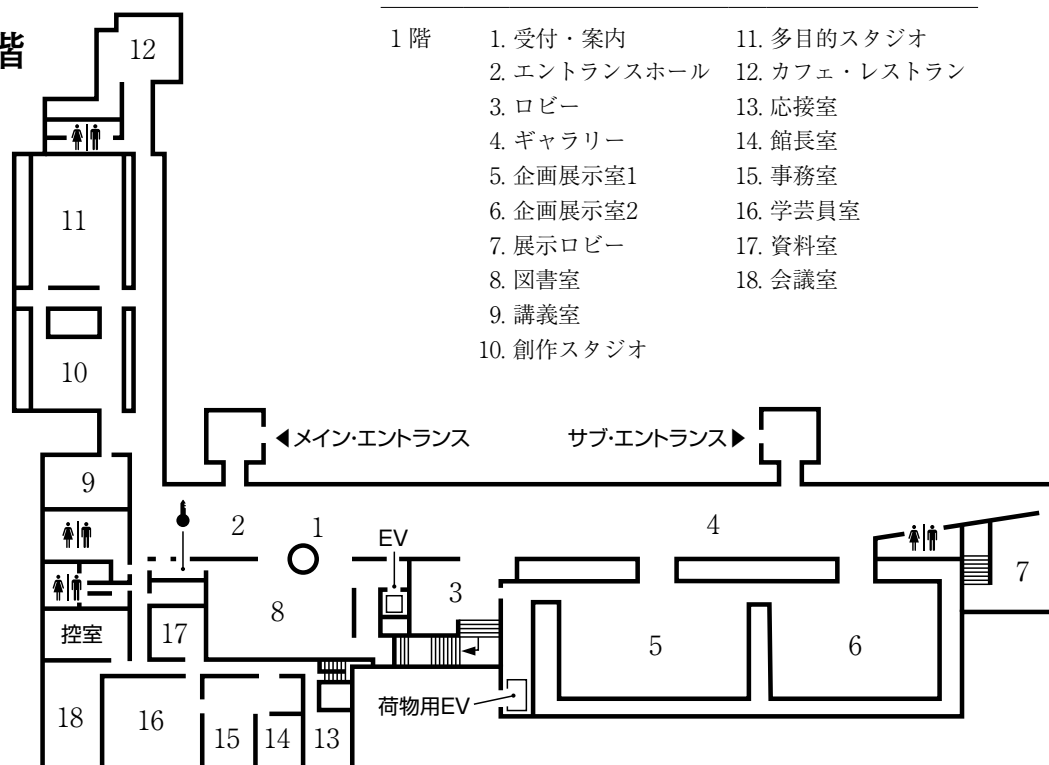
3,000 Kg、油圧加速制御

テーブルリフター

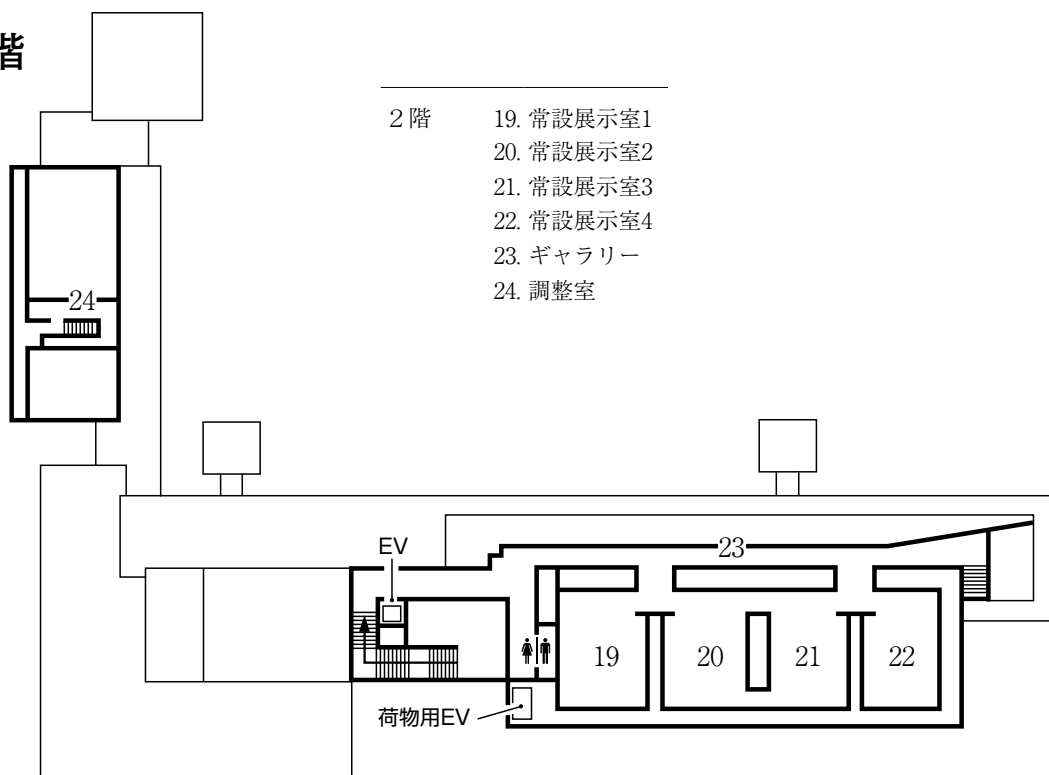
2,000 Kg

■平面図・面積表

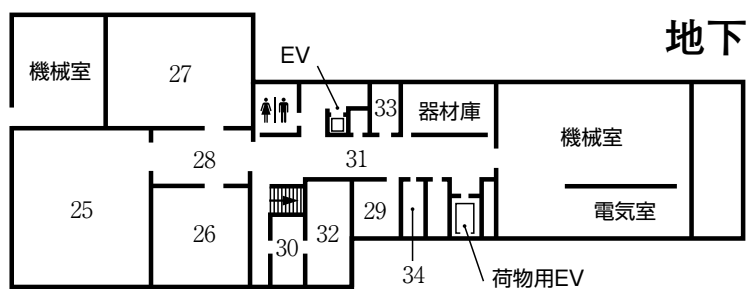
1 階



2 階



- 地下
- 25. 収蔵庫1
 - 26. 収蔵庫2
 - 27. 収蔵庫3
 - 28. 収蔵庫前室
 - 29. 修復室
 - 30. 中央監視室
 - 31. 荷解場
 - 32. トラックヤード
 - 33. くん蒸室
 - 34. 清掃員室



部門名	面 積	階	室 名	面 積
展 示 部 門	2,330.38 m ²	2	常設展示室1～4	932.51 m ²
		1	企画展示室1～2、展示ロビー	1,333.24 m ²
		B1・1	器材庫、エレベーター前室	64.63 m ²
収 蔵 部 門	1,040.28 m ²	B1	収蔵庫1～3	618.35 m ²
		B1	収蔵庫前室	61.48 m ²
		B1	器材庫	69.25 m ²
		B1	荷解場	238.71 m ²
		B1	くん蒸室	19.10 m ²
		B1	修復室	33.39 m ²
教育普及部門	570.34 m ²	1	多目的スタジオ	196.42 m ²
		1	創作スタジオ	122.40 m ²
		1	講義室	56.87 m ²
		1	図書室(ビデオコーナーを含む)	194.65 m ²
研究研修部門	117.45 m ²	1	学芸員室	117.45 m ²
管 理 部 門	852.19 m ²	B1	中央監視室	24.22 m ²
		B1	機械室	520.43 m ²
		1	事務室	79.85 m ²
		1	館長室	32.48 m ²
		1	会議室	73.92 m ²
		1	応接室	38.10 m ²
		B1・1	控室	54.52 m ²
		1	資料室	28.67 m ²
サ ー ビ ス 部 門	702.62 m ²	1	エントランスホール	222.77 m ²
		1	ギャラリー	344.72 m ²
		1	ロッカールーム	16.69 m ²
		1	カフェ・レストラン	118.44 m ²
そ の 他	1,235.11 m ²	B1・1・2	廊下、階段、便所、その他	1,235.11 m ²
計	6,848.37 m ²			6,848.37 m ²

4) 利用案内

■所在地

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2

Tel : 024-956-2200 Fax : 024-956-2350

E-mail : bijutsukan@city.koriyama.lg.jp

ホームページ

<https://www.city.koriyama.lg.jp/site/artmuseum/>

■開館時間

午前9時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

■休館日

毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日以後の最初の平日)

年末年始

■交通案内

●郡山駅から美術館まで約4km

●乗用車 駐車場(123台、バス8台収容・料金は無料)

●バス

郡山駅前5番のりばから『美術館経由東部ニュータウン行』または『斎藤経由三春行』乗車、「郡山市美術館」下車すぐ。(所要時間10分)



■観覧料

	常 設 展		企 画 展	
	個 人	団 体 (20名以上)	個 人	団 体 (20名以上)
一 般	200円	150円	規模・内容等に応じて、その都度定めた額	
高 ・ 大 生	100円	70円		
6 5 歳 以 上	無 料			
中 学 生 以 下	無 料			
障がい者手帳をお持ちの方	無 料（手帳を提示）			

郡山市立美術館年報

令和7年度

令和8年7月30日発行

発行 郡山市立美術館

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2

TEL 024-956-2200 FAX 024-956-2350

E-mail bijutsukan@city.koriyama.lg.jp



